

## 業績目録（鈴木陽一）

著者	東北大学史料館
雑誌名	東北大学定年退職教員業績目録
号	2018-26
発行年	2019-03
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10097/00134881">http://hdl.handle.net/10097/00134881</a>

東北大学定年退職教員業績目録第 2018-26 号

鈴木 陽一 教授 業績目録

平成 31 年 3 月  
東北大学史料館

# 鈴木 陽一

SUZUKI Yôiti

---

最終所属部局	電気通信研究所	
役職	教授	
生年月日	昭和 29 年（1954 年）1 月 11 日	
最終出身大学・学部・学科(卒業年月)	東北大学工学部電気工学科卒業（1976 年 3 月）	
最終出身大学院・学部・学科(修了年月)	東北大学大学院工学研究科博士課程後期 3 年の課程 電気及通信工学専攻修了（1981 年 3 月）	
取得学位	工学博士（1981 年 3 月 25 日）「複合音のマスクングに関する研究」	
職歴	東北大学電気通信研究所助手	1981 年 4 月－1987 年 5 月
	東北大学大型計算機センター助教授	1987 年 6 月－1989 年 6 月
	東北大学電気通信研究所助教授	1989 年 7 月－1999 年 7 月
	東北大学電気通信研究所教授	1999 年 8 月－2019 年 3 月
	東北大学電気通信研究所副研究所長	2007 年 4 月－2010 年 3 月
	東北大学情報シナジー機構長	2008 年 4 月－2017 年 3 月
	東北大学総長特別補佐	2012 年 5 月－2017 年 3 月
	東北大学教育研究評議員	2013 年 4 月－2016 年 3 月
	仙台電波高専非常勤講師	1986 年 4 月－1990 年 3 月
	宮城学院女子大学非常勤講師	1987 年 4 月－1991 年 3 月
	〃	1992 年 4 月－2002 年 3 月
	ミュンヘン工科大学客員研究員	1991 年 3 月－1992 年 1 月
	国立特殊教育総合研究所客員研究員	1994 年 10 月－1996 年 1 月
	国立研究開発法人情報通信研究機構耐 災害 ICT センター 特別招へい研究員	2017 年 5 月－現在
	国立研究開発法人情報通信研究機構耐 災害 ICT センター センター長	2017 年 11 月－現在

---

## <研究活動に関する情報>

### 専門分野

音響情報処理，聴覚情報処理過程，マルチモーダル感覚情報処理過程，デジタル信号処理

### 研究課題

1. ヒトの聴覚系およびマルチモーダル感覚系における情報処理過程の研究
2. デジタル音信号のセキュアなネットワーク通信に関する研究
3. 3次元音空間情報の解析，通信及び音像定位制御法の研究

4. 次世代補聴処理システムの研究
5. 環境音の計測・評価・予測手法の研究

## 所属学会

日本音響学会，日本バーチャルリアリティ学会(フェロー)，電子情報通信学会(フェロー)，情報処理学会，騒音制御工学会，日本聴覚医学会，日本耳科学会，日本機械学会，日本感性工学会，米国音響学会(フェロー)，IEEE，韓国音響学会(国際名誉会員)

## 学会活動（委員・役職等）

(社)日本音響学会編集委員	1989年5月－2005年5月
(社)日本音響学会評議員	1991年5月－1995年5月
//	2011年5月－2013年5月
(社)日本音響学会監事	2017年5月－現在
(社)日本音響学会理事	2001年5月－2011年5月
//	2013年5月－現在
(社)日本音響学会出版委員会委員	1993年5月－現在
(社)日本音響学会聴覚研究委員会 副委員長	1994年4月－1996年3月
(社)騒音制御工学会技術部会委員	1995年5月－2000年5月
(社)日本音響学会編集委員 会誌部会副主査	1995年5月－1997年5月
(社)日本音響学会理事・研究発表委員会委員長	1995年5月－1997年5月
(社)日本音響学会編集委員 会誌部会主査	1997年5月－1999年5月
(社)日本音響学会編集委員 論文部会主査	1999年5月－2001年5月
(社)騒音制御工学会理事	2000年5月－2004年5月
//	研究部会長
(社)日本音響学会副会長	2001年5月－2003年5月
(社)日本音響学会編集委員会委員長・論文部会主査	2003年5月－2005年5月
(社)日本音響学会聴覚研究委員会 委員長	2004年4月－2005年5月
//	2012年5月－2014年5月
(社)日本音響学会聴力保護のための調査研究委員会 委員長	2005年5月－2007年5月
(社)日本音響学会会長	2005年5月－2007年5月
日本 VR 学会評議員	2006年4月－2014年3月
日本 VR 学会大会長	2006年9月大会（仙台）
(社)電子情報通信学会マルチメディア情報ハイディング (MIH) 研究会（第2種研究会）	
創立発起人・委員	2013年1月－2013年3月
副委員長	2008年4月－2009年3月
顧問	2009年4月－2011年3月
(社)電子情報通信学会画像工学研究会委員	2007年4月－2011年3月
(社)日本音響学会出版委員長	2007年5月－現在

日本 VR 学会情報技術と文化の融合調査研究委員会副委員長	2016年7月－現在
(社)電子情報通信学会マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会 (EMM) 顧問	2011年4月－現在
(社)日本音響学会学術委員長	2013年5月－2015年5月
(社)日本音響学会「災害等非常時屋外拡声システムの在り方に関する技術調査研究委員会」委員長	2013年1月－現在
日本 VR 学会理事	2014年4月－2017年3月

## 国際会議運営活動

1994 騒音制御工学会議(INERNOISE 94)組織委員会事務局長	1999年9月, 横浜
第7回西太平洋地区音響学会議(WESTPRAC VII)組織委員会論文委員長	2000年10月, 熊本
2002年日中音響学会議共同議長 (JCA2002)	2002年11月, 南京
2004年国際音響学会議(ICA 2004)組織委員会広報委員長 同 論文委員会副委員長	2004年4月, 京都
第4回日米合同音響学会共同議長	2006年11月, ホノルル
2007年日中音響学会議共同議長 (JCA2007)	2007年6月, 仙台
空間音響の基礎と応用国際ワークショップ 2009 (IWPASH200)共同議長	2009年11月, 蔵王
多感覚国際フォーラム 2011 (IMRF2011)議長	2011年6月, 仙台
多感覚国際フォーラム 2012 (IMRF2012)組織委員	2012年6月, オクスフォード
多感覚国際フォーラム 2013 (IMRF2013)組織委員	2013年6月, エルサレム
多感覚国際フォーラム 2014 (IMRF2014)組織委員	2014年5月, アムステルダム
Forum Acusticum2014 組織委員	2014年9月, クラクフ
多感覚国際フォーラム 2016 (IMRF2016)組織委員	2016年6月, 北京
III-MSP 2016 組織委員	2016年11月, 高雄
ユニバーサル音コミュニケーション国際シンポジウム議長	2018年10月, 仙台

## 学術受賞

日本音響学会栗屋潔学術奨励賞「周期性広帯域音の定位に及ぼす妨害音の影響」	1986年3月
日本音響学会佐藤論文賞「ラウドネス補償を有するデジタル補聴器の一構成法」	1992年3月
日本音響学会佐藤論文賞「Influence of interfering noise on the sound localization of a pure tone」	1994年3月
1 ビット技術応用アイデア 優秀賞 [1 ビットオーディオコンソーシアム]「1 ビットオーディオ用音響秘密分散法」	2003年12月
米国音響学会 Fellow	2004年11月

FIT2005 船井ベストペーパー賞「仮想音環境のための頭部伝達関数コーパス」	2005年9月
KES2005 Best paper award「Audio CoFIP(COntetns Fingerprinting) Robust against Collusion Attack」	2005年9月
JCA2007 Best paper award「Japan-China Joint Conference on Acoustics (JCA2007) Best Paper Award」	2007年6月
東北総合通信局長電波の日・情報通信月間表彰「音情報の高信頼高品質ネットワーク通信技術の開発」	2007年6月
韓国音響学会国際名誉会員	2005年11月
日本VR学会フェロー	2011年3月
電子情報通信学会フェロー	2011年9月
日本VR学会論文賞「臨場感の素朴な理解」	2011年9月
東北総合通信局長電波の日・情報通信月間表彰「東北地域における地域情報化及び情報通信の普及促進に尽力するとともに地域における情報通信の普及発展に多大な貢献」	2013年6月
FIT2013 船井ベストペーパー賞「回転運動する聴覚刺激が回転ベクシオン感覚に及ぼす影響」	2013年9月
IIH-MSP2013 Best paper award「Auditory space perception during active and passive self-motion」	2013年10月
東北大学情報科学研究科研究科教育賞「情報科学研究科における教育に多大な貢献」	2014年3月
志田林三郎賞(情報通信月間推進協議会)「多年にわたるマルチモーダル感覚情報の処理過程の解明及びデジタル信号処理を用いた立体音響技術の高度化など、臨場感を持ったコミュニケーションの実現に繋がる研究活動によって、情報通信の発展に対して多大な貢献」	2014年6月
IIH-MSP2015 Best Paper Award「A compact representation of the head-related transfer function inspired by the wavelet transform on the sphere」	2015年9月
平成28年文部科学大臣表彰科学技術賞「聴覚知覚過程に根ざした高臨場感音情報処理技術に関する研究」	2016年4月
日本音響学会佐藤論文賞「Sound space recording and binaural presentation system based on a 252-channel microphone array」	2017年3月
EC2017 ベストペーパー賞「視聴覚コンテンツの音情報から生成した振動の高次感性促進効果」	2017年9月

## 特許

「補聴器システム」

登録番号: JPH0834652B2 1996年3月29日登録

「インパルス応答の測定方法」

登録番号: JP2725838B2 1998年3月11日登録

「音場制御システム」

登録番号: JP4827300B2 2001年1月30日登録

「振動インテンシティ計測方法および装置」  
登録番号: JPH3229056B2 2001 年 11 月 12 日登録

「Digital watermark system」  
登録番号: US7277871B2 2002 年 3 月 11 日登録

「Digital watermark system」  
登録番号: GB2386526B 2004 年 2 月 25 日登録

「Electronic watermark system (電子透かしシステム)」  
登録番号: JP3554825B2 2004 年 8 月 18 日登録

「電子透かしシステム、電子透かし埋込装置および電子透かし検出装置」  
登録番号: JP3627022B2 2005 年 3 月 9 日登録

「音処理装置、音処理方法および音処理プログラム」  
登録番号: JP4126025B2 2008 年 7 月 30 日登録

「超音波を用いた位置検出装置」  
登録番号: JP4287315B2 2009 年 7 月 1 日登録

「通信聴取システム」  
登録番号: JP4475468B2 2010 年 6 月 9 日登録

「救助要請通信システム」  
登録番号: JP4486922B2 2010 年 6 月 23 日登録

「聴音装置」  
登録番号: JP4543014B2 2010 年 9 月 15 日登録

「骨伝導スピーカ」  
登録番号: JP4558526B2 2010 年 10 月 6 日登録

「秘話通信システム、秘話送信装置、秘話受信装置および秘話通信方法」  
登録番号: JP5079286B2 2012 年 2 月 11 日登録

「データ通信方法、データ通信システムおよびデータ通信プログラム」  
登録番号: JP4911385B2 2012 年 4 月 4 日登録

「音空間再合成提示システム」  
登録番号: JP4956722B2 2012 年 6 月 20 日登録

「放射指向特性推定方法とその装置とプログラム」  
登録番号: JPH5376173B2 2013 年 12 月 25 日登録

「再生信号生成装置、再生信号生成方法及びプログラム」  
登録番号: JP5737592B2 2015 年 6 月 17 日登録

「音場収音再生装置、方法及びプログラム」  
登録番号: JP5741866B2 2015 年 7 月 1 日登録

「トランスオーラルシステム」  
登録番号: JP5754595B2 2015 年 7 月 29 日登録

「音場収音再生装置、方法及びプログラム」  
登録番号: JP5831910B2 2015 年 12 月 9 日登録

「音場収音再生装置、方法及びプログラム」  
登録番号: JP5954713B2 2016 年 7 月 20 日登録

「音場平面波展開方法、装置及びプログラム」  
登録番号: JP6044043B2 2016 年 8 月 26 日登録

## 競争的資金獲得状況

### ● 文部科学省科学研究費（研究代表者のみ）

奨励研究(A)	1985年	騒音のレベル計測における純音補正と衝撃音補正の研究
奨励研究(A)	1987年	音のマスクスペクトルの基礎的研究
一般研究(C)	1989年	デジタル信号処理を用いた無歪自由音場のリアルタイム制御
一般研究(C)	1990年－1991年	多センサを用いた振動インテンシティの直接計測手法の研究
一般研究(C)	1993年	伝達関数の多点同時模擬による音空間制御に関する研究
一般研究(B)	1994年－1995年	両耳効果デジタル補聴システムに関する研究
基盤研究(C)	1996年	聴覚系内スペクトルの補償に基づくデジタル補聴アルゴリズムの研究
基盤研究(C)	1998年－1999年	3次元音空間の動的知覚過程の解明
基盤研究(C)	2000年－2001年	マルチモーダル環境下における3次元音空間知覚過程の解明
基盤研究(B)	2002年－2004年	マルチモーダル環境に適合した高精度3次元音空間創成システムの構築
萌芽研究	2003年－2004年	自己運動感覚の考慮による高感性3次元マルチモーダル空間提示システムの構築可能性
萌芽研究	2005年－2007年	圧縮された音楽信号の原音修復に関する研究
特別推進研究	2007年－2011年	マルチモーダル感覚情報の時空間統合
基盤研究(A)	2012年4月－2015年3月	高精細3次元音空間情報のセンシングとディスプレイ技術の開発
挑戦的萌芽研究	2012年4月－2015年3月	視聴覚話者情報がもつ音韻・感性情報の分析とクロスモーダル推定・合成手法の模索
挑戦的萌芽研究	2014年4月－2017年3月	無意識な微小頭部運動は音空間感性知覚に影響を及ぼすか
基盤研究(A)	2016年4月－2019年3月	ADVISE理論に基づく自由聴取点高精細3次元音空間システムの開発
挑戦的研究(萌芽)	2017年4月－2020年3月	目立つ音を目立たせずに創る－トップダウン聴覚情景分析で音環境に優しいサイン音－

### ● その他（研究代表者のみ）

国際共同研究助成事業	2000年－2003年	2次元等ラウドネス曲線の全聴野精密決定
革新的技術開発研究推進費	2000年－2003年	デジタル音信号用高性能電子透かしの開発
地域新生コンソーシアム研究開発事業	2004年－2005年	高精度聴覚ディスプレイ技術を用いた視覚障害者用訓練機器の開発



知的クラスター	2005年 －2008年	インテリジェントユニバーサルコミュニケーションに関する研究
戦略的情報通信研究 開発推進制度	2006年 －2009年	音情報の高信頼高品質ネットワーク通信技術の開発
日中韓フォーサイト 事業	2011年 －2016年	次世代ネットワークにおける超臨場感音響相互通信の実現

## <教育活動に関する情報>

### ● 工学部専門教育

電磁気学 I, 電磁気学 A	1987年－2009年
電磁気学基礎論	2009年－2019年
電磁気学演習	1981年－2019年
計算機アーキテクチャ	1996年－2003年
数値解析	2004年－2005年
システム生理学	2012年－2017年
現代学問論	2018年－2019年
工学研修 A	1981年－1996年
工学研修 B	1981年－1996年
情報工学セミナー	1997年－2009年
情報工学卒業研修	1997年－2009年
知能コンピューティングセミナー	2010年－2017年
情報知能システム総合学卒業研修	2010年－2017年
情報工学セミナー	2018年－2019年
電気情報物理工学卒業研修	2018年－2019年

### ● 大学院教育科目

音情報科学	1993年－2019年
音メディア工学（工学研究科）	2005年－2019年
学際情報科学論	2011年
システム情報科学研修 A	1993年－2019年
システム情報科学研修 B	1993年－2019年
博士基盤研修	1998年－2019年
博士専門研修 A	1993年－2019年
博士専門研修 B	1993年－2019年
博士ゼミナール	1993年－2019年

## <大学運営に関する情報>大学委員

### ● 学内委員（主要なもの）

人事プロセス検討委員会委員	2008年－2016年
東北大学百周年記念会館運営委員	2008年－2019年

東北大学出版会評議員	2009年－2019年
東北大学サイバーサイエンスセンター大規模科学計算システム全国共同利用連絡会議委員	2008年－2019年
情報シナジー機構情報システム利用連絡会議委員	2007年－2016年
情報シナジー機構運営専門委員会委員	2005年－2010年
サイバーサイエンスセンター運営専門委員会委員	2011年－2019年
新キャンパス計画策定チーム委員	2007年－2012年
運輸交通専門委員会WG委員	2007年
研究倫理専門委員会委員	2007年－2008年
片平キャンパス整備委員会委員	2010年－2012年
軍事関係機関からの研究公募等に関する対応検討WG委員	2016年－2017年
個人情報保護委員会委員	2017年－2019年
● <b>電気・情報系内委員（主要なもの）</b>	
人事プロセス検討委員会委員	2003年－2004年
9人委員会委員	2010年－2015年
電気系学部・大学院カリキュラム検討委員会委員	2003年
進路指導委員会委員	2004年, 2017年－2019年
工学研究会運営検討委員会委員	2005年－2007年
東北大学電気・情報系産学連携委員会委員	2012年－2019年
運営連絡会議委員	2007年－2009年
教育広報企画室運営委員会委員	2007年
電気・情報系将来構想委員会委員	2007年－2009年
● <b>情報科学研究科内委員（主要なもの）</b>	
研究企画委員会委員	2007年
編集委員会委員	2009年－2019年
● <b>電気通信研究所内委員（主要なもの）</b>	
IT21センター運営委員会委員	2003年－2019年
共同利用委員会委員	2003年－2008年
共同プロジェクト研究委員会委員	2009年－2015年
共同プロジェクト実施委員会委員	2003年－2004年, 2008年
共同プロジェクト選考委員会委員	2010年－2013年
通研将来計画委員会委員	2003年－2012年
やわらかい情報システム研究センター運営委員	2003年－2019年
動物実験委員会委員	2003年－2009年
人間対象の研究に関する倫理委員会委員	2003年－2019年
研究企画戦略室幹事	2004年－2005年
環境委員会委員	2004年

工場運営委員会委員	2004年－2005年
運営会議委員	2005年－2009年
建物環境委員会委員	2005年－2010年
部門長	2005年, 2013年－2014年
所長会議構成員	2007年－2009年, 2013年－2015年
評価委員会委員	2007年－2009年, 2013年－2015年
研究企画委員会委員	2007年－2012年
通研移転対応プロジェクト委員会委員長	2007年－2010年
新棟建設検討委員会委員	2011年－2019年
〃 委員長	2012年
評価責任者(部局)	2007年－2009年
通研人事委員会委員	2010年－2015年
〃 委員長	2013年－2015年

#### <社会活動に関する情報>

##### ● 行政機関・企業・NPO等参加

仙台市公害対策審議会騒音部専門委員	1990年4月－1995年3月
仙台市公害対策審議会騒音部専門委員 (仮称) 仙台市音楽堂基本計画策定検討委員会建設計画 専門部会委員	1990年4月－1995年3月
文部省・大学の理工系分野の魅力向上に関する懇談会メ ンバー	1993年度－1994年度
仙台市環境影響評価審査会委員	1999年2月－2007年2月
石田財団評議員	1999年6月－2008年5月
仙台市環境影響評価審査会委員長	2003年2月－2007年2月
宮城県環境審議会委員	2000年8月－2008年7月
財団法人 科学技術広報財団「サイエンス・レンジャー」 育成プログラム開発に関する検討委員会委員	2000年4月－2001年3月
九州芸術工科大学外部評価委員	2001年4月－2002年3月
NEDO 提案公募評価者	2002年4月－現在
仙台市環境審議会委員	2004年4月－2014年3月
文部科学省科学技術・学術審議会専門委員(情報科学技 術委員会)	2005年1月－2011年1月
総務省情報通信審議会専門委員	2005年1月－2009年1月
仙台市環境審議会副会長	2006年4月－2014年3月
超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム (URCF) 音響分科会主査	2007年3月－2012年6月

宮城県環境影響評価技術審査会委員	2008年1月－2016年12月
超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム (URCF) 会長	2012年6月－2016年6月
石田（實）記念財団理事	2008年6月－現在
日本放送協会放送技術研究所研究アドバイザー	2008年4月－2013年3月
総務省情報通信審議会委員	2009年1月－2017年1月
〃 ITU 部会長	2011年1月－現在
〃 委員技術分科会分科会長代理	2015年1月－2017年1月
日本学術会議連携会員	2011年10月－2017年12月
宮城県仙台第一高等学校 SSH 運営指導委員長	2012年4月－現在
宮城県女川町 ICT 復興街づくり検討会座長	2013年1月－2013年3月
日本放送協会技術委員会委員	2013年4月－現在
財団法人みやぎ産業科学振興基金評議員	2013年5月－現在

● オープンキャンパス・研究所公開等

オープンキャンパス模擬講義（公開授業，講演）	2016年7月
東北大学サイエンスカフェスペシャル東北大学百周年 記念会館第15回公共建築賞受賞記念（公開授業，講演）	2016年10月

## 業績リスト

---

### I. 著書・編書

1. 2チャンネルFFTアナライザ活用マニュアル I  
日本プラントメンテナンス協会, ISBN4-88956-009-2 (1985).  
城戸健一編 (分担執筆)
2. 2チャンネルFFTアナライザ活用マニュアル II  
日本プラントメンテナンス協会, ISBN4-88956-010-6 (1985).  
城戸健一編 (分担執筆)
3. CP/MとMS-DOS  
共立出版, ISBN4-320-02333-1 (1987).  
鈴木陽一
4. はじめて学ぶGKS -国際標準コンピュータグラフィックスことはじめ-  
共立出版, ISBN4-320-02565-2 (1991).  
鈴木陽一
5. 新編 感覚・知覚 心理学 ハンドブック  
誠信書房, ISBN4-414-30503-9 (1993).  
大山正, 今井省吾, 和気典二 編 (刊行委員会幹事, 分担執筆) pp. 1057-1063
6. 音のなんでも小辞典  
講談社, ISBN4-06-257150-1 (1996).  
日本音響学会編 (分担執筆)
7. Cによる情報処理入門  
昭晃堂, ISBN4-7856-3106-6 (1997).  
阿曾 弘具編 (分担執筆)
8. 騒音制御工学ハンドブック  
技報堂出版, ISBN 4-7655-2009-9 (2001).  
日本騒音制御工学会編 (分担執筆) 4.1.“聴覚”pp161-165
9. 個性の輝くコミュニケーション -21世紀の夢-  
東北大学出版会, ISBN 4-7655-2009-9 (2001).  
(分担執筆) 4.1 pp. 222-252
10. 親密度別単語了解度試験用音声データベース (FW03)  
NTTアドバンステクノロジー株式会社 (2003)  
天野成昭, 近藤公久, 坂本修一, 鈴木陽一
11. 新版音響用語辞典  
コロナ社, ISBN 4-339-00755-2 (2003)  
日本音響学会編 (分担執筆)

12. 超臨場感システム  
オーム社, ISBN 978-4-274-20872-0 (2010)  
映像情報メディア学会編 (分担執筆) pp. 138-147
13. バーチャルリアリティ学  
工業調査会, ISBN 978-4-7693-5138-2 (2010)  
日本バーチャルリアリティ学会編 (分担執筆) pp. 110-114
14. Principles and applications of spatial hearing  
World Scientific (2011)  
Yôiti Suzuki, Douglas Brungart, Yukio Iwaya, Kazuhiro Iida, Densil Cabrera, and Hiroaki Kato  
編
15. 音響学入門 (音響入門シリーズ)  
コロナ社, ISBN 978-4-339-01301-6 (2011)  
日本音響学会編 (鈴木陽一, 赤城正人, 伊藤彰則, 佐藤洋, 荳木禎史, 中村健太郎)
16. 聴覚モデル (音響サイエンスシリーズ 3)  
コロナ社, ISBN 978-4-339-01323-8 (2011)  
日本音響学会編 (分担執筆)
17. 音と時間 (音響入門シリーズ)  
コロナ社, ISBN 978-4-339-01333-7 (2015)  
日本音響学会編 (分担執筆) 第 9 章

## II. 論文等

### ● 学術論文

1. The optimum level of music listened to in the presence of noise. *J. Acoust. Soc. Jpn. (E)*, 3 (2), (1982), 55-65  
Yôiti Suzuki, Toshio Sone, Hisanori Kanasashi, Yasuo Mafune, and Jiro Soma
2. The loudness of repeated impact sound (A study on the loudness of impact sound. IV), *J. Acoust. Soc. Jpn. (E)*, 3 (4), (1982), 231-238  
Masazumi Kumagai, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
3. A study on the time constant for an impulse sound level meter (A study on the loudness of impact sound. V), *J. Acoust. Soc. Jpn. (E)*, 5 (1), (1984), 31-36.  
Masazumi Kumagai, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
4. Optimum frequency response characteristics for music reproduction in the presence of noise. *J. Acoust. Soc. Jpn. (E)*, 6 (3), (1985), 161-170.  
Yôiti Suzuki, Toshio Sone, and Jiro Soma
5. Some consideration on the auditory perception of ultrasound and its effects on hearing. *J. Acoust. Soc. Jpn. (E)*, 6 (1), (1985), 3-8.  
Shunichi Kono, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone,
6. A new FFT algorithm of Radix 3, 6 and 12. *IEEE Trans. on Acoustics, Speech, and Signal Processing*,

- 34 (2), (1986), 380-383.  
 Yôiti Suzuki, Toshio Sone, and Ken'iti Kido
7. Loudness of a single burst of impact sound: Results of round robin tests in Japan (I). *J. Acoust. Soc. Jpn. (E)*, 7 (3), (1986), 173-182.  
 Toshio Sone, Yôiti Suzuki, Takahashi, Toshiya, and Masazumi Kumagai
8. Loudness and noisiness of a repeated impact sound: Results of round robin test in Japan (II). *J. Acoust. Soc. Jpn. (E)*, 8 (6), (1987), 249-261.  
 Toshio Sone, Kiyoto Izumi, Shunichi Kono, Yoiti Suzuki, Yasunori Ogura, Masazumi Kumagai, Hajime Miura, Hisasi Kado, Hideki Tachibana, Kozo Hiramatsu, Seiichiro, Namba, Sonoko Kuwano, Otoichi Kitamura, Minoru Sasaki, Masanao Ebata, and Takashi Yano
9. Growth of the loudness of a tone burst with a duration up to 10 seconds. *J. Acoust. Soc. Jpn. (E)*, 9 (6), (1988), 295-300.  
 Hisashi Takeshima, Yôiti Suzuki, Shunichi Kono, and Toshio Sone
10. An experimental consideration of the evaluation of environmental noise with tonal components. *J. Sound and Vibration*, 127 (3), (1988), 475-484.  
 Yôiti Suzuki, Shunichi Kono, and Toshio Sone
11. 恒常法による心理音響実験の結果に最尤推定を適用した場合のパラメタ推定誤差の検討. *日本音響学会誌*, 45 (6), (1989), 441-445.  
 小倉泰憲, 鈴木陽一, 曾根敏夫
12. 頭部伝達関数の模擬によるヘッドホン再生音像の定位. *日本音響学会誌*, 45 (10), (1989), 756-766.  
 川浦淳一, 鈴木陽一, 浅野太, 曾根敏夫
13. Equal-loudness level contours for pure tone under free field listening conditions (I) -Some data and considerations on experimental conditions. *J. Acoust. Soc. Jpn. (E)*, 10, (1989), 329-338.  
 Seiki Suzuki, Yôiti Suzuki, Shunichi Kono, Masazumi Kumagai, Takeshi Fujimori, Hisashi Kado, and Hajime Miura
14. Role of spectral cues in median plane localization. *J. Acoust. Soc. Am.*, 88 (1), (1990), 159-168.  
 Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
15. マスクスペクトルの保存条件に基づくラウドネス回路の特性設計に関する考察. *日本音響学会誌*, 46 (9), (1990), 736-746.  
 小澤賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 千葉俊一, 相馬次郎, 香野俊一
16. A digital hearing aid that compensates loudness for impaired listeners and its performance. *J. Acoust. Soc. Am.*, 88 (Suppl.1), (1990), S169.  
 Yôiti Suzuki, Futoshi Asano, Tetsuya Hayashi, Toshio Sone, Seiji Kakehata, Mitsuaki Satake, Kenji, Ohyama, Toshimitsu Kobayashi, and Tomonori Takasaka
17. Cross-spectral expression of vibration intensity for bending vibration. *J. Acoust. Soc. Korea*, 9, (1990), 51-59.  
 Chai Bong Lee, Yôiti Suzuki, Shunichi Kono, and Toshio Sone
18. ラウドネス補償特性を有するデジタル補聴器の一構成法. *日本音響学会誌*, 47 (6), (1991), 373-379.  
 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 林哲也, 佐竹充章, 大山健二, 小林俊光, 高坂知節
19. Sound Localization in headphone reproduction by simulating transfer functions from the sound

- source to the external ear. J. Acoust. Soc. Jpn. (E), 12 (5), (1991), 203-216.  
 Junichi Kawaura, Yôiti Suzuki, Futoshi Asano, and Toshio Sone
20. A temporal integration model for loudness perception of repeated impulsive sounds. J. Acoust. Soc. Jpn. (E), 12 (1), (1991), 1-11.  
 Yasunori Ogura, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
21. Evaluation of steady noise from a multi-dimensional point of view". Journal of Sound and Vibration, 151 (3), (1991), 519-528.  
 Hisashi Takeshima, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
22. 小型ヘッドホンの微少なビリつき音の検出方法. 日本音響学会誌, 47 (7), (1991), 484-490.  
 鈴木陽一, 神戸顕一郎, 小澤賢司, 曾根敏夫, 青木茂雄
23. Influence of an interfering noise on the sound localization of a pure tone. J. Acoust. Soc. Jpn(E), 14 (5), (1993), 327-339.  
 Yôiti Suzuki, Takanori Yokoyama, and Toshio Sone
24. A study on the measurement of one-dimensional vibration intensity carried by bending vibration in a beam. J. Acoust. Soc. Jpn. (E), 14 (1), (1993), 11-18.  
 Chai Bong Lee, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
25. Monaural phase effects on timbre of two-tone signals. J. Acoust. Soc. Am., 93 (2), (1993), 1007-1011.  
 Kenji Ozawa, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
26. Perceptual space for timbre of harmonic complex tones consisting of 20 to 40 components. J. Acoust. Soc. Jpn. (E), 14 (3), (1993), 209-212.  
 Kenji Ozawa, Takashi Sueki, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
27. A new method for loudness evaluation of noises with impulsive components. Noise Control Engineering, 40 (3), (1993), 231-240.  
 Yasunori Ogura, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
28. Adaptive feedback cancellation with frequency compression for hearing aids. J. Acoust. Soc. Am., 94 (6), (1993), 3248-3254.  
 Harry ADL Joson, Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
29. A 3-channel method for measuring one-dimensional vibration intensity. J. Acoust. Soc. Jpn. (E), 14 (6), (1993), 457-458.  
 Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
30. 振動場に応じた測定法の選択による 1次元振動インテンシティ計測. 騒音制御工学会誌, 17 (3), (1993), 11-14.  
 鈴木陽一, 岩谷幸雄, 曾根敏夫
31. Measurement of one-dimensional vibration intensity carried by bending vibration. J. Acoust. Soc. Korea, 12 (2E), (1993), 12-18.  
 Chai Bong Lee, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
32. Information of loudness in aural communication. Interdisciplinary Information Sciences, 1 (1), (1994), 51-66.  
 Toshio Sone, Yôiti Suzuki, Kenji Ozawa, and Futoshi Asano
33. Critical rotating speed for a rotating around image. J. Acoust. Soc. Jpn. (E), 15 (3), (1994), 207-209.  
 Toshio Harima, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone



34. バイノーラル再生を利用した主観実験による音場シミュレータの性能評価. 日本音響学会誌, 50 (5), (1994), 374-381.  
小澤賢司, 高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 宮島徹, 田原靖彦
35. 聴覚障害者の聴覚特性評価のための音素グルーピングの体系の提案. 日本音響学会誌, 50 (8), (1994), 602-612.  
佐藤庄衛, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
36. Threshold hearing for pure tone under free-field listening conditions.. J. Acoust. Soc. Jpn. (E), 15 (3), (1994), 159-170.  
Hisashi Takeshima, Yôiti Suzuki, Masazumi Kumagai, Toshio Sone, Takeshi Fujimori, and Hajime Miura
37. 片近傍場における 1 次元振動インテンシティの 4 チャンネル法計測に伴う誤差. 日本音響学会誌, 50 (7), (1994), 529-539.  
岩谷幸雄, 鈴木陽一, 坂田真人, 曾根敏夫
38. 境界要素法を用いた 3 次元空間音場のインパルス応答の推定方法について. 日本音響学会誌, 50 (3), (1994), 188-197.  
高根昭一, 山田祐生, 鈴木陽一, 曾根敏夫
39. A method for simulating the HRTF's considering head movement of listeners. J. Acoust. Soc. Jpn. (E), 15 (2), (1994), 117-119.  
Kazutaka Abe, Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
40. An optimum computer-generated pulse signal suitable for the measurement of very loping impulse response. J. Acoust. Soc. Am., 97 (2), (1995), 1119-1123.  
Yôiti Suzuki, Futoshi Asano, Hack-Yoon Kim, and Toshio Sone
41. Weighted RLS adaptive Beamformer with initial directivity. IEEE, Trans. On Speech and Audio Processing, 3 (5), (1995), 424-428.  
Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
42. 2 段階評定尺度法と 1 段階評定低尺度法によるラウドネス関数の測定. Audiology Japan, 38 (6), (1995), 803-816.  
鈴木陽一, 伊勢友彦, 浅野太, 曾根敏夫, 大山健二, 高坂知節
43. 1 次元振動インテンシティにおける近傍場成分の影響. 日本音響学会誌, 51 (10), (1995), 763-768.  
西村竜一, 岩谷幸雄, 鈴木陽一, 曾根敏夫
44. A consideration on the difference limen for timber of complex tones consisting of higher harmonics. J. Acoust. Soc. Jpn (E), 17 (2), (1996), 105-108.  
Hisashi Uematsu, Kenji Ozawa, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
45. Sound equalization using derivative constraints. Acustica, 82, (1996), 311-320.  
Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
46. A model for timber discrimination taking the effect of lateral inhibition into consideration. J. Acoust. Soc. Jpn (E), 17 (5), (1996), 265-267.  
Hisashi Uematsu, Kenji Ozawa, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
47. 評定尺度法を用いたラウドネス補償関数の推定. Audiology Japan, 39, (1996), 209-223.  
鈴木陽一, 伊勢友彦, 浅野太, 曾根敏夫, 大山健二, 高坂知節
48. Speech Enhancement Based on Short-Time Special Amplitude Estimation with Two-Channel

- Beamformer. IEICE Trans. Fundamentals, E79-A (12), (1996), 2151-2158.  
 Hack-Yoon Kim, Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
49. Wevelet 変換を用いた Spectral Subtraction による音声強調. 電子情報通信学会論文誌, J79-A (12), (1996), 1986-1993.  
 西村竜一, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
50. 高次高調波成分のみからなる複合音の音色知覚過程とそのモデルに関する検討. 日本音響学会誌, 52 (12), (1996), 948-956.  
 植松尚, 小澤賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
51. Convergence characteristics of the adaptive array using RLS algorithm. IEICE Trans. Fundamentals, E80-A (1), (1997), 148-158.  
 Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
52. Effects of aural combination tones on the loudness of a pure tone made by an inharmonic pure-tone. J. Acoust. Soc. Jpn (E), 18 (1), (1997), 9-18.  
 Kenji Ozawa, Yôiti Suzuki, Hisashi Uematsu, and Toshio Sone
53. Sound field reproduction by controlling the transfer functions from the sound source to multiple points in close proximity. IEICE Trans. Fundamentals, E80-A (3), (1997), 574-581.  
 Kazutaka Abe, Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
54. Equal-loudness levels measured with the method of constant stimuli-Equal-loudness level contours for pure tone under free-field listening conditions (II). J. Acoust. Soc. Jpn. (E), 18 (6), (1997), 337-340.  
 H. Takeshima, Y. Suzuki, M. Kumagai, T. Sone, T. Fujimori, and H. Miura
55. ファジィ制御を用いた学習同定法のステップゲイン修正法. 日本音響学会誌, 53 (12), (1997), 941-948.  
 武藤憲司, 柴山秀雄, 島田一雄, 鈴木陽一, 曾根敏夫
56. Localization of a virtual sound image by two sources located on the median plane. J. Acoust. Soc. Jpn. (E), 18 (4), (1997), 205-208.  
 T. Harima, S. Takane, Y. Suzuki and T. Sone
57. Random changes in envelope of AM tones and their detection. J. Acoust. Soc. Jpn. (E), 19 (2), (1998), 83-94.  
 Edward Ozimek, Jacek Konieczny, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
58. 音色表現語, 感情表現語及び音情報関連語による環境音評価. 日本音響学会誌, 54 (5), (1998), 343-350.  
 安倍幸治, 小澤賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
59. Speech enhancement using spectral subtraction with wavelet transform. Electronics and Communication in Japan, 81 (1), (1998), 24-31.  
 Ryouichi Nishimura, Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
60. 壁面音響特性評価のための等価音響アドミタンスの提案. 日本音響学会誌, 54 (9), (1998), 641-648.  
 高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫
61. 等価音響アドミタンスを用いて帯板の音響特性を表したときの音場解析の精度. 日本音響学会誌, 54 (10), (1998), 720-728.  
 高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫

62. 直接差分法による一次元振動インテンシティの片近傍場における計測値を与える式の導出. 日本機械学会論文集, 6464-625C (9), (1998), 32-38.  
岩谷幸雄, 鈴木陽一, 坂田真人, 曾根敏夫
63. Clinical evaluation of a portable digital hearing aid with narrow-band loudness compensation. *Scandinavian Audiology*, 27, (1998), 225-236.  
Hiroshi Hidaka, Tetsuaki Kawase, Shin Takahashi, Yôiti Suzuki, Kenji Ozawa, Syuichi Sakamoto, Naoko, Sasaki, Koji Hirano, Narihisa Ueda, Toshio Sone, and Tomonori Takasaka
64. 親密度と音韻バランスを考慮した単語了解度試験用リストの構築. 日本音響学会誌, 54 (12), (1998), 842-849.  
坂本修一, 鈴木陽一, 天野成昭, 小澤賢司, 近藤公久, 曾根敏夫
65. Detection of random amplitude modulation. *Acustica united with Acta Acustica*, 84, (1998), 1109-1118.  
Edward Ozimek, Jacek Konieczny, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
66. 1 段階細分化評定尺度法によるラウドネス関数の測定. *Audiology Japan*, 42 (1), (1999), 48-56.  
鈴木陽一, 津久井慎二, 小澤賢司, 日高浩史, 川瀬哲明, 曾根敏夫, 高坂知節
67. New design method of a binaural microphone array using multiple constraints. *IEICE Trans. Fundamentals*, E82-A, (1999), 588-596.  
Yôiti Suzuki, Shinji Tsukui, Futoshi Asano, Ryouichi Nishimura, and Toshio Sone
68. Adaptive control of vibration intensity in a beam in the frequency domain. *IEICE Trans. Fundamentals*, E82-A, (1999), 605-610.  
Yukio Iwaya, Tomoki Ichinoseki, Yôiti Suzuki, Masato Sakata, and Toshio Sone
69. Optimization of control source configuration in active control systems using Gram-Schmidt orthogonalization. *IEEE, Trans. on Speech and Audio Processing*, 7, (1999), 213-220.  
Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, and David C. Swanson
70. Sound localization for virtual sound source in cases of chronic otitis media. *Audiology*, 38, (1999), 83-90.  
Tetsuaki Kawase, Tetsuo Koiwa, Ryo Yuasa, Yu Yuasa, Hiroshi Hidaka, Tomonori Takasaka, Kenji Ozawa, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
71. A new method for global sound field reproduction based on Kirchhoff's integral equation. *Acustica united with Acta Acustica*, 85, (1999), 250-257.  
Shouichi Takane, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
72. 絶対判断と相対判断による音像距離知覚の比較. 日本バーチャルリアリティ学会誌, 4, (1999), 455-460.  
金 海永, 鈴木陽一, 高根昭一, 小澤賢司, 曾根敏夫
73. 言語による音源情報の予示が環境音の知覚に与える影響. 日本音響学会誌, 55, (1999), 697-706.  
安倍幸治, 小澤賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
74. Active control of structural intensity flow in a beam in far-field. *J. Acoust. Soc. Jpn.(E)*, 20, (1999), 347-351.  
Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki, Masato Sakata, and Toshio Sone
75. Apparent change of masking functions with compression-type digital hearing aid. *Scandinavian Audiology*, 29, (2000), 159-169.

- Naoko Sasaki, Tetsuaki Kawase, Hiroshi Hidaka, Masaki Ogura, Tomonori Takasaka, Kenji Ozawa, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
76. Effects of contralateral noise on measurement of the psychophysical tuning curve. *Hearing Research*, 142, (2000), 63-70.  
Tetsuaki Kawase, Masaki Ogura, Hiroshi Hidaka, Ryo Yuasa, Yu Yuasa, Hiroshi Hidaka, Yôiti Suzuki, and Tomonori Takasaka
77. 半無限長はりの終端インピーダンスが屈曲波の反射と振動インテンシティに及ぼす影響. *日本音響学会誌*, 56, (2000), 243-248.  
岩谷幸雄, 鈴木陽一, 坂田真人, 曾根敏夫
78. ヘッドホンを用いたバイノーラル再生における個人性補正の効果. *日本バーチャルリアリティ学会論文誌*, 5, (2000), 949-956.  
小澤賢司, 金澤永治, 鈴木陽一
79. 視覚情報が環境音知覚に与える影響. *日本音響学会誌*, 56, (2000), 793-804.  
安倍幸治, 小澤賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
80. 拡張輻輳角モデルによる音像距離定位の制御. *日本バーチャルリアリティ学会論文集*, 5, (2000), 911-918.  
金海永, 鈴木陽一, 高根昭一, 曾根敏夫
81. Control of auditory distance perception based on the auditory parallax model. *Applied Acoustics*, 62, (2001), 245-270.  
Hae-Young Kim, Yôiti Suzuki, Shouichi Takane, Toshio Sone
82. Active control of sound intensity for suppression of reflected sound waves based on the state feedback control. *IEICE Trans. Fundamentals*, (2001), 1017-1026.  
Hisashi Takahashi, Yôiti Suzuki, Shouichi Takane, and Futoshi Asano
83. A speech enhancement technique using Kalman filter with state vector of time-frequency patterns. *IEICE Trans. Fundamentals*, (2001), 1027-1033.  
Ryoichi Nishimura, Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
84. Equal-loudness contours measured by the randomized maximum likelihood sequential procedure. *Acustica united with Acta Acustica*, 87, (2001), 389-399.  
Hisashi Takeshima, Yôiti Suzuki, Hideyuki Fujii, Kaoru Ashihara, Takeshi Fujimori, Toshio Sone
85. Evaluation of loudness-level weightings for assessing the annoyance of environmental noise. *J. Acoust. Soc. Am*, 110, (2001), 2390-2397.  
Poul D. Schomer, Yôiti Suzuki and Fumitaka Saito
86. Perception of the Quality of Sound Amplitude-modulated with Triangular Waves. *Interdisciplinary Information Sciences*, 7, (2001), 227-236.  
Kunihiro Kumagai, Kenji Ozawa, Yôiti Suzuki and Toshio Sone
87. Sound Quality of Two-tone Complex Sounds with Different Overall Loudness. *Interdisciplinary Information Sciences*, 7, (2001), 237-246.  
Kenji Ozawa, Yôiti Suzuki and Toshio Sone
88. Equal-loudness contours between 1 kHz and 12.5 kHz for 60 and 80 phons. *Acoustical Science and Technology*, 23 (2), (2002), 106-109.  
Hisashi Takeshima, Yôiti Suzuki, Kaoru Ashihara, Takeshi Fujimori

89. バイノーラル再生における個人差補正の簡略化とその評価. 日本バーチャルリアリティ学会論文誌, 7 (2), (2002), 201-210.  
 廣田尚亮, 小澤賢司, 鈴木陽一
90. 単語親密度と加齢による聴力損失が残響及び騒音下における単語了解度に及ぼす影響. 日本音響学会誌, 58 (6), (2002), 346-354.  
 佐藤洋, 佐藤逸人, 吉野博, 鈴木陽一, 天野成昭, 近藤公久, 長友宗重
91. A further investigation into the method for active suppression of reflected sound waves based on the state feedback control. *Acoustical Science and Technology*, 23, (2002), 170-172.  
 Hironobu Takahashi, Yôiti Suzuki, Shouichi Takane, and Futoshi Asano
92. Implicit estimation of sound-arrival time. *Nature*, 421 (27), (2003), 911.  
 Yoichi Sugita and Yôiti Suzuki
93. Effects of contralateral noise on the measurement of auditory threshold. *The Tohoku Journal of Experimental Medicine*, 200 (3), (2003), 129-135.  
 T. Kawase, M. Ogura, T. Sato, T. Kobayashi, and Y. Suzuki
94. Interpolation of Head-Related Transfer Functions based on the Common-Acoustical-Pole and Residue model. *Acoustical Science and Technology*, 24 (5), (2003), 335-337.  
 K. Watanabe, S. Takane, and Y. Suzuki
95. A new theory for high definition virtual acoustic display named ADVISE. *Acoustical Science and Technology*, 24 (5), (2003), 276-283.  
 S. Takane, Y. Suzuki, T. Miyajima, and T. Sone
96. Elementary real-time implementation of a virtual acoustic display based on ADVISE. *Acoustical Science and Technology*, 24 (5), (2003), 304-310.  
 S. Takane, S. Takahashi, Y. Suzuki, and Y. Miyajima
97. Auditory search asymmetry between normal Japanese speech sounds and time-reversed speech sounds distributed on the frontal-horizontal plane. *Acoustical Science and Technology*, 24 (3), (2003), 145-147.  
 N. Asemi, Y. Sugita, and Y. Suzuki
98. Psychological factors involved in auditory presence. *Acoustical Science and Technology*, 24 (1), (2003), 42-44.  
 K. Ozawa, Y. Chujo, Y. Suzuki, and T. Sone
99. Comparison of loudness functions suitable for drawing equal-loudness-level contours. *Acoustical Science and Technology*, 24 (2), (2003), 61-68.  
 H. Takeshima, Y. Suzuki, K. Ozawa, M. Kumagai, and T. Sone
100. Effects of visual information on auditory presence. *Acoustical Science and Technology*, 24 (2), (2003), 97-99.  
 K. Ozawa, S. Ohtake, Y. Suzuki, and T. Sone
101. Auditory search asymmetry between pure tone and temporal fluctuating sounds distributed on the frontal-horizontal plane. *Acta Acustica united with Acustica*, 89, (2003), 346-354.  
 N. Asemi, Y. Sugita, and Y. Suzuki
102. Modified binaural pitch-matching test for the assessment of diplacusis. *International Journal of Audiology*, 42 (6), (2003), 297-302.  
 M. Ogura, T. Kawase, T. Kobayashi, and Y. Suzuki

103. Effects of head movement on front-back error in sound localization. *Acoustical Science and Technology*, 24 (5), (2003), 322-324.  
Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki and Daisuke Kimura
104. 音響信号用 CoFIP の実現. *情報技術レターズ*, 2, (2003), 227-229.  
藺田光太郎, 西村竜一, 鈴木陽一, 青木輝勝
105. Log-scaling watermark detection in digital audio watermarking. *IEEE International Conference on Speech, Acoustics, and Signal Processing*, (2004), 81-84.  
Byeong-Seob Ko, Ryouichi Nishimura, Yôiti Suzuki
106. 周期的位相変調に基づく音響電子透かし. *日本音響学会誌*, 60 (5), (2004), 268-272.  
西村竜一, 鈴木陽一
107. 小型平面スピーカを用いた複合現実感聴覚ディスプレイの開発. *FIT2004 情報技術レターズ*, 3, (2004), 285-286.  
渋谷亮輔, 石田泰久, 岩谷幸雄, 坂田真人, 鈴木陽一
108. 単語了解度試験におけるモーラ同定に対する親密度の影響. *日本音響学会誌*, 60 (7), (2004), 351-357.  
坂本修一, 天野成昭, 鈴木陽一, 近藤公久, 小澤賢司, 曾根敏夫
109. Complementary relationship between familiarity and SNR in world intelligibility test. *Acoustical Science and Technology*, 25 (4), (2004), 290-292.  
S. Sakamoto, N. Iwaoka, Y. Suzuki, S. Amano and T. Kondo
110. Array signal processing with two outputs preserving binaural information. *Applied Acoustics*, (65), (2004), 657-672.  
Ryouichi Nishimura, Yôiti Suzuki, Shinji Tsukui, Futoshi Asano
111. Blind detection of watermarks embedded by periodical phase shifts. *Acoustical Science and Technology*, 1 (25), (2004), 103-105.  
Kotaro Sonoda, Ryouichi Nishimura and Yôiti Suzuki
112. The effects of linearly moving sound images on self-motion perception. *Acoustical Science and Technology*, 1 (25), (2004), 100-102.  
Shuichi Sakamoto, Yusuke Osada, Yôiti Suzuki and Jiro Gyoba
113. Robust watermarking based on time-spread echo method with subband decomposition. *IEICE Trans. Fundamentals*, (6), (2004), 1647-1650.  
Byeong-Seob Ko, Ryouichi Nishimura and Yôiti Suzuki
114. Two-dimensional localization of a phantom sound image controlled by the level differences among four loudspeakers in a vertical plane facing a listener. *Acoustical Science and Technology*, 25 (6), (2004), 493-495.  
Tatsuhiko Furuya, Kenji Ozawa and Yôiti Suzuki
115. Equal-loudness-level contours for pure tones. *Journal of Acoustical Society of America*, 116 (2), (2004), 918-933.  
Yôiti Suzuki and Hisashi Takeshima
116. 三次元音響 VR エデュテイメントシステムによる視覚障害者の空間認識能訓練効果. *FIT2004 情報技術レターズ*, 3, (2004), 283-284.  
大内誠, 岩谷幸雄, 鈴木陽一, 棟方哲弥
117. A method for structural intensity measurement on a plate by using the spectral element method.

- Acoustical Science and Technology, (3), (2005), 301-304.  
Tetsuo Oya, Yôiti Suzuki and Koichi Ito
118. パイノーラル補正における音場に関する拘束条件の解除. 日本バーチャルリアリティ学会論文誌, 10 (4), (2005), 565-572.  
筒井健介, 小澤賢司, 鈴木陽一
119. 両耳分離聴が高齢者の方向定位に与える影響. Audiology Japan, 48 (6), (2005), 633-643.  
村瀬敦信, 中島史絵, 坂本修一, 鈴木陽一, 川瀬哲明, 小林俊光
120. Reduction of distributed data size in audio content fingerprinting (CoFIP). Acoustical Science and Technology, (4), (2005), 362-364.  
Kotaro Sonoda, Ryouiti Nishimura and Yôiti Suzuki
121. 身体特徴量に基づく両耳間時間差の予測に関する検討. 日本バーチャルリアリティ学会誌, 10 (4), (2005), 609-618.  
渡邊貫治, 岩谷幸雄, 行場次朗, 鈴木陽一, 高根昭一
122. A Novel Interpolation Method of HRTFs Based on the Common-Acoustical-Pole and Zero Model. Acta Acustica united with Acustica, (6), (2005), 958-966.  
Kanji Watanabe, Shouichi Takane and Yôiti Suzuki
123. 仮想音環境のための頭部伝達関数コーパス. FIT2005 情報技術レターズ, 4, (2005), 237-240.  
渡邊貫治, 岩谷幸雄, 行場次朗, 鈴木陽一
124. 両耳分離聴が高齢者の音声明瞭度に与える影響. Audiology Japan, 48 (1), (2005), 59-64.  
村瀬敦信, 坂本修一, 中島史絵, 鈴木陽一, 川瀬哲明, 小林俊光
125. Multiple watermarks for stereo audio signals using phase-modulation techniques. IEEE Trans. on Signal Processing, 53 (2), (2005), 806-815.  
Akira Takahashi, Ryouichi Nishimura, and Yôiti Suzuki
126. Time-spread echo method for digital audio watermarking. IEEE, Trans. on Multimedia, 7, (2005)212-221.  
Byeong-Seob Ko, Ryouichi Nishimura and Yôiti Suzuki
127. Time-spread echo digital audio watermarking tolerant of pitch shifting. Acoustical Science and Technology, 26 (6), (2005), 530-532.  
Hironobu Takahashi, Ryouichi Nishimura, and Yôiti Suzuki
128. Audio secret sharing for 1-bit audio. Acoustical Science and Technology, 27 (3), (2006), 171-173.  
Norihiko Fujita, Ryouichi Nishimura and Yôiti Suzuki
129. Calculation of transfer function of acoustic feedback path for in-the-ear hearing aids with correction for specific acoustic impedance of a tubule. Acoustical Science and Technology, 27 (4), (2006), 242-244.  
Katsuya Nakao, Ryouichi Nishimura and Yôiti Suzuki
130. Comparison of the Effects of Verbal Versus Visual Information About Sound Sources on the Perception of Environmental Sounds. Acta Acustica united with Acustica, 92, (2006), 51-60.  
Koji Abe, Kenji Ozawa, Yôiti Suzuki, Toshio Sone
131. 頭部運動感応型ソフトウェア聴覚ディスプレイの開発. 日本バーチャルリアリティ学会誌, 11 (6), (2006), 437-446.  
矢入聡, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
132. An estimation method of ITDs from measured Head-Related Impulse Responses. Acoustical Science

- and Technology, 27 (4), (2006), 239-241.
- Masashi. Toyoda, Kanji. Watanabe, Yukio. Iwaya, and Yôiti Suzuki
133. A comparative study of sound localization acuity of congenital blind persons and sighted people. Acoustical Science and Technology, 27 (5), (2006), 290-293.
- Makoto Ohuchi, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki Suzuki, Tetsuya Munekata
134. Effects of dividing frequency in filtering for dichotic presentation to reduce masking to a consonant by the preceding vowel. Acoustical Science and Technology, 27 (4), (2006), 245-247.
- Atsunobu Murase, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki Suzuki, Tetsuaki Kawase, and Toshimitsu Kobayashi
135. A simple method to detect audible echoes in room acoustical design. Applied Acoustics, 67, (2006), 835-848.
- Y. Yamada, T. Hidaka, and Y. Suzuki
136. 汎用聴覚ディスプレイ用ソフトウェアエンジンの開発と音空間知覚訓練システムへの応用. 日本音響学会誌, 62 (6), (2006), 224-232.
- 大内誠, 岩谷幸雄, 鈴木陽一, 棟方哲弥
137. Estimation of Detection Threshold of System Latency of Virtual Auditory Display. Applied Acoustics, 68 (8), (2007), 851-863.
- Satoshi Yairi, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
138. Estimation of interaural level difference based on anthropometry and its effect on sound localization. J. Acoust. Soc. of Am., 122 (5), (2007), 2832-2841.
- Kanji Watanabe, Kenji Ozawa, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki, and Kenji Aso
139. Rendering moving sound with the doppler effect in sound space. Applied Acoustics, 68 (8), (2007), 916-922.
- Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
140. 三次元聴覚ディスプレイ研究の新展開:聴覚 VR ゲームによる転移効果. 日本バーチャルリアリティ学会論文誌, 12 (4), (2007), 487-496.
- 本多明生, 柴田寛, 行場次朗, 岩谷幸雄, 鈴木陽一, 大内誠
141. LogPCM および ADPCM への Multiple Description スカラー量子化の適用. 電子情報通信学会誌 A, J90-A (12), (2007), 918-921.
- 魏浩石, 西村竜一, 伊藤彰則, 小林まおり, 鈴木陽一
142. Transfer effects on sound localization performances from playing a virtual three-dimensional auditory game. Applied Acoustics, 68 (8), (2007), 885-896.
- Akio Honda, Hiroshi Shibata, Jiro Gyoba, Koji Saitou, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
143. Rendering Method of Moving Sound Source with the Doppler Effect in Sound Space. Applied Acoustics, 68 (8), (2007), 916-922.
- Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
144. 音質劣化が刺激の印象空間内での配置に及ぼす影響. 日本音響学会誌, 64 (2), (2008), 63-72.
- 西村竜一, 末永司, 鈴木陽一, 田中章浩
145. A Two-Microphone Noise Reduction Method in Highly Non-stationary Multiple-Noise-Source Environments. IEICE Trans. Fundamentals, E91-A (6), (2008), 1337-1346.
- Junfeng LI, Masato AKAGI, and Yôiti Suzuki
146. The effect of linearly moving sound image on perceived self-motion with vestibular information.



- Acoustical Science and Technology, 29 (6), (2008), 391-393.
- Shuichi Sakamoto, Fumihiko Suzuki, Yôiti Suzuki, and Jiro Gyoba
147. Effect of speed difference between time-expanded speech and moving image of talker's face on word intelligibility. *Journal on Multimodal User Interfaces*, 2, (2008), 199-203.
- Shuichi Sakamoto, Akihiro Tanaka, Komi Tsumura, and Yôiti Suzuki
148. Adaptive  $\beta$ -order generalized spectral subtraction for speech enhancement. *Signal Processing*, 88 (11), (2008), 2764-2777.
- Junfeng Li, Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, Masato Akagi, and Yôiti Suzuki
149. Reducing Host Interference from Spread Spectrum Watermarking. *Circuits, Systems and Signal Processing*, 27 (2), (2008), 183-193.
- Saeed Sedghi, and Yôiti Suzuki
150. Fuzzy self-adaptive digital audio watermarking based on time-spread echo hiding. *Applied Acoustics*, 69 (10), (2008), 868-874.
- Huiqin Wang, Ryouichi Nishimura, Yôiti Suzuki, and Li Mao
151. Influence of Large System Latency of Virtual Auditory Display on Sound Localization Task. *Acta Acustica united with Acustica*, 94 (6), (2008), 1016-1023.
- Satoshi Yairi, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
152. Comparison of sound localization performance between virtual and real three-dimensional immersive sound field. *Acoustical Science and Technology*, 30 (3), (2009), 216-219.
- Dae-Gee Kang, Yukio Iwaya, Ryota Miyauchi, and Yôiti Suzuki
153. Visual speech improves the intelligibility of time-expanded auditory speech. *NeuroReport*, 20 (5), (2009), 473-477.
- Akihiro Tanaka, Shuichi Sakamoto, Komi Tsumura, Yôiti Suzuki
154. Development of familiarity-controlled word lists 2003 (FW03) to assess spoken word intelligibility in Japanese. *Speech Communication*, 51, (2009), 76-82.
- Shigeaki Amano, Shuichi Sakamoto, Tadahisa Kondo, Yôiti Suzuki
155. Transfer effects on communication and collision avoidance behavior from playing a three-dimensional auditory game based on a virtual auditory display. *Applied Acoustics*, 70, (2009), 868-874.
- Akio Honda, Hiroshi Shibata, Souta Hidaka, Yukio Iwaya, Jiro Gyoba, Yôiti Suzuki
156. Effects of auditory information change on the visible persistence of moving visual objects. *基礎心理学研究*, 28 (1), (2009), 177-178.
- Souta Hidaka, Wataru Teramoto, Jiro Gyoba, Yôiti Suzuki
157. A Portable Acoustic Caption Decoder Using IH Techniques for Enhancing Lives of the People Who Are Deaf or Hard-of-Hearing – System Configuration and Robustness for Airborne Sound -. *International Journal of Innovative Computing, Information and Control*, 5 (7), (2009), 1829-1836.
- Tetsuya Munekata, Toshimitsu Yamaguchi, Hiroki Handa, Ryouichi Nishimura, and Yôiti Suzuki
158. Bimodal audio-visual training enhances auditory adaptation process. *Neuroreport*, 20 (14), (2009), 1231-1234.
- Tetsuaki Kawase, Shuichi Sakamoto, Yoko Hori, Atsuko Maki, Yôiti Suzuki and Toshimitsu Kobayashi

159. Alternation of sound location induces visual motion perception of a static object. *PLoS ONE*, 4 (12), (2009), e8188.  
Souta Hidaka, Yuko Manaka, Wataru Teramoto, Youichi Sugita, Ryota Miyauchi, Jiro Gyoba, Yôiti Suzuki, and Yukio Iwaya
160. ADPCM 出力とサンプルの絶対値を考慮した G.711 への固定ビットレート情報ハイディング. *電子情報通信学会論文誌*, J93-A (2), (2010), 82-90.  
伊藤彰則, 半田浩規, 鈴木陽一
161. Corrigendum to “Measurement of resonance frequency and loss factor of a microphone diaphragm using a laser vibrometer”. *Applied Acoustics*, 71 (3), (2010), 258-261.  
Jae Gap Suh, Hack-Yoon Kim, and Yôiti Suzuki
162. 「迫真性」を規定する時空間情報. *日本バーチャルリアリティ学会論文誌*, 15 (3), (2010), 483-486.  
寺本 渉, 吉田和博, 日高聡太, 浅井暢子, 行場次朗, 坂本修一, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
163. Auditory temporal cues can modulate visual representational momentum. *Attention, Perception & Psychophysics*, 72 (8), (2010), 2215-2226.  
Wataru Teramoto, Sota Hidaka, Jiro Gyoba, and Yôiti Suzuki
164. Sound can prolong the visible persistence of moving visual objects. *Vision Research*, 50 (20), (2010), 2093-2099.  
Sota Hidaka, Wataru Teramoto, Jiro Gyoba, and Yôiti Suzuki
165. Visual motion perception induced by sounds in vertical plane. *Neuroscience Letters*, 479 (3), (2010), 221-225.  
Wataru Teramoto, Yuko Manaka, Souta Hidaka, Youichi Sugita, Ryota Miyauchi, Shuichi Sakamoto, Jiro Gyoba, Yôiti Suzuki, and Yukio Iwaya
166. Information Hiding for G.711 Speech Based on Substitution of Least Significant Bits and Estimation of Tolerable Distortion. *IEICE Trans. Fundamentals*, E93-A (7), (2010), 1279-1286.  
Akinori Ito, Shun'ichiro Abe, and Yôiti Suzuki
167. Two-stage binaural speech enhancement with Wiener filter for high-quality speech communication. *Speech Communication*, 53 (5), (2010), 677-689.  
Junfeng Li, Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, Masato Akagi, and Yôiti Suzuki
168. 臨場感の素朴な理解. *日本バーチャルリアリティ学会論文誌*, 15 (1), (2010), 7-16.  
寺本 渉, 吉田和博, 浅井暢子, 日高聡太, 行場次朗, 鈴木陽一
169. Multiple Description Coding Using Time Domain Division for MP3 coded Sound Signal. *Journal of Information Hiding and Multimedia Signal Processing*, 1 (4), (2010), 269-285.  
Ho-seok Wey, Akinori Ito, Takuma Okamoto, and Yôiti Suzuki
170. A short noise burst can recover visual awareness suppressed by motion-induced blindness. *Japanese Journal of Psychonomic Science*, 29 (1), (2010), 85-86.  
M. Shibata, Y. Kawachi, S. Yairi, Y. Iwaya, J. Gyoba, and Y. Suzuki
171. Reinforcement of VoIP Security with Multipath Routing and Secret Sharing Scheme. *Journal of Information Hiding and Multimedia Signal Processing*, 1 (3), (2010), 204-219.  
Ryouichi Nishimura, Shun'ichiro Abe, Norihiro Fujita Yôiti Suzuki, Nobuyuki Enomoto, Tsutomu Kitamura, and Atsushi Iwata
172. 腹話術効果の時間特性. *日本バーチャルリアリティ学会論文誌*, 15 (3), (2010), 483-486.

- 小林まおり, 藤井真治, 岩谷幸雄, 坂本修一, 鈴木陽一
173. Measurement of resonance frequency and loss factor of a microphone diaphragm using a laser vibrometer. *Applied Acoustics*, 71 (3), (2010), 258-261.  
Jae Gap Suh, Hack-Yoon Kim, and Yôiti Suzuki
174. 腹話術効果の時間特性. *日本バーチャルリアリティ学会論文誌*, 16 (1), (2011), 93-97.  
小林まおり, 藤井真治, 岩谷幸雄, 坂本修一, 鈴木陽一
175. Two-Stage Binaural Speech Enhancement with Wiener Filter (TS-BASE/WF) for High-Quality Speech Communication. *Speech Communication*, 53 (5), (2011), 677-689.  
Junfeng Li, Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, Masato Akagi, and Yôiti Suzuki
176. Auditory motion information drives visual motion perception. *PLoS One*, 6 (3), (2011), e17499.  
Souta Hidaka, Wataru Teramoto, Yoichi Sugita, Yuko Manaka, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
177. Effects of pause duration and speech rate on sentence intelligibility in younger and older adult listeners. *Acoustical Science and Technology*, 32 (6), (2011), 264-267.  
Akihiro Tanaka, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
178. Audio-visual synchrony perception of simplified speech sounds heard as speech and non-speech. *Acoustical Science and Technology*, 32 (3), (2011), 125-128.  
Kaori Asakawa, Akihiro Tanaka, Shuichi Sakamoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
179. 親密度別単語了解度試験用音声データセット (FW03) に収録された単音節音声の雑音下における認知閾. *日本音響学会誌*, 66 (3), (2011), 105-111.  
近藤公久, 坂本修一, 天野成昭, 鈴木陽一
180. Audiovisual synchrony perception of simplified speech sounds heard as speech and non-speech. *Acoustical Science and Technology*, 32(6), (2011), 264-267.  
Kaori Asakawa, Akihiro Tanaka, Shuichi Sakamoto, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki
181. Sounds can alter the perceived direction of a moving visual object. *Journal of Vision*, 12 (3), (2012), 1-12.  
Wataru Teramoto, Sota Hidaka, Yoichi Sugita, Shuichi Sakamoto, Jiro Gyoba, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
182. Effective control point layout for boundary surface control method based on the eigenfunction of the internal Dirichlet problem. *Acoustical Science and Technology*, 33 (5), (2012), 322-325.  
Tomohiro Ise, Iwaya Yukio, and Yôiti Suzuki
183. Loudspeaker distributions suitable for crosstalk cancellers robust to head rotation. *Acoustical Science and Technology*, 33 (4), (2012), 266-269.  
Cheolsu Han, Takuma Okamoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
184. Compression of auditory space during forward self-motion. *PLoS ONE*, 7 (6), (2012), e39402.  
Wataru Teramoto, Shuichi Sakamoto, Fumimasa Furune, Jiro Gyoba, and Yôiti Suzuki
185. Sounds can alter the perceived direction of a moving visual object. *Journal of Vision*, 12 (3), (2012), 1-12.  
Teramoto Wataru, Sota Hidaka, Yoichi Sugita, Shuichi Sakamoto, Jiro Gyoba, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
186. 3D spatial sound systems compatible with human's active listening to realize rich high-level kansei information. *Interdisciplinary Information Sciences*, 18 (2), (2012), 71-82.

- Yôiti Suzuki, Takuma Okamoto, Jorge Trevino, Zhenglie Cui, Yukio Iwaya, Shuichi Sakamoto, and Makoto Otani
187. Effect of consonance between features and voice impression on the McGurk effect. *Interdisciplinary Information Sciences*, 18 (2), (2012), 83-85.
- Shuichi Sakamoto, Hiroshi Mishima, and Yôiti Suzuki
188. ベクションが頭部前後における水平方向の音像定位に及ぼす影響. *ヒューマンインタフェース学会論文誌*, 14 (2), (2012), 151-158.
- 崔正烈, 寺本渉, 坂本修一, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
189. Wide-band dereverberation method based on multichannel linear prediction using prewhitening filter. *Applied Acoustics*, (2012).
- Takuma Okamoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
190. Three-dimensional radiated sound field display system using directional loudspeakers and wave field synthesis. *Acoustical Science and Technology*, 33(1), (2012), 11-20.
- Toshiyuki Kimura, Yoko Yamakata, Michiaki Katsumoto, Takuma Okamoto, Satoshi Yairi, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
191. Effects of head movement and proprioceptive feedback in training of sound localization. *i-Perception*, 4 (4), (2013), 253-264.
- Akio Honda, Hiroshi Shibata, Souta Hidaka, Jiro Gyoba, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
192. 視聴覚コンテンツの臨場感と迫真性の規定因. *日本バーチャルリアリティ学会論文誌*, 18 (1), (2013), 93-101.
- 本多明生, 神田敬幸, 柴田寛, 浅井暢子, 寺本渉, 坂本修一, 岩谷幸雄, 行場次朗, 鈴木陽一
193. ベクション感覚と平衡感覚刺激並存下の音像定位. *日本バーチャルリアリティ学会論文誌*, 18 (1), (2013), 27-35.
- 崔正烈, 寺島英明, 坂本修一, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
194. 信号対雑音比調整による単語リスト間の単語了解度差補正—親密度別単語了解度試験用音声データセット (FW07) を用いた検証—. *日本音響学会誌*, 69 (5), (2013), 2013-224.
- 近藤公久, 坂本修一, 天野成昭, 鈴木陽一
195. Mixed-order Ambisonics encoding of cylindrical microphone array signals. *Acoustical Science and Technology*, 35 (3), (2014), 174-177.
- Jorge Trevino, Shoichi Koyama, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
196. 3D sound-space sensing method based on numerous symmetrically arranged microphones. *IEICE Trans. Fundamentals*, E97-A (9), (2014), 1893-1901.
- Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, and Yôiti Suzuki
197. Relative localization of auditory and visual events presented in peripheral visual field. *Multisensory Research*, 27 (1), (2014), 1-16.
- Ryota Miyauchi, Dae-Gee Kang, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
198. Data hiding scheme for amplitude modulation radio broadcasting systems. *Journal of Information Hiding and Multimedia Signal Processing*, 5 (3), (2014), 324-341.
- Nhut Minh Ngo, Masashi Unoki, Ryota Miyauchi, and Yôiti Suzuki
199. Dataset of head-related transfer functions measured with a circular loudspeaker array. *Acoustical Science and Technology*, 35 (3), (2014), 159-165.

- Kanji Watanabe, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki, Shouichi Takane, and Sojun Sato
200. Body vibration effects on perceived reality with multi-modal contents. *ITE Transactions on Media Technology and Applications*, 2 (1), (2014), 46-50.
- Shuichi Sakamoto, Gen Hasegawa, Akio Honda, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki, and Jiro Gyoba
201. A multi-zone approach to sound field reproduction based on spherical harmonic analysis. *Acoustical Science and Technology*, 36 (5), (2015), 441-444.
- Taku Shimizu, Jorge Trevino, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
202. Sense of Presence and Verisimilitude of Audio-Visual Contents: Effects of Sounds and Playback Speeds on Sports Video. *Interdisciplinary Information Sciences*, 21 (2), (2015), 143-149.
- Akio Honda, Takayuki Kanda, Hiroshi Shibata, Shuichi Sakamoto, Yukio Iwaya, Jiro Gyoba, and Yôiti Suzuki
203. 多感覚情報の同期ずれが体験中の高次感性知覚に与える影響. *日本バーチャルリアリティ学会論文誌*, 20 (3), (2015), 199-208.
- 柳生寛幸, 崔 正烈, 坂本修一, 大谷 智子, 鈴木陽一, 行場 次朗
204. A Hybrid Approach for Reverberation Simulation. *IEICE Trans. Fundamentals*, E98-A (10), (2015), 2101-2108.
- Risheng Xia, Junfeng Li, Andrea Primavera, Stefania Cecchi, Yôiti SUZUKI, and Yonghong Yan
205. Sound-space recording and binaural presentation system based on a 252-channel microphone array. *Acoustical Science and Technology*, 36 (6), (2015), 516-526.
- Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, Takuma Okamoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
206. A Spatial Extrapolation Method to Derive High-Order Ambisonics Data from Stereo Sources. *Journal of Information Hiding and Multimedia Signal Processing*, 6 (6), (2015), 1100-1116.
- Jorge Trevino, Yôiti Suzuki, Takuma Okamoto, Yukio Iwaya, and Junfeng Li
207. Enhancing Stereo Signals with High-Order Ambisonics Spatial Information. *IEICE Trans. Inf. & Syst.*, E99.D (1), (2016), 41-49.
- Jorge Trevino, Shuichi Sakamoto, Junfeng Li, and Yôiti Suzuki
208. Detection of Sound Image Movement During Horizontal Head Rotation. *i-perception*, 7 (5), (2016), 1-10.
- Akio Honda, Kagesho Ooba, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
209. Influence of visual depth and vibration on the high-level perception of reality in 3D contents. *Journal of Information Hiding and Multimedia Signal Processing*, 8 (6), (2017), 1382-1391.
- Zhenglie Cui, Shuichi Sakamoto, Jiro Gyoba, and Yôiti Suzuki
210. Spatial accuracy of binaural synthesis from rigid spherical microphone array recordings. *Acoustical Science and Technology*, 38 (1), (2017), 23-30.
- Cesar Salvador, Shuichi Sakamoto, Jorge Trevino and Yôiti Suzuki
211. Enhancement of spatial sound recordings by adding virtual microphones to spherical microphone arrays. *Journal of Information Hiding and Multimedia Signal Processing*, 8 (6), (2017), 1392-1404.
- Cesar Salvador, Shuichi Sakamoto, Jorge Trevino, and Yôiti Suzuki
212. Effect of word familiarity on word intelligibility of four continuous words under long-path echo conditions. *Applied Acoustics*, 124, (2017), 30-37.
- Zhenglie Cui, Shuichi Sakamoto, Masayuki Morimoto, Yôiti Suzuki, and Hayato Sato

213. Design theory for binaural synthesis: combining microphone array recordings and head-related transfer function datasets. *Acoustical Science and Technology*, 38 (2), (2017), 51-62.  
Cesar Salvador, Shuichi Sakamoto, Jorge Trevino, and Yôiti Suzuki
214. Distance-varying filters to synthesize head-related transfer functions in the horizontal plane from circular boundary values. *Acoustical Science and Technology*, 38 (1), (2017), 1-13.  
Cesar Salvador, Shuichi Sakamoto, Jorge Trevino, and Yôiti Suzuki
215. Effects of listener's whole-body rotation and sound duration on horizontal sound localization. *Acoustical Science and Technology*, 39 (4), (2018), 305-307.  
Akio Honda, Sayaka Tsunokake, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
216. Boundary matching filters for spherical microphone and loudspeaker arrays. *IEEE Transactions on Audio, Speech and Language Processing*, 26 (3), (2018), 461-474.  
Cesar Salvador, Shuichi Sakamoto, Jorge Trevino, and Yôiti Suzuki
217. Effects of inter-word pauses on speech intelligibility under long-path echo conditions. *Applied Acoustics*, 140, (2018), 263-274.  
Shuichi Sakamoto, Tomori, Miyashita, Zhenglie Cui, Masayuki Morimoto, Yôiti Suzuki, and Hayato Sato
218. Sensitivity measurement of a laboratory standard microphone by measuring the diaphragm vibration. *Applied Acoustics*, 143 (1), (2018), 38-47.  
Jae-GapSuh, Wan-Ho Cho, Hack-Yoon Kim, Zhenglie Cui, and Yôiti Suzuki
219. 多感覚コンテンツの音情報から生成した床振動の高次感性促進効果. *情報処理学会論文誌*, 59 (11), (2018), 1986-1994.  
崔正烈, 柳生寛幸, 坂本修一, 鈴木陽一, 行場次朗
220. Modeling head-related transfer functions with spherical wavelets. *Applied Acoustics*, 146 (1), (2019), 81-88.  
Shichao Hu, Cesar Salvador, Jorge Trevino, Shuichi Sakamoto and Yôiti Suzuki

● **Book Chapter**

1. Loudness of repeated impulsive noise. *Contributions to Psychological Acoustics - Results of the fifth Oldenburg Symposium on psychological Acoustics, Bibliotheks und Informationssystem der Universitaet Oldenburg*, ISBN3-8142-0400-X, (1991), 253-266.  
Y. Suzuki, Y. Ogura, and T. Sone
2. Frequency Characteristics of Loudness Perception: Principles and applications. *Contributions to Psychological Acoustics - Results of the sixth Oldenburg Symposium*, ISBN 3-8142-0460-3, (1993), 193-221.  
Yôiti Suzuki and Toshio Sone
3. Timbre of steady harmonic complex tones. *7th Oldenburg Symposium*, (1996).  
Yôiti Suzuki, Kenji Ozawa, and Toshio Sone
4. Phase effects on masked thresholds of pure tones at frequencies 1.5 or 2.5 times as high as the frequency of a pure-tone masker in monaural tone-on-tone masking sound quality of steady harmonic complex tones. *Bibliotheks- und Informationssystem der Universitaet Oldenburg*, ISBN 3-8142-0572-3, (1997), 439-446.

- Kenji Ozawa, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
5. Factors for perceiving sound environments and the effects of visual and verbal information on these factors. Contributions to Psychological Acoustics - Results of the eighth Oldenburg Symposium on psychological Acoustics, Bibliotheks- und Informationssystem der Universitaet Oldenburg, ISBN 3-8142-0697-5, (2000), 209-232.  
Yôiti Suzuki, Koji Abe, Kenji Ozawa, and Toshio Sone
  6. Transfer Effects on Auditory Skills from Playing Virtual Three-dimensional Auditory Display Games. New Research on Acoustics, (2008), 141-157.  
Akio Honda, Hiroshi Shibata, Souta Hidaka, Yukio Iwaya, Jiro Gyoba, and Yôiti Suzuki
  7. Sound quality of steady harmonic complex tones. Contributions to Psychological Acoustics - Results of the seventh Oldenburg Symposium on psychological Acoustics, Bibliotheks- und Informationssystem der Universitaet Oldenburg, ISBN 3-8142-0572-3, (2007), 417-438.  
Yôiti Suzuki, Kenji Ozawa, and Toshio Sone
  8. Development of virtual auditory display software responsive to head movement and a consideration on spatialized ambient sound to improve realism of perceived sound space. Principles and applications on spatial hearing, (2010).  
Yukio Iwaya, Makoto Otani, and Yôiti Suzuki
  9. Spatial distribution of low-frequency HRTF spectral notch and its effect on sound localization. Principles and applications on spatial hearing, (2010).  
Makoto Otani, Yukio Iwaya, Tetsu Magariyachi, and Yôiti Suzuki
  10. Effects of microphone arrangements on the accuracy of a spherical microphone array (SENZI) in acquiring high-definition 3D sound space information. Principles and applications on spatial hearing, (2010).  
Jun'ichi Kodama, Shuichi Sakamoto, S. Hongo, Takuma Okamoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
  11. Toward an editable sound-space system using high-resolution sound properties Principles and applications on spatial hearing, (2010).  
Takuma Okamoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
  12. Implementation of real-time room auralization using a surrounding 157 loudspeaker array Principles and applications on spatial hearing, (2010).  
Takuma Okamoto, Brian F.G. Katz, Markus Noisternig, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
  13. Audiovisual synchrony perception of simplified speech sounds heard as speech and non-speech. Acoustical Science and Technology, 32 (3), (2011), 125-128.  
Kaori Asakawa, Akihiro Tanaka, Shuichi Sakamoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki

● 紀要論文

1. 3以上の数のべき乗個の数列の高速フーリエ変換のプログラムとその評価  
応用情報学研究年報, 6 (1980), 101-109.  
鈴木陽一, 曾根敏夫
2. 衝撃音と定常騒音からなる複合騒音のラウドネス  
東北大学電通談話会記録, 52 (1984), 101-112.

- 鈴木陽一, 熊谷正純, 稲場義明, 曾根敏夫
3. 小型ヘッドホンのびりつき異常音の測定と分析  
東北大学電通談話会記録, 54 (1986), 33-42.  
関禎徳, 鈴木陽一, 曾根敏夫
  4. Inclusion of Debugging information into MUFOM format object modules  
The Annals of Applied Information Sciences, 13 (1987), 1-14.  
Edwin W. Koh, Yôiti Suzuki, Toshio Sone, and Hiroshi Fukutomi
  5. Localization and critical rotational speed of sound image  
Memories of the Tohoku Institute of Technology, 15 (1995), 151-158.  
Toshio Harima, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
  6. 正中面に置かれた2音源による合成音像定位  
東北工業大学紀要, 16 (1996), 209-214.  
Toshio Harima, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
  7. Localization of virtual sound image generated by two sources located on the median plane. Memories of the Tohoku Institute of Technology, 17, (1997), 175-179.  
T. Harima, S. Takane, Y. Suzuki, and T. Sone
  8. 感音系難聴者における広帯域音のラウドネス知覚. 豊田研究報告, 50, (1997), 73-80.  
鈴木陽一, 小澤賢司, 曾根敏夫
  9. Sound Image Localization of Two Coherent Sources in Median Plane.  
Annals of Informatics Laboratory, Tohoku Institute of Tech., Vol.11 No.1 May 1998, 61-64.  
Toshio Harima, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
  10. Interaction effects between interaural time difference and interaural intensity difference on the localization of sound (in Japanese with English abstract),  
Memoirs of the Tohoku Institute of Technology, 20 (2000), 225-231  
Toshio Harima, Yôiti Suzuki and Toshio Sone
  11. New lists for word intelligibility test with the controlled word familiarities and phonetic balance (in Japanese with English abstract), The record of electrical and communication engineering conversazione, Tohoku University, 69, 2, (2000) 21-34,  
Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, Shigeaki Amano, and Tadahisa Kondo
  12. Influences of Time Difference and/or Level Difference for Synthetic Sound Image. Memoirs of the Tohoku Institute of Technology, Ser. I: Science and Engineering, 22, (2002), 135-144.  
Toshio Harima, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
  13. マルチモーダル情報処理を指向した音響情報処理技術の動向. 東北大学電通談話記録, 77 (2), (2009), 19-26.  
鈴木陽一, 岩谷幸雄, 坂本修一, 宮内良太, 矢入聡

### III. 総説・解説

1. 悪条件の伝達関数の逆特性推定のための新しい方法. 電子通信学会論文誌, J69-A, (1986), 914-917.  
川浦純一, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 相馬次郎
2. デジタル信号処理を用いた音響系の模擬法について. 日本音響学会誌, 42, (1986), 774-779.



- 川浦淳一, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 相馬次郎
3. 展望 聴覚. 日本音響学会誌, 42, (1986), 255-256.  
曾根敏夫, 鈴木陽一
  4. ラウドネス. 日本音響学会誌, 44, (1988), 768-774.  
曾根敏夫, 鈴木陽一
  5. 音響系の伝達関数の模擬をめぐって (その1). 日本音響学会誌, 44, (1988), 936-942.  
鈴木陽一, 浅野太, 曾根敏夫
  6. Loudness and Perception of Sound. J. Acoust. Soc. Korea, 8, (1989), 7-22.  
Toshio Sone, and Yôiti Suzuki
  7. 音響系の伝達関数の模擬をめぐって (その2). 日本音響学会誌, 45, (1989), 44-50.  
鈴木陽一, 浅野太, 曾根敏夫
  8. 等ラウドネスレベル曲線の見直しについて. 日本音響学会誌, 46, (1990), 420-426.  
鈴木陽一, 曾根敏夫, 竹島久志, 熊谷正純, 三浦甫
  9. デジタル信号処理による補聴器の開発. 病態生理, 10, (1991), 636-642.  
大山健二, 高坂知節, 鈴木陽一, 曾根敏夫
  10. デジタル補聴器のための信号処理とエレクトロニクス. BME, 7, (1993), 37-45.  
鈴木陽一, 曾根敏夫
  11. 振動場に応じた測定法の選択による1次元振動インテンシティ計測. 騒音制御工学会騒音制御, 17 (3), (1993), 11-14.  
鈴木陽一, 岩谷幸雄, 曾根敏夫
  12. ラウドネス補償型デジタル補聴器 CLAUDHA. JOHNS, 11 (9), (1995), 1294-1300.  
鈴木陽一, 高橋辰, 曾根敏夫, 高坂知節
  13. 高齢者のための新しい補聴器 (クレイダ型完全デジタル補聴器) の開発. 耳鼻咽喉科展望, 39, (1996), 237-245.  
高坂知節, 川瀬哲明, 高橋辰, 日高浩史, 曾根敏夫, 鈴木陽一
  14. 音響に関する国際規格の現状. 日本音響学会誌, 54, (1998), 241-244.  
子安勝, 橘秀樹, 鈴木陽一, 鈴木英男, 白橋良宏
  15. ISO TC/43, ISO/TC43/SC1 及び ISO/TC43/SC2 プラハ会議報告. 騒音制御工学会誌, 23, (1998), 283-286.  
子安勝, 橘秀樹, 鈴木陽一, 吉村純一, 山田一郎, 鈴木英男, 桑野園子, 坂本守正, 金井俊一郎
  16. 最小可聴値と等ラウドネス曲線をめぐる最近の話題. 日本音響学会誌, 58, (2002), 130-137.  
鈴木陽一, 竹島久志
  17. 人の等ラウドネス曲線の測定と国際規格化. 電気学会誌, 124, (2004), 715-718.  
鈴木陽一, 竹島久志
  18. 音空間知覚と聴覚ディスプレイ. 電子情報通信学会誌, 89 (12), (2006), 1091-1095.  
岩谷幸雄, 鈴木陽一
  19. 視覚障害者のための3次元聴覚情報の提示. バイオメカニズム学会誌, 31 (2), (2007), 95-100.  
大内誠, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
  20. 頭部運動感応型ソフトウェア聴覚ディスプレイの開発 ~ DSP を用いない高臨場感音空間合成システム ~. 日本工業出版画像ラボ, 18 (2), (2007), 35-39.  
矢入聡, 岩谷幸雄, 鈴木陽一

21. 頭部運動感応型ソフトウェア聴覚ディスプレイの開発 ~ DSP を用いない高臨場感音空間合成システム ~ . 日本工業出版画像ラボ, 18 (2), (2007), 35-39.  
矢入聡, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
22. 聴覚ディスプレイ. 映像情報メディア学会誌, 61 (10), (2007), 22-25.  
矢入聡, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
23. 聴力保護のための調査研究委員会の活動報告. 日本音響学会誌, 63 (4), (2007), 211-214.  
瀧波弘章, 鈴木陽一
24. 音響技術における心理的な量に関する標準. 日本音響学会誌, 64 (2), (2008), 93-97.  
倉片憲治, 佐藤洋, 鈴木陽一
25. マルチモーダル感覚情報の時空間統合をめぐって. 基礎心理学研究, 28 (1), (2009), 121-122.  
Mark E. McCourt, Kenzo Sakurai, Bernhard E. Riecke, Philip M. Grove, and Yôiti Suzuki
26. 超臨場感音響システム実現への課題と動向. 電気学会誌, 129 (8), (2009), 538-541.  
鈴木陽一, 安藤彰男, 尾本章, 西村竜一, 勝本道哲
27. マルチモーダル情報処理の時代と音響技術. パナソニック技報, 54 (4), (2009), 37-42.  
鈴木陽一
28. 球面調和解析による音場表現. 日本音響学会誌, 67 (11), (2011), 544-549.  
岩谷幸雄, 岡本拓磨, トレビーニョ ホルヘ, 鈴木陽一
29. 音環境感性実験室. 日本音響学会誌, 72 (9), (2016), 556-567.  
坂本修一, 鈴木陽一
30. マイクロホンアレイと頭部伝達関数に基づくバイノーラル信号収音再生法の設計理論. 日本音響学会誌, 73 (3), (2017), 189-196.  
サルバドル セザル, 坂本修一, トレビーニョ ホルヘ, 鈴木陽一
31. TC 43 (音響) 本体の規格審議の動向について. 日本音響学会誌, 74 (4), (2018), 22-28.  
倉片憲治, 舘野誠, 鶴木祐史, 君塚郁夫, 桑野園子, 鈴木陽一, 藤坂洋一
32. 音響に関する ISO 規格作成の枠組み. 日本音響学会誌, 74 (1), (2018) 18-21.  
鈴木陽一
33. 高臨場空間音響技術の最新動向と将来展望. 電子情報通信学会論文誌, 101 (8), (2018) 786-792.  
鈴木陽一, トレビーニョ ホルヘ, 坂本修一

#### IV. 会議・学会発表

##### ● 国際会議議事録

1. Comparison among sound power levels of passenger cars with various types of tires. Proc. INTER-NOISE 83, (1983), 205-208.  
Yôiti Suzuki, Fumitaka Saito, Masazumi Kumagai, and Toshio Sone
2. On the loudness of train noise from ordinary railway. Proc. INTER-NOISE 83, (1983), 839-842.  
Masazumi Kumagai, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
3. Optimum frequency response characteristics for music reproduction in the presence of noise. 11<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA 1983), (1983), 449-452.  
Yôiti Suzuki Toshio Sone, and Jiro Soma
4. Influence of Ambient noise on localization of tone burst. Proc. 11<sup>th</sup> International Congress on

- Acoustics (ICA 1983), 3, (1983), 171-173.
- Takanori Yokoyama, Yôiti Suzuki, Toshio Sone, and Jiro Soma
5. On masking and TSS caused by bone-conducted ultrasound. Proc. 11<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA 1983), (1983), 75-78.  
Shunichi Kono, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
  6. On the sound power levels of noise from motor vehicles with various types of tires including studded ones. Proc. 2<sup>nd</sup> Japan-Korea Symp. on acoustics, (1983), 115-122.  
Yôiti Suzuki, Fumitaka Saito, Masazumi Kumagai, and Toshio Sone
  7. Loudness of impact sounds: Results of Round Robin Tests in Japan. Proc. INTER-NOISE 84, (1984), 827-832.  
Yôiti Suzuki, Masazumi Kumagai, Toshiya Takahashi, and Toshio Sone
  8. Prediction of urban noise using Hayasi's Quantification Scaling. Proc. INTER-NOISE 84, (1984), 623-626.  
Futoshi Saito, Yôiti Suzuki, Shunichi Kono, and Toshio Sone
  9. Experimental considerations on the 'tone correction' for environmental noise evaluation. Proc. 2<sup>th</sup> Western Pacific Regional Acoustics Conference (WESTPRAC II), (1985), 11-16.  
T. Sone, Y. Suzuki, H. Sato, and S. Kono
  10. Some considerations on the loudness of impact sounds. Proc. 2<sup>th</sup> Western Pacific Regional Acoustics Conference (WESTPRAC II), (1985), 381-386.  
Shunichi Kono, Masazumi Kumagai, Yoiti Suzuki, and Toshio Sone
  11. A study on the loudness of impact sounds. Proc. China-Japan Joint Symp. on Acoustics, (1985), 50-53.  
M. Kumagai, Y. Suzuki, and T. Sone
  12. An experimental consideration on the tone correction (or adjustment) for environmental noise evaluation. Proc. INTER-NOISE 86, (1986), 849-854.  
Y. Suzuki, S. Kono, T. Sone, and H. Sato
  13. Influence of an interfering noise on the localization of a band noise source. 12<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA 1986), (1986), 10.  
Yôiti Suzuki, Toshio Sone
  14. An experimental consideration on the evaluation of environmental noise accompanying tonal components. Japanese/Swedish symposium on noise effects, (1987).  
Y. Suzuki, S. Kono, and T. Sone
  15. Reexamination of equal-loudness contours for pure tones and threshold of hearing. Proc. INTER-NOISE 87, (1987), 1001-1004.  
M. Kumagai, Y. Suzuki, S. Sawai, S. Kono, T. Sone, H. Miura, and H. Kado
  16. A consideration on the evaluation of environmental noise accompanying tonal components. Proc. INTER-NOISE 87, (1987), 1017-1020.  
Y. Suzuki, S. Kono, and T. Sone
  17. A new index usable in establishing the number of averages used for transfer function estimation. Proc. INTER-NOISE 87, (1987), 1511-1514.  
T. Ono, J. Kawaura, and Y. Suzuki
  18. Loudness of repeated impulsive noise. 5<sup>th</sup> Oldenburg Symp. on Psychoacoustics, (1989).

- Y. Suzuki, Y. Ogura and T.Sone.
19. Loudness evaluation of impulsive noise. Proc. INTER-NOISE 89, (1989), 821-826.  
T. Sone, Y. Ogura, and Y. Suzuki
  34. A 'masked frequency spectrum' of a complex sound and its timbre. 13<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA 1989), (1989), 415-418.  
T. Sone, K. Ozawa, and Y. Suzuki
  35. Role of spectral cues in median plane localization of sound. 13<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA 1989), (1989), 443-446.  
Y. Suzuki, F. Asano, and T. Sone
  20. Evaluation of steady noise from a multi-dimensional point of view. Proc. Japanese/Swedish symposium on noise effects, (1990).  
Hisashi Takeshima, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
  21. New data on equal-loudness level contours for pure tones and threshold of hearing in a free field. Proc. INTERNOISE 90, (1990), 1155-1158.  
Toshio Sone, Yôiti Suzuki, Hisashi Takeshima, Masazumi Kumagai, Takeshi Fujimori, Hisashi Kado, and Hajime Miura
  22. A digital hearing aid that compensates loudness for sensorineural impaired listeners. Proc. ICASSP 91, (1991), 3625-3628.  
Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, Toshio Sone, Seiji Kakehata, Mitsuaki Satake, Kenji Ohyama, Toshimitsu, Kobayashi, and Tomonori Takasaka
  23. Perception of two-tone signals. Proc. 4<sup>th</sup> Western Pacific Regional Acoustics Conference (WESTPRAC IV), (1991), 248-255.  
Kenji Ozawa, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
  24. Further consideration on the threshold of hearing and the equal-loudness level contours for pure tone in a free field. Proc. INTER-NOISE 91, (1991), 61-64.  
Toshio Sone, Yôiti Suzuki, Hisashi Takeshima, Masazumi Kumagai, Takeshi Fujimori, and Hajime Miura
  25. A digital hearing aid system that compensates for lack of loudness. Proc. International Symposium on Speech and Hearing Sciences, (1991), 122-133.  
Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, Toshio Sone, Seiji Kakehata, Mitsuaki Satake, Kenji Ohyama Toshimitsu, Kobayashi, and Tomonori Takasaka
  26. Measurement of one-dimensional vibration intensity carried by bending vibration in abeam. Korea-Japan Joint symposium on acoustics, (1991), 454-459.  
C.B. Lee, Y. Iwaya, Y. Suzuki, and T. Sone
  27. Design and evaluation of a digital hearing aid system with narrow band loudness compensation-CLAIDHA. Proc. XXI International Congress of Audiology, (1992), 79.  
Yôiti Suzuki, Futoshi Asano, Toshio Sone, Seiji Kakehata, Kenji Ohyama, and Tomonori Takasaka
  28. Distance perception in sound localization and its control by simulation of Head-related transfer functions. Proc. 14<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA 1992), 4,(1992).(2 page manuscript)  
Toshio Sone, Yôiti Suzuki, Shouichi, Takane, and Kazunori Suzuki
  29. A new speech transmission technique with compensation for recruitment of narrow band loudness in

- sensorineural hearing impairments. Proc. Int. Workshop on Intelligent Signal Processing and Communication Systems, (1993), 292-296.
- Yôiti Suzuki, Futoshi Asano, Toshio Sone, and Tomonori Takasaka
30. Application of the concept of partially masked loudness to sound reproduction in a noisy environment and in hearing impaired listeners. Proc. Noise 93, (1993), 267-274.
- Toshio Sone and Yôiti Suzuki
31. Subjective and objective transformation level between free-field and diffuse-field in equal-loudness level contours. Proc. INTER-NOISE 94, (1994), 1077-1080.
- Hisashi Takeshima, Yôiti Suzuki, Masazumi Kumagai, Toshio Sone, and Takeshi Fujimori
32. Measurement error of vibration intensity flow in a beam terminated by elastic impedance. Proc. INTER-NOISE 94, (1994), 1715-1718.
- Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
33. A study on the estimation of impulse responses in an enclosure by using boundary element method. Proc. 5<sup>th</sup> Western Pacific Regional Acoustics Conference (WESTPRAC V), (1994), 595-600.
- Shouichi Takane, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
34. Measurement of long impulse response by using a time-stretched pulse. Proc. 5<sup>th</sup> Western Pacific Regional Acoustics Conference (WESTPRAC V), (1994), 867-872.
- Hack-yoon Kim, Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
35. Hearing aid howling suppression by adaptive feedback cancellation with frequency compression. Proc. 5<sup>th</sup> Western Pacific Regional Acoustics Conference (WESTPRAC V), (1994), 919-924.
- Harry ADL Josen, Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
36. Perceptual distinctive features for evaluating the performance of hearing aids. Proc. 2<sup>nd</sup> Int. Symp. on Speech and Hearing Sci., (1994), 147-165.
- Yôiti Suzuki, Shoei Sato, Futoshi Asano, and Toshio Sone
37. Signal processing techniques applicable to hearing aids. Proc. ICSLP 94, (1994), 2099-2102.
- Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
38. Speech enhancement based on the wavelet transform using decaying sinusoidal wavelet. Proc. 15<sup>th</sup> Int. Cong. Acoust., (3), (1995), 125-128.
- Ryouichi Nishimura, Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
39. Appropriate grouping of phoneme based on distinctive features for evaluating the performance of hearing aids. Proc. 15<sup>th</sup> Int. Cong. Acoust., 1 (III), (1995), 165-168.
- Yôiti Suzuki, Shoei Sato, Futoshi Asano, and Toshio Sone
40. Estimation of acoustic impulse responses in modelled rooms with boundary element method. Proc. 15<sup>th</sup> Int. Cong. Acoust., (I), (1995), 177-180.
- Shouichi Takane, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
41. A portable digital hearing aid with narrow-band loudness compensation and the fitting system for it. Proc. 15<sup>th</sup> Int. Cong. Acoust., 1 (IV), (1995), 265-268.
- Toshio Sone, Yôiti Suzuki, Futoshi Asano, Tomonori Takasaka, Masanao Ohashi, and Kiminori Yamaguchi
42. Reference equivalent threshold sound pressure levels for new earphones. Proc. 15<sup>th</sup> Int. Cong. Acoust., (1995), 297-300.
- Hisashi Takeshima, Tomoki Hiraoka, Yôiti Suzuki, Masazumi Kumagai, and Toshio Sone

43. Some experimental results for full-scale revision of equal-loudness level contours. Proc. 15th Int. Cong. Acoust., (1995), 301-304.  
Hisashi Takeshima, Yôiti Suzuki, Hideyuki Fujii, Masazumi Kumagai, Toshio Sone, and Takeshi Fujimori
44. Sound pressure control at multiple points for sound reproduction. Proc. 15th Int. Cong. Acoust., (1995), 349-352.  
Kazutaka Abe, Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
45. A "masked frequency spectrum" of a broad-band noise and its timbre. Proc. 15th Int. Cong. Acoust., (3), (1995), 465-468.  
Kenji Ozawa, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
46. A consideration on the timbre of complex tones only consisting of higher harmonics. Proc. 15 th Int. Cong. Acoust., (3), (1995), 509-512.  
Hisashi Uematsu, Kenji Ozawa, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
47. Optimization of control source location in active control system. Proc. Active 95, (1995), 489-498.  
Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, Toshio Sone, and David C. Swanson
48. Influence of near-field component for one-dimensional vibration intensity measurement. Proc. INTER-NOISE 95, (1995), 661-664.  
Y. Iwaya, R. Nishimura, Y. Suzuki, T. Sone, and M. Sakata
49. A portable hearing aid based on narrow-band-loudness compensation and its clinical evaluation. Proc. Issues in Advanced Hearing Aid Research, (1996), 15.  
Yôiti Suzuki, Futoshi Asano, Toshio Sone, Tomonori Takasaka, Masanao Ohashi, and Kiminori Yamaguchi
50. Array signal processing applicable to hearing aids.. Proc. Acoust. Soc. Am. and Acoust. Soc. Jpn. 3rd Joint Meeting, (1996), 261-266.  
Futoshi Asano, S. Hayamizu, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
51. Detection thresholds of random amplitude modulation. Proc. Acoust. Soc. Am. and Acoust. Soc. Jpn 3<sup>rd</sup> Joint meeting, (1996), 629-634.  
Edward Ozimek, Jacek Konieczny, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
52. Active control of vibration intensity flow in a beam in far-field. Proc. Acoust. Soc. Am. and Acoust. Soc. Jpn. 3<sup>rd</sup> Joint Meeting, (1996), 555-558.  
Yukio Iwaya, Masato Sakata, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
53. Estimation of the new equal-loudness level contours.. Proc. Acoust. Soc. Am and. Acoust. Soc. Jpn. 3<sup>rd</sup> Joint Meeting, (1996), 685-690.  
Hisashi Takeshima, Yôiti Suzuki, Masazumi Kumagai, and Toshio Sone
54. A consideration on timbre of boad-band harmonic complex tones with different fundamental frequencies and spectral envelopes. Proc. Acoust. Soc. Am. and. acoust. Soc. Jpn. 3<sup>rd</sup> Joint Meeting, (1996), 701-706.  
Kenji Ozawa, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
55. A study on effective selection of control points in sound field veproduction based on Kirchhoff's integral equation. Proc. Acoust. Soc. Am. and Acoust. Soc. Jpn. 3<sup>rd</sup> Joint Meeting, (1996), 1311-1316.  
Shoichi Takane, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone

56. Selection of control points for sound field reproduction base on kirchhoff's integral equation. 3<sup>rd</sup> International Conference on Motion and Vibration Control, 1-6, (1996), 302-307.  
Shouichi Takane, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
57. An auditory display based on virtual sphere model. Proc. ASVA, (1997), 379-384.  
Shouichi Takane, Tohru Miyajima, Yusuke Yamada, Daisuke Arai, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
58. An experimental study on the use of audio virtual reality technology for the education of childrens with special needs. Proc. ASVA, (1997), 397-402.  
Tetsuya Munekata, Yôiti Suzuki, Takashi Uozumi, and Shimpei Takuma
59. Source location of active sound equalization system. Proc. ASVA, (1997), 695-702.  
Futoshi Asano, Hironobu Takahashi, Shouichi Takane, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
60. Multidimensional perceptual space for the sound quality of sinusoidal wave amplitude-modulated by triangular waves. Proc. 6<sup>th</sup> Western Pacific Regional Acoustics Conference (WESTPRAC VI), (1997), 112-117.  
K. Kumagai, K. Ozawa, Y. Suzuki, and T. Sone
61. New method for a stereophonic microphone array using multiple constraints. Proc. 6<sup>th</sup> Western Pacific Regional Acoustics Conference (WESTPRAC VI), (1997), 247-252.  
Y. Suzuki, S. Tsukui, R. Nishimura, F. Asano, and T. Sone
62. Localization of sound sourced based on the linear independence analysis in active control of sound field. Proc. 6<sup>th</sup> Western Pacific Regional Acoustics Conference (WESTPRAC VI), (1997), 700-705.  
H. Takahashi, F. Asano, S. Takane, Y. Suzuki, and T. Sone
63. Active control of vibration intensity in a beam terminated by elastic impedance. Proc. 1997 International Symposium on Active Control of Sound and Vibration (ACTIVE 97), (1997), 127-134.  
Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki, Masato Sakata, and Toshio Sone
64. A hearing aid based on narrow-band-loudness compensation principle and its clinical evaluation. Proc. International Conference on New Frontiers in Biomechanical Engineering, (1997), 171-174.  
Y. Suzuki, H. Hidaka, T. Kawase, S. Takahashi, K. Ozawa, M. Ohashi, T. Sone, and T. Takasaka
65. Perceptual cues in three dimensional sound localization. Proc. 1997 Annual Meeting of the Acoustical Society of Korea, (1997), 9-22.  
Y. Suzuki, and T. Sone
66. A method of optimizing source configuration in active control systems using Gram-Schmidt orthogonalization. Proc. ICASSP 98, 6, (1998), 3549-3552.  
Futoshi Asano, Yôiti Suzuki, and David C. Swanson
67. Equal-loudness relations at high frequencies: Implication for loudness growth. Proc. 16<sup>th</sup> ICA, 1, (1998), 569-570.  
R. Hellman, H. Takeshima, Y. Suzuki, K. Ozawa, T. Yamaguchi, Y. Sasaki, and T. Sone
68. On the effects of a subharmonic masker on the loudness of a pure tone. Proc. 16<sup>th</sup> ICA, 1, (1998), 573-574.  
K. Ozawa, W. Hellman, Y. Inoue, Y. Suzuki, and T. Sone
69. Speech enhancement by a Kalman filter based on wavelet transformation coefficients. Proc. 16<sup>th</sup> ICA, 1, (1998), 625-626.  
R. Nishimura, F. Asano, Y. Suzuki, and T. Sone

70. On the difference between absolute and relative auditory distance perception. Proc. 16<sup>th</sup> ICA, 2, (1998), 857-858.  
H.-Y. Kim, Y. Suzuki, S. Takane, K. Ozawa, and T. Sone
71. Factor analysis of the perception of the evaluation of environmental sounds using adjectives describing sound quality, emotional state, and information carried by sounds. Proc. 16<sup>th</sup> ICA, 2, (1998), 901-902.  
T. Sone, K. Abe, K. Ozawa, and Y. Suzuki
72. Apparent effects of the use of digital hearing aid "CLAIDHA" on several hearing functions of impaired listeners. Proc. 16<sup>th</sup> ICA, 4, (1998), 2625-2626.  
H. Hidaka, N. Sasaki, T. Kawase, T. Takasaka, Y. Suzuki, K. Ozawa, and T. Sone
73. A modeling of distance perception based on auditory parallax model. Proc. 16<sup>th</sup> ICA, 4, (1998), 2903-2904.  
Y. Suzuki, H.-Y. Kim, S. Takane, and T. Sone
74. Auditory search asymmetry. Proc. 20th Annual International Conference – IEEE/EMBS, (1998), 3126-3128.  
Y. Sugita, Y. Suzuki, and T. Sone
75. Digital hearing aids compensating for the loudness recruitment: principles and outcomes. Hearing International Kyoto Symposium'99, 18, (1999).  
Y. Suzuki, T. Kawase, T. Takasaka, and T. Sone
76. The effect of assumption of local reaction to numerical analysis of sound field in an enclosure. Proc. INTER-NOISE 99, (1999), 1853-1858.  
S. Takane, T. Sakurai, Y. Suzuki, and T. Sone
77. The effect of visual information on the impression of environmental sounds. Proc. INTER-NOISE 99, (1999), 1177-1182.  
K. Abe, K. Ozawa, Y. Suzuki, and T. Sone
78. Comparison between the effects of additional verbal and visual information on the perception of environmental sounds. Proc. INTER-NOISE 2000, 2285-2291, (2000).  
Y. Suzuki, K. Abe, K. Ozawa, and T. Sone
79. A comparison between the use of loudness level weighting and loudness measures to assess environmental noise from combined sources. Proc. INTER-NOISE 2000, 3562-3566, (2000).  
P. Schomer, Y. Suzuki, and F. Saito
80. Equal-loudness contours at high frequencies. Proc. INTER-NOISE 2000, 3653-3658, (2000).  
R. Hellman, H. Takeshima, Y. Suzuki, K. Ozawa, and T. Sone
81. Determination of new equal-loudness level contours based on recent data with a loudness function model. Proc. INTER-NOISE 2000, 3664-3669, (2000).  
Y. Suzuki, H. Takeshima, K. Ozawa, M. Kumagai, and T. Sone
82. Analysis of accuracy of sound reproduction by using binaural auditory display based on the virtual sphere model. Proc. 7<sup>th</sup> Western Pacific Regional Acoustics Conference (WESTPRAC VII), 301-304, (2000).  
S. Takane, Y. Suzuki, T. Miyajima, and T. Sone
83. Computational simulation of the phase dependence of masked threshold at frequency 1.5 times as high as the frequency of a pure-tone masker. Proc. 7<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference



- (WESPAC VII), 251-254, (2000).
- K. Ozawa, I. Sugai, Y. Matsushita, and Y. Suzuki
84. Empirical study on multidimensional model of pitch perception. Proc. 7<sup>th</sup> Western Pacific Regional Acoustics Conference (WESTPRAC VII), 631-636, (2000).
- K. Ozawa, I. Sugai, Y. Matsushita, and Y. Suzuki
85. Effect of verbal and visual information on the perception of environmental sounds. Proc. 7<sup>th</sup> Western Pacific Regional Acoustics Conference (WESTPRAC VII), 879-882, (2000).
- K. Abe, K. Ozawa, Y. Suzuki, and T. Sone
86. Modeling of distance perception by using the extended auditory parallax model. Proc. 7<sup>th</sup> Western Pacific Regional Acoustics Conference (WESTPRAC VII), 309-312, (2000).
- H. Y. Kim, Y. Suzuki, S. Takane, and T. Sone
87. A new active control method for the suppression of the sound reflection from a wall based on the state feedback control. Proc. 7<sup>th</sup> Western Pacific Regional Acoustics Conference (WESTPRAC VII), 545-548, (2000).
- H. Takahashi, Y. Suzuki, S. Takane, and F. Asano
88. Relationship between psychological and physical evaluation of speech transmission quality in auditorium. Proc. 7<sup>th</sup> Western Pacific Regional Acoustics Conference (WESTPRAC VII), 851-854, (2000).
- H. Sato, Y. Suzuki, and H. Yoshino
89. A new interpolation method of HRTF based on common pole-zero model. Proc. 17<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA 2001), (2001), (2 page mamnuscript).
- Kanji Watanabe, Shoichi Takane, and Yôiti Suzuki
90. Observation of neural activities in pure-tone search and band-noise search. Proc. 17<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA 2001), (2001), (2 page mamnuscript).
- Noriaki Asemi, Yoichi Sugita, and Yôiti Suzuki
91. Detection threshold of a periodic phase shift in music sound. Proc. 17<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA 2001), (2001), (2 page mamnuscript).
- R. Nishimura, M. Suzuki, Y. Suzuki
92. Speech intelligibility test by new Japanese word-lists. Proc. 17<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA 2001), (2001), (2 page mamnuscript).
- S. Sakamoto, Y. Suzuki, S. Amano, T. Kondo
93. Speech intelligibility by use of new word-lists with controlled word familiarities and a phonetic balance. Proc. 8<sup>th</sup> International Congress on Sound and Vibration, (2001), 2461-2466.
- S. Sakamoto, Y. Suzuki, S. Amano, T. Kondo
94. Auditory search asymmetry between normal and time-inversed speech. Proc. 8<sup>th</sup> International Congress on Sound and Vibration, (2001), 2447-2452.
- Y. Suzuki, N. Asemi and Y. Sugita
95. Equal-loudness contours at high frequencies reconsidered. Proc. 141<sup>th</sup> Meeting of the Acoustical Society of America, 109, (2001), 2349.
- Hellman, P. R., Takeshima, H., Suzuki, Y., Ozawa, K., and Sone, T
96. Determination of equal-loudness relations at high frequencies. Proc. Annual Meeting of the International Society for Psychophysics, (2001), 225-230.

- Hellman. P. R., Takeshima, H., Suzuki, Y., Ozawa, K., and Sone, T.
97. A hysteresis in a rhythm perception of tone-bursts by a gradual change in the incremental level. Proc. Forum Acusticum 2002, HEA-02-004-IP (2002),(6 page manuscript) .  
Y. Suzuki, R. Nishimura, T. Kurosawa
  98. Time-spread Echo Method for Digital Audio Watermarking using PN sequences. Proc. IEEE International Conference on Acoustics, Speech, and Signal Processing (ICASSP), II, (2002), 2001-2004.  
Byeong-Seob Ko, Ryouichi Nishimura, and Yôiti Suzuki
  99. A new adaptive binaural microphone array system using a weighted least squares algorithm. ICASSP2002, II, (2002), 1925-1928.  
R. Nishimura, Y. Suzuki, F. Asano
  100. Perceptivity of noise induced by watermarking of music signals. Proc. ICSV2002, (2002), 624-629.  
R. Nishimura, M.Suzuki, and Y. Suzuki
  101. A psychophysical investigation of self-motion perception produced by acoustic information. Proc. China-Japan Joint Conference on Acoustics (JCA2002), (2002), 243-246.  
Shuichi Sakamoto, Yusuke Osada, Yôiti Suzuki, Jiro Gyoba
  102. ADVISE: A new method for high definition virtual acoustic display. Proc. 8<sup>th</sup> International Conference on Auditory Display, (2002), 213-218.  
Shouichi Takane, Yôiti Suzuki, Tohru Miyajima, Toshio Sone
  103. A preliminary development of high definition virtual acoustic display based on ADVISE. Proc. 8<sup>th</sup> International Conference on Auditory Display, (2002), 227-232.  
Yôiti Suzuki, Shouichi Takane, Shusuke Takahashi, Tohru Miyajima and Toshio Sone
  104. Blind detection of watermarks embedded by periodical phase shifts. China-Japan Joint Conference on Acoustics 2002, (2002), 219-222.  
Kotaro Sonoda, Ryouichi Nishimura, Yôiti Suzuki
  105. A new method for active suppression of the reflected sound waves based on the Kirchhoff-Helmholts Integral equation with state feedback control. Proc. 2002 International Symposium on Active Control of Sound and Vibration (ACTIVE 2002), (2002), 167-178.  
H. Takahashi, Y. Suzuki, S. Takane, F. Asano
  106. Perceptivity of noise induced by watermarking of music signal (invited lecture). Proc. 9<sup>th</sup> International Congress on Sound and Vibration, (2002), 624-629.  
R. Nishimura, M. Suzuki, Y. Suzuki
  107. The effects of the head movement on the sound localization with real and virtual sound sources. Proc. China-Japan Joint Conference on Acoustics (JCA 2002), (2002), 223-256.  
Y. Iwaya, Y. Suzuki and D. Kimura
  108. Sound power levels of musical instruments and the estimation of the influence on players' hearing ability. Proc. INTER-NOISE 2003, (2003), 2259-2266.  
F. Saito, M. Kasuya, T. Harima, and Y. Suzuki
  109. Sound power levels and running patterns of accelerating cars based on a new measuring method. Proc. INTER-NOISE 2003, (2003), 118-123.  
H. Suzuki, H. Watanabe, F. Saito, and Y. Suzuki, and S. kono
  110. Actual sound pressure levels at pop-music concerts historical review from the 1920s to the present.

- Proc. INTER-NOISE 2003, (2003), 2267-2274.  
 Y. Yahata and Y. Suzuki
111. The effect of visibility of sound sources on the loudness evaluation of an environmental sound. Proc. INTER-NOISE 2003, (2003), 2843-2848.  
 K. Abe, K. Ozawa, Y. Suzuki, and T. Sone
112. A game for visually impaired children with a 3-D virtual auditory display. Proc. International Community for Auditory Display (ICAD2003), (2003), 309.  
 Makoto Ohuchi, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki, and Tetsuya Munekata
113. A new audio watermarking technique using Trellis Coded Multiple Phase Shift Keying. Proc. AES Tokyo Convention 2003, (2003), 174-177.  
 A. Takahashi, R. Nishimura, Y. Suzuki
114. Prototyping of Sound VR Game for Children with Visual Impairment. Proc. the 23rd Asia-Pacific International Seminar on Special Education, (2003), 39.  
 Makoto Ohuchi, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki, and Tetsuya Munekata
115. Effects of listener's head movement on the accuracy of sound localization in virtual environment. Proc. ICA 2004, (2004), 997-1000.  
 Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki, and Shouichi Takane
116. Measured sound levels of Japanese young people while listening to loudspeakers. Proc. INTER-NOISE 2004, (2004), 1-7.  
 H. Laitinen, T. Yoshikawa, F. Saito and Y. Suzuki
117. Application of Polyester Nonwoven Fabric as Absorbing Material for Wedges in an Anechoic Room. Proc. INTER-NOISE 2004, (2004), 1-6.  
 Y. Suzuki, F. Saito, K. Nakai, and H. Shimada
118. A compensation method for word-familiarity difference with SNR control in intelligibility test. Proc. INTER-SPEECH2004 (ICSLP), TuB901o.2, (2004),333-336.  
 S. Sakamoto, N. Iwaoka, Y. Suzuki, S. Amano, and T. Kondo
119. Audio data compression with time-frequency spreading. Proc. 17<sup>th</sup> International Congress on Acoustics, (2004), 1009-1010.  
 Ryouichi Nishimura, and Yôiti Suzuki
120. Implementation of CoFIP for music signals. Proc. 17<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA2004), (2004), 1011-1014.  
 K. Sonoda, R. Nishimura, Y. Suzuki and Terumasa Aoki
121. Effect and sound localization with dichotic-listening digital hearing aids. Proc. 17<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA2004), (2004), 1519-1522.  
 A. Murase, F. Nakajima, S. Sakamoto, Y. Suzuki and T. Kawase
122. Effect of auditory information on self-motion perception. Proc. 17<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA2004), (2004), 2051-2054.  
 Y. Suzuki, S. Sakamoto, and J. Gyoba
123. Compensation between word familiarity and SNR in word intelligibility test. Proc. 17<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA2004), (2004), 229-232.  
 S. Sakamoto, N. Iwaoka, Y. Suzuki, S. Amano, and T. Kondo
124. A new rendering method of moving sound with the Doppler effect. Proc. International Conference on

- Auditory Display (ICAD2005), (2005), 253-255.  
 Yukio Iwaya, Masashi Toyoda, and Yôiti Suzuki
125. Training Effect of a Virtual Auditory Game on Sound Localization Ability of the Visually Impaired. Proc. International Conference on Auditory Display (ICAD2005), (2005).  
 Makoto Ohuchi, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki, and Tetsuya Munekata
126. Multi-modal perception relating to hearing and its applications for acoustic communication systems. Proc. GSIS International Symposium on Information Sciences of Era: Brain, Mind, and Society, (2005), 39-64.  
 Yôiti Suzuki, Shuichi Sakamoto, and Yukio Iwaya
127. Audio Secret Sharing for 1-bit Audio. Proc. International Workshop on Intelligent Information Hiding and Multimedia Signal Processing (KES International 2005), (2005)1152-1158.  
 Ryouichi Nishimura, Norihiro Fujita, and Yôiti Suzuki
128. Audio CoFIP (COntent Fingerprinting) Robust against Collusion Attack. Proc. International Workshop on Intelligent Information Hiding and Multimedia Signal Processing (KES International 2005), (2005), 1083-1089.  
 Kotaro Sonoda, Ryouichi Nishimura and Yôiti Suzuki
129. Detection Threshold and Difference Limen of System Latency of Virtual Auditory Display. Proc. International Symposium on Bio- and Nano-Electronics in Sendai, (2006), 115-116.  
 Satoshi Yairi, Yukio Iwaya and Yôiti Suzuki
130. An Audio Watermarking Method Based on Association Analysis. Proc. 2<sup>nd</sup> International Symposium on Bio- and Nano-Electronics in Sendai, (2006), (2 page manuscript).  
 Naoya Sasaki, Ryouichi Nishimura, and Yôiti Suzuki
131. Individuality of distinctive notches in HRTFs. Proc. 2<sup>nd</sup> International Symposium on Bio- and Nano-Electronics in Sendai, (2006), (2 page manuscript).  
 Saho Sekimoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
132. Application of Dichotic Listening to Hearing Aids. Proc. 2<sup>nd</sup> International Symposium on Bio- and Nano-Electronics in Sendai, (2006), (2 page manuscript).  
 Ai Sasaki, Atsunobu Murase, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, Tetsuaki Kawase and, Toshimitsu Kobayashi
133. Audio watermark enhanced by LDPC coding for air transmission (Invited Lecture). Proc. 2006 IEEE International Conference on Intelligent Information Hiding and Multimedia Signal Processing, (2006), 23-26.  
 Yôiti Suzuki, Ryouichi Nishimura, and Hao Tao
134. Improved hybrid microphone array post-filtering by integrating a robust speech absence probability estimator for speech enhancement. Proc. 9<sup>th</sup> International Conference on Spoken Language Processing (INTER-SPEECH 2006 - ICSLP), (2006), 2130-2133.  
 Junfeng Li, Masato Akagi, and Yôiti Suzuki
135. Multi-channel noise reduction in noisy environments. Proc. 5<sup>th</sup> International Symposium on Chinese Spoken Language Processing (ISCSLP 2006), (2006), 258-269.  
 Junfeng Li, Masato Akagi, and Yôiti Suzuki
136. Audio watermarking based on association analysis. Proc. 8<sup>th</sup> International Conference on Signal Processing, (2006), 2530-2533.

- Naoya Sasaki, Ryouichi Nishimura, and Yôiti Suzuki
137. Secure voice communication with LD-CELP coding (Invited Lecture). Proc. 9<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC IX), (2006), 371-378.
- Ryouichi Nishimura, Norihiro Fujita, and Yôiti Suzuki
138. New 20-word lists for word intelligibility test in Japanese. Proc. 9<sup>th</sup> International Conference on Spoken Language Processing (INTER-SPEECH 2006 - ICSLP), (2006), 2158-2161.
- Shuichi Sakamoto, Tadahiro Yoshikawa, Shigeaki Amano, Yôiti Suzuki, and Tadahisa Kondo
139. Development of FW03: Japanese word lists for spoken-word intelligibility test (Invited Lecture). Proc. 9<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC IX), (2006), (6 page manuscript).
- Shigeaki Amano, Shuichi Sakamoto, Tadahisa Kondo and Yôiti Suzuki
140. Speech reception threshold of words in FW03 (Invited Lecture). Proc. 9<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC IX), (2006), (6 page manuscript).
- Shuichi Sakamoto, Tadahiro Yoshikawa, Shigeaki Amano, Yôiti Suzuki, and Tadahisa Kondo
141. 3D Virtual Auditory Display for an Immersive Sound Field Reproduction System. Proc. 9<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC IX), (2006), (8 page manuscript).
- Dae-Gee Kang, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
142. Prediction of ILD based on Listener's Anthropometry. Proc. 9<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC IX), (2006), (8 page manuscript).
- Kanji Watanabe, Kenji Aso, Kenji Ozawa, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
143. Cognitive-map formation of blind persons in a virtual sound environment. Proc. 12<sup>th</sup> International Conference on Auditory Display (ICAD 2006), (2006), 1-7.
- Makoto Ohuchi, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki, and Tetsuya Munekata
144. Investigation of system latency detection threshold of virtual auditory display. Proc. 12<sup>th</sup> International Conference on Auditory Display (ICAD 2006), (2006), 217-222.
- Satoshi Yairi, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
145. Resolution of the constraint condition for sound fields in binaural equalization. Proc. 9<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC IX), (2006), 578-585.
- Kenji Ozawa, Kensuke Tsutsui, and Yôiti Suzuki
146. Noise reduction based on generalized subtractive beamformer for speech enhancement. Proc. 8<sup>th</sup> International Conference on Signal Processing, (2006), 283-290.
- Junfeng Li, Masato Akagi, and Yôiti Suzuki
147. Individualization method of HRTFs using a tournament-style listening test of virtual sound images (Invited Lecture). Proc. 9<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC IX), (2006), (6 page manuscript).
- Yukio Iwaya, Kouji Saito and Yôiti Suzuki
148. Reconstruction of a high-sampling audio signal from low-sampling audio signals using super-resolution. Proc. 9<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC IX), (2006), 369-375.
- Ryouichi Nishimura, and Yôiti Suzuki
149. Multi-dimensional sound-quality analysis for compression-coded music sound (Invited Lecture). Proc. 9<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC IX), (2006), 407-414.
- Yôiti Suzuki, Tsukasa Suenaga, and Ryouichi Nishimura
150. Time-spread echo audio watermarking combined with fuzzy theory. Proc. 9<sup>th</sup> Western Pacific

Acoustics Conference (WESPAC IX), (2006), 389-396.

Wang Huiqin, Ryouichi Nishimura, Yôiti Suzuki, and Mao Lee

151. Transfer effects of playing a virtual three-dimensional auditory game: influences on the performance in a communication task and a collision avoidance task. Proc. 12<sup>th</sup> Meeting of the International Conference on Auditory Display (ICAD2006), (2006), 227-233.

Akio Honda, Hiroshi Shibata, Jiro Gyoba, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki

152. Effect of speed difference between time-expanded speech and talker's moving image on word or sentence intelligibility. Proc. International Conference on Auditory-Visual Speech Processing (AVSP2007), (2007), 238-242.

Shuichi Sakamoto, Akihiro Tanaka, Komi Tsumura, and Yôiti Suzuki

153. Effects of intermodal timing difference and speed difference on intelligibility of auditory-visual speech in younger and older adults. Proc. International Conference on Auditory-Visual Speech Processing (AVSP2007), (2007), 258-263.

Akihiro Tanaka, Shuichi Sakamoto, Komi Tsumura, and Yôiti Suzuki

154. Effects of auditory and visual information on the perceived direction of self-motion. Proc. 19<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA2007), (2007), (6 page manuscript).

Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, and Jiro Gyoba

155. Auditory-visual speech perception and intermodal asynchrony. Proc. 19<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA2007), (2007), (6 page manuscript).

Akihiro Tanaka, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, and Komi Tsumura

156. Slow sinusoidal phase rotation as a carrier for embedding watermarks in audio signals. Proc. 19<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA2007), (2007), (6 page manuscript).

Y. Suzuki, R. Nishimura, and A. Sek

157. Reducing Host Interference from Spread Spectrum Watermarking. Proc. 3<sup>rd</sup> International Conference on Intelligent Information Hiding and Multimedia signal Processing (IIH-MSP2007), 27(2), (2007), 558-661.

Saeed Sedghi, and Yôiti Suzuki

158. Performance of the individualization of head-related transfer functions with tournament-style listening test. Proc. 2<sup>nd</sup> 3D Virtual Sound Workshop, (2007), 89-98.

Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki

159. Effect of adjusting interaural time difference in head related transfer functions based on listener's anthropometry. Proc. 2<sup>nd</sup> 3D Virtual Sound Workshop, (2007), 77-88.

Yôiti Suzuki, and Yukio Iwaya

160. Effects of intermodal timing difference and speed difference on intelligibility of auditory-visual speech in younger and older adults. International Conference on Auditory-Visual Speech Processing 2007 (AVSP 2007), (2007), (6 page manuscript) .

Akihiro Tanaka, Shuichi Sakamoto, Komi Tsumura, and Yôiti Suzuki

161. Effect of speed difference between time-expanded speech and talker's moving image on word or sentence intelligibility. International Conference on Auditory-Visual Speech Processing 2007 (AVSP 2007), (2007), (5 page manuscript).

Shuichi Sakamoto, Akihiro Tanaka, Komi Tsumura, and Yôiti Suzuki

162. Individualization of Head-Related Transfer Functions in Virtual Auditory Display with

- Listening-Test -Effect of Virtual Orbit-. Proc. Japan-China Joint Conference of Acoustics 2007 (JCA 2007), (2007).
- Yukio Iwaya, Satoshi Yairi, and Yôiti Suzuki
163. Effect of Large System Latency of Virtual Auditory Display on Listener's Head Movement in Sound Localization Task. Proc. International Conference on Auditory Display (ICAD 2007), (2007), 24-31.
- Yôiti Suzuki, Satoshi Yairi, and Yukio Iwaya
164. Binaural speech enhancement for hearing aids. Proc. Japan-China Joint Conference on Acoustics (JCA 2007), SS-1-5, (2007), (6 page manuscript).
- Junfeng Li, Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, and Yôiti Suzuki
165. Numerical Investigation of Effects of Head Sizes and Ear Positions on Head-related Transfer Functions. Proc. Japan-China Joint Conference of Acoustics (JCA 2007), (2007), (6 page manuscript).
- Saho Sekimoto, Ryo Ogasawara, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki, and Shoichi Takane
166. Application of Multiple Description (MD) scalar quantization to speech codec. Proc. Japan-China Joint Conference of Acoustics (JCA 2007), (2007), (6 page manuscript).
- Ho-seok Wey, Ryouichi Nishimura, Akinori Ito, Maori Kobayashi, Yôiti Suzuki
167. Noise Reduction Based on Adaptive Beta-Order Generalized Spectral Subtraction for Speech Enhancement. Proc. INTER-SPEECH 2007, (2007), 802-805.
- Junfeng Li, Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, Masato Akagi, and Yôiti Suzuki
168. A Portable Acoustic Caption Decoder Using IH Techniques for Enhancing Lives of the People Who Are Deaf or Hard-of-Hearing - System Configuration and Robustness for Airborne Sound. Proc. 3<sup>rd</sup> International Conference on Intelligent Information Hiding and Multimedia signal Processing 2007 (IIH-MSP 2007), (2007), 271-274.
- Tetsuya Munekata, Toshimitsu Yamaguchi, Hiroki Handa, Ryouichi Nishimura, and Yôiti Suzuki
169. SENZI and ASURA: New high-precision sound-space sensing systems based on symmetrically arranged numerous microphones. Proc. 2<sup>nd</sup> International Symposium on Universal Communication 2008 (ISUC 2008), (2008), 429-434.
- Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, Ryo Kadoi, and Yôiti Suzuki
170. Effect of audio-visual asynchrony between time-expanded speech and a moving image of a talker's face on detection and tolerance thresholds. Proc. International Conference on Auditory-Visual Speech Processing (AVSP 2008), (2008), 79-82.
- Shuichi Sakamoto, Akihiro Tanaka, Shun Numahata, Atsushi Imai, Tohru Takagi, and Yôiti Suzuki
171. Extension of the two-microphon noise reduction method for binaural hearing aids. Proc. International Conference on Audio, Language and Image Processing 2008, (2008), 97-101.
- Junfeng Li, Masato Akagi, and Yôiti Suzuki
172. Numerical analysis on effects of ear shapes on head-related transfer functions. Proc. 3<sup>rd</sup> International Symposium on Medical, Bio- and Nano-Electronics in Sendai, (2008), 169-170.
- Saho Sekimoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
173. Two-input two-output speech enhancement using adaptive filter and soft decision mask filter. Proc. 3<sup>rd</sup> International Symposium on Medical, Bio- and Nano-Electronics in Sendai, (2008), 171-172.

- Ai Sasaki, Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, Junfeng Li, Yôiti Suzuki
174. Effects of frequency-modulated sounds on the perceived magnitude of self-motion induced by vestibular information. Proc. 3<sup>rd</sup> International Symposium on Medical, Bio- and Nano-Electronics in Sendai, (2008), 173-174.
- Mikio Seto, Shuichi Sakamoto, Maori Kobayashi, Kenzo Sakurai, Jiro Gyoba, and Yôiti Suzuki
175. Effect of time-expanded speech on detection/tolerance thresholds of audio-visual asynchrony, 3<sup>rd</sup> International Symposium on Medical. Proc. 3<sup>rd</sup> International Symposium on Medical, Bio- and Nano-Electronics in Sendai, (2008), 175-176.
- Shun Numahata, Shuichi Sakamoto, Akihiro Tanaka, Atsushi Imai, Toru Takagi, Yôiti Suzuki
176. Individualization feature of head-related transfer functions based on subjective evaluation. Proc. International Conference on Auditory Display 2008 (ICAD 2008), (2008). (6 page manuscripts)
- S. Yairi, Y. Iwaya, and Y. Suzuki
177. Perceived self motion in virtual acoustic space facilitated by passive whole-body movement. Proc. 14<sup>th</sup> International Conference on Auditory Display, (2008). (6 page manuscripts)
- William L. Martens, Shuichi Sakamoto and Yôiti Suzuki
178. Determination of filtering parameters for dichotic-listening binaural hearing aids. Proc. Forum Acousticum 2008 (Acoustics 2008), (2008), 1153-1158.
- Yôiti Suzuki, Atsunobu Murase, Motokuni Itoh, and Shuichi Sakamoto
179. A two-input two-output speech enhancement method with binaural spatial information by using (soft decision) mask filter. Proc. Forum Acousticum 2008 (Acoustics 2008), (2008), 2263-2268.
- Satoshi Hongo, Ai Sasaki, Shuichi Sakamoto, Junfeng Li, and Yôiti Suzuki
180. A two-stage binaural speech enhancement approach for hearing aids with preserving binaural benefits in noisy environments. Proc. Forum Acousticum 2008 (Acoustics 2008), (2008), 723-727.
- Junfeng Li, Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, Masato Akagi, and Yôiti Suzuki
181. Spoken Word Intelligibility of Young and Old Adults with Familiarity-Controlled Word Lists 2007 (FW07). Proc. 19<sup>th</sup> International Congress of Psychology (ICP 2008), (2008).
- Tadahisa Kondo, Mutsuo Ijuin, Shigeaki Amano, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
182. Improved two-stage binaural speech enhancement based on accurate interference estimation for hearing aids. Proc. International Hearing Aids Research Conference 2008 (IHCON 2008), (2008).
- Junfeng Li, Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, Masato Akagi, Yôiti Suzuki
183. Suppressed visual awareness can be recovered by sounds presented in the relevant locations. Proc. 31<sup>th</sup> European Conference on Visual Perception (ECVP'08), (2008).
- M. Shibata, Y. Kawachi, S. Yairi, Y. Iwaya, J. Gyoba, Y. Suzuki
184. Two-input Two-output Speech Enhancement Based on Speech Absence Probability Calculated from Two Input Signals. Proc. INTER-NOISE2008, (2008), (6 page manuscript).
- Junfeng Li, Ai Sasaki, Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, and Yôiti Suzuki
185. The improved TS-BASE approaches with interference compensation and their evaluations for speech enhancement. Proc. 6<sup>th</sup> International Symposium on Chinese Spoken Language Processing (ISCSLP 2008), (2008), 141-144.
- Shuichi Sakamoto, Ryo Kadoi, Satoshi Hongo, Yôiti Suzuki
186. Aging effect on audio-visual speech asynchrony perception: comparison of time-expanded speech and a moving image of a talker's face. Proc. International Conference on Auditory-Visual Speech



- Processing (AVSP 2009), (2009), 9-12.  
Shuichi Sakamoto, Akihiro Tanaka, Shun Numahata, Atsushi Imai, Tohru Takagi, and Yôiti Suzuki
187. Multimodal interaction of auditory spatial cues and passive observer movement in simulated self motion. The Proc. 2009 3DTV-Conference, (2009), (4 page manuscript).  
William L. Martens, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
188. The effect of temporal variation of successive sound sequence on the experience of ambient auditory spatial variation. Proc. 10<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC X), (2009), (7 page manuscript).  
Ryota Miyauchi, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
189. Different audio-visual spatial coherence judgments in the central and peripheral visual fields. Proc. 10<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC X), (2009), (6 page manuscript).  
Dae-Gee Kang, Ryota Miyauchi, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki
190. Development of Real System in Near 3D Sound Field Reproduction System Using Directional Loudspeakers and Wave Field Synthesis. Proc. 10<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC X), (2009), (6 page manuscript).  
Toshiyuki Kimura, Yoko Yamakata, Michiaki Katsumoto, Takuma Okamoto, Satoshi Yairi, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
191. Advancement of Two-Stage Binaural Speech Enhancement (TS-BASE) for High-Quality Speech Communication. Proc. 10<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC X), (2009) , (6 page manuscript).  
Junfeng Li, Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, Masato Akagi, and Yôiti Suzuki
192. New phenomenon relating to audio-visual interaction in peripheral visual field. Proc. 10<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC X), (2009), (7 page manuscript).  
Ryota Miyauchi, Dae-Gee Kang, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
193. Acoustical Design of the Tohoku University Centennial Hall (Kawauchi Hagi Hall), Sendai, Japan. Proc. 10<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC X), (2009), (8 page manuscript).  
Yoshinari Yamada, Takayuki Hidaki, Fumitaka Saito, and Yôiti Suzuki
194. Multimodal interaction of auditory spatial cues and passive whole-body movement through virtual space. Proc. 10<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC X), (2009), (6 page manuscript).  
Shuichi Sakamoto, William L. Martens, and Yôiti Suzuki
195. Effect of low-frequency spectral notch on sound image localization. Proc. 10<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC X), (2009) , (6 page manuscript).  
Yukio Iwaya, Makoto Otani, Tetsu Magariyachi, and Yôiti Suzuki
196. A new comprehensive 3D sound-space sensing and reproduction method by a symmetrically and densely arranged microphone array. Proc. 10<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC X), (2009), (7 page manuscript).  
Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, and Yôiti Suzuki
197. Experimental evaluation of the two-stage binaural speech enhancement with wiener filter for speech enhancement and sound localization. Proc. International Symposium on Auditory and Audiological Research (ISAAR), (2009), 343-352.  
Junfeng Li, Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, Masato Akagi and Yôiti Suzuki

198. Information hiding for G.711 speech based on substitution of least significant bits and estimation of tolerable distortion. Proc. IEEE International Conference on Acoustics, Speech and Signal Processing (ICASSP 2009), (2009), 1409-1412.  
Akinori Ito, Shun'ichiro Abe, and Yôiti Suzuki
199. Multiple description coding for MP3 coded sound signal. Proc. 2009 IEEE International Conference on Network Infrastructure and Digital Content (IEEE IC-NIDC 2009), (2009), 769-773.  
Hoseok Wey, Akinori Ito, and Yôiti Suzuki
200. Hybrid auralization of concert-hall acoustics based on scale model measurement and geometric acoustics simulation. Proc. EAA symposium on Auralization, (2009).  
Makoto Otani, Yukio Iwaya, Fumitaka Saito, Yôiti Suzuki, and Yoshinari Yamada
201. Intra- and inter-modal completion of a visual motion representation. Proc. 32<sup>th</sup> European Conference on Visual Perception (ECVP'09), 132.  
Wataru Teramoto, Souta Hidaka, Jiro Gyoba, Yôiti Suzuki
202. Spatial sound Technologies toward Universal Communications. Proc. 10<sup>th</sup> Western Pacific Acoustics Conference (WESPAC X), (2009), 13-14.  
Yôiti Suzuki
203. A Band Extension of G.711 Speech with Low Computational Cost for Data Hiding Application. Proc. 5<sup>th</sup> IEEE International Conference on Intelligent Information Hiding and Multimedia Signal Processing (IIHMSP 2009), (2009), 491-494.  
Akinori Ito, Hironori Handa, Yôiti Suzuki
204. TS-BASE/WF: Two-Stage BinAural Speech Enhancement with Wiener filter Based on Equalization-Cancellation Model. Proc. 2009 IEEE Workshop on Applications of Signal Processing to Audio and Acoustics (WASPAA 2009), (2009), 133-136.  
Junfeng Li, Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, Masato Akagi, and Yôiti Suzuki
205. Effects of microphone arrangements on the accuracy of a spherical microphone array (SENZI) in acquiring high-definition 3D sound space information. Proc. International Workshop on the Principles and Applications of Spatial Hearing (IWPASH), (2009), (4 page manuscript).  
Jun'ichi Kodama, Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, Takuma Okamoto, Yukio Iwaya and Yôiti Suzuki
206. Spatial distribution of low-frequency HRTF spectral notch and its effect on sound localization. Proc. International Workshop on the Principles and Applications of Spatial Hearing (IWPASH), (2009), (4 page manuscript).  
Makoto Otani, Yukio Iwaya, Tetsu Magariyachi, and Yôiti Suzuki
207. Development of virtual auditory display as middleware with high accuracy. Proc. International Workshop on the Principles and Applications of Spatial Hearing (IWPASH), (2009), (4 page manuscript).  
Yukio Iwaya, Makoto Otani, Wataru Sato, and Yôiti Suzuki
208. Implementation of real-time room auralization using a surrounding 157 loudspeaker array. Proc. International Workshop on the Principles and Applications of Spatial Hearing (IWPASH), (2009), (4 page manuscript).  
Takuma Okamoto, Brian F.G. Katz, Markus Noisternig, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
209. Toward an editable sound-space system using high-resolution sound properties. Proc. International

Workshop on the Principles and Applications of Spatial Hearing (IWPASH), (2009), (4 page manuscript).

Takuma Okamoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki

210. Multiple Description Coding for Wideband Audio Signal Transmission. Proc. 2009 IEEE International Conference on Network Infrastructure and Digital Content (IEEE IC-NIDC 2009), (2009), 769-773.

Hoseok Wey, Akinori Ito, and Yôiti Suzuki

211. Sound localization in median plane using an avatar robot “TeleHead” with synchronization of a listener’s horizontal head rotation. Proc. 20<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA 2010), (2010), (6 page manuscript).

Yukio Iwaya, Yusuki Masuyama, Makoto Otani, and Yôiti Suzuki

212. High order Ambisonic decoding method for irregular loudspeaker arrays. Proc. 20<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA 2010), (2010) , (8 page manuscript).

Jorge Trevino, Takuma Okamoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki

213. Interdependence between temporal and ambient spatial variations of a successive sound sequence. Proc. 20<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA 2010), (2010) , (5 page manuscript).

Ryota Miyachi, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki

214. Interpolation method of head-related transfer functions in the z-plane domain using a common-pole and zero model. Proc. 20<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA 2010), (2010), (5 page manuscript).

Yukio Iwaya, Wataru Sato, Takuma Okamoto, Makoto Otani, and Yôiti Suzuki

215. Multiple description coding for an MP3 coded sound signal. Proc. 20<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA 2010), (2010) , (8 page manuscript).

Ho-Seok Wey, Akinori Ito, Takuma Okamoto, and Yôiti Suzuki

216. Imprecation of a high-definition 3D audio-visual display based on high-order ambisonics using 157-loudspeaker array combined with a 3D projection display. Proc. 2010 2<sup>nd</sup> IEEE International Conference on Network Infrastructure and Digital Content (IEEE IC-NIDC 2010), (2010) , 179-183.

Takuma Okamoto, Zhenglie Cui, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki

217. Numerical analysis of HRTF spectral characteristics based on sound pressures on a pinna surface. Proc. 20<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA 2010), (2010) , (8 page manuscript).

Makoto Otani, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki, and Kazunori Itoh

218. Comparative Performance Evaluation of Near 3D Sound Field Reproduction System with Directional Loudspeakers and Wave Field Synthesis. 2010 4<sup>th</sup> International Universal Communication Symposium (IUCS 2010), (2010), 221-228.

Toshiyuki Kimura, Yoko Yamakata, Michiaki Katsumoto, Takuma Okamoto, Satoshi Yairi, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki

219. SENZI – a 3D sound-space recording system using a spherical microphone array with 252-ch microphones. Proc. 20<sup>th</sup> International Congress on Acoustics (ICA 2010), (2010), (4 page manuscript).

Shuichi Sakamoto, Jun’ichi Kodama, Satoshi Hongo, Takuma Okamoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki

220. Considerations in characterising an almost anechoic room for interactive spatial audio reproduction.

- Proc. International Symposium on Room Acoustics, ISRA 2010, (2010), (4 page manuscript).  
 Densil Cabrera, Takuma Okamoto, Brian F.G. Katz, Markus Noisternig, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
221. Improving sound field reproduction based on higher-order ambisonics in a small room with a 157-loudspeaker array. Proc. 2<sup>nd</sup> International Symposium on Ambisonics and Spherical Acoustics (IRCAM 2010), (2010), (4 page manuscript).  
 Takuma Okamoto, Densil Cabrera, Markus Noisternig, Brian F.G. Katz, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
222. Sound-Field Lattice Gas Cellular Automaton for Real-Time Acoustic Rendering. Proc. 4<sup>th</sup> International Universal Communication Symposium (IUCS 2010), (2010), 229-232.  
 Makoto Otani, Tomoharu Takeuchi, Yukio Iwaya, Hiroshi Matsuoka, and Yôiti Suzuki
223. Three-dimensional acoustic sensing and display systems realizing high sense-of-presence. Proc. 12<sup>th</sup> Takayanagi Kenjiro Memorial Symposium, (2010), S-5-2-1-S-5-2-5.  
 Yôiti Suzuki, Yukio Iwaya, Shuichi Sakamoto, Takuma Okamoto, and Makoto Otani
224. Implementation of a high-definition 3D audio-visual display based on higher-order Ambisonics using a 157-loudspeaker array combined with a 3D projection display. Proc. 2010 2<sup>nd</sup> IEEE International Conference on Network Infrastructure and Digital Content (IEEE IC-NIDC 2010), (2010), 179-183.  
 Takuma Okamoto, Zhenglie Cui, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
225. Blind directivity estimation of a sound source in a room using a surrounding microphone array. Proc. 20<sup>th</sup> International Congress on Acoustics, (2010), (8 page manuscript).  
 Takuma Okamoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
226. Spoken word intelligibility tests under noisy conditions. Proc. INTER-NOISE2011, (2011), (8 page manuscript).  
 Tadahisa Kondo, Shuichi Sakamoto, Shigeaki Amano, and Yôiti Suzuki
227. A new method for measurement of word intelligibility under noisy and reverberant environment in a short duration. Proc. INTER-NOISE 2011, (2011), (6 page manuscript).  
 Hiroshi Sato, Shu'ichi Sakamoto, Tadahisa Kondo, Shigeaki Amano, and Yôiti Suzuki
228. Measurement and reproduction of high-definition sound space information using numerous microphones and loudspeakers. Proc. INTER-NOISE 2011, (2011), (8 page manuscript).  
 Yukio Iwaya, Takuma Okamoto, Jorge Trevino, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
229. Speech identification with time-varying visual information extracted from the lip area. Proc. 2011 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing (NCSP'11), (2011), 419-420.  
 Kaori Asakawa, Shuichi Sakamoto, Akihiro Tanaka, Toru Abe, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
230. Evaluation of a new ambisonic decoder for irregular loudspeaker. Proc. 3<sup>rd</sup> International Symposium on Ambisonics and Spherical Acoustics, (2011), (8 page manuscript).  
 Jorge Trevino, Takuma Okamoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
231. Systematic behavior of resonance mode in pinna cavity. Proc. INTER-NOISE 2011, (2011), (8 page manuscript).  
 Makoto Otani, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki, and Kazunori Itoh
232. Toward 3D spatial audio systems with high sense-of-presence (Invited Lecture). Proc. 5<sup>th</sup> International Universal Communication Symposium (IUCS), (2011), (10 page manuscript).

- Yôiti Suzuki, Takuma Okamoto, Jorge Trevino, Toshiyuki Kimura, S. Sakamoto, Zhenglie Cui, Michiaki Katsumoto, and Yukio Iwaya
233. Loudspeaker distributions suitable for crosstalk cancellers robust to changes in the listening position. Proc. 5<sup>th</sup> International Universal Communication Symposium (IUCS), (2011).  
C-S. Han, T. Okamoto, Y. Iwaya and Y. Suzuki
234. Advanced Auditory Systems for Active Listening (Invited Lecture). Proc. First International Conference on Robot, Vision and Signal Processing (RVSP 2011), (2011).  
Yôiti Suzuki, Yukio Iwaya, Shuichi Sakamoto, and Takuma Okamoto
235. Studying equal loudness level contours with Rhona Hellman. Proc. INTER-NOISE 2012, (2012), 543-552.  
Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
236. Effective rendering of ambient sounds in virtual auditory display. Proc. INTER-NOISE 2012, 6084-6090.  
Iwaya Yukio, Makoto Otani, and Yôiti Suzuki
237. Evaluation of realism of dynamic sound space using a virtual auditory display. Proc. 13<sup>th</sup> ACIS International Conference on Software Engineering, Artificial Intelligence, Networking and Parallel/Distributed Computing (SNPD 2012), (2012), 561-566.  
Yukio Iwaya, Masashi Toyoda, Makoto Otani, and Yôiti Suzuki
238. Binaural speech enhancement method by wavelet transform based on interaural level and argument differences. Proc. International Conference on Wavelet Analysis and Pattern Recognition (ICWAPR), (2012), 290-295.  
Satoshi Hongo, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
239. Data-hiding scheme for digital-audio in amplitude modulation domain. Proc. 2012 8<sup>th</sup> International Conference on Intelligent Information Hiding and Multimedia Signal Processing (IIH-MSP), (2012), 114-117.  
Nhut Minh Ngo, Masashi Unoki, Ryota Miyauchi, and Yôiti Suzuki
240. Compression of auditory space during uniformly-accelerated forward self-motion (Invited Lecture). Proc. 59<sup>th</sup> Open Seminar on Acoustics joint with Workshop on Strategic Management of Noise including Aircraft Noise, (2012).  
Shuichi Sakamoto, Wataru Teramoto, Fumimasa Furune, Yôiti Suzuki, and Jiro Gyoba
241. Sound field reproduction using multiple linear arrays based on wave field reconstruction filtering in helical wave spectrum domain. Proc. 38<sup>th</sup> IEEE International Conference on Acoustics, Speech, and Signal Processing (ICASSP 2013), (2013), 271-275.  
Shoichi Koayama, Ken'ichi Furuya, Yusuke Hiwasaki, Yoichi Haneda, and Yôiti Suzuki
242. Spatially oriented format for acoustics: A data exchange format representing head-related transfer functions. Proc. Audio Engineering Society (AES 2013), (2013), 262-272.  
Piotr Majdak, Yukio Iwaya, Thibaut Carpentier, Rozenn Nicol, Matthieu Parmentier, Agnieszka Roginska, Yôiti Suzuki, Kanji Watanabe, Hagen Wierstorf, Harald Ziegelwanger, and Markus Noisternig
243. Evaluation of different spatial windows for a multi-channel audio interpolation system. Proc. Meetings on Acoustics, (2013), (9 page manuscript).  
Jorge Trevino, Takuma Okamoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki

244. Compression of perceived auditory space during forward self-motion (Invited Lecture). Proc. 21<sup>st</sup> International Congress on Acoustics (ICA 2013), (2013), (9 page manuscript).  
Shuichi Sakamoto, Wataru Teramoto, Fumimasa Furune, Yôiti Suzuki, and Jiro Gyoba
245. Improvement of accuracy of three-dimensional sound space synthesized by real-time "SENZI", a sound space information acquisition system using spherical array with numerous microphones. Proc. 21<sup>st</sup> International Congress on Acoustics (ICA 2013), (2013), (9 page manuscript).  
Shuichi Sakamoto, Satoshi Hongo, Takuma Okamoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
246. An efficient finite-impulse-response filter model of head-related impulse response. Proc. 21<sup>st</sup> International Congress on Acoustics (ICA 2013), (2013), (7 page manuscript).  
Junfeng Li, Aijun Li, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, and Youghong Yan
247. Accuracy of head-related transfer functions synthesized with spherical microphone arrays. Proc. 21<sup>st</sup> International Congress on Acoustics (ICA 2013), (2013), (9 page manuscript).  
Cesar Salvador, Shuichi Sakamoto, Jorge Trevino, Junfeng Li, Youghong Yan, and Yôiti Suzuki
248. Auditory space perception during active and passive self-motion. Proc. 9<sup>th</sup> International Conference on Intelligent Information Hiding and Multimedia signal Processing (IIH-MSP2013), 330-333.  
Shuichi Sakamoto, Wataru Teramoto, Yôiti Suzuki, and Jiro Gyoba
249. Alert sound design considering musical-chord and frequency-sweep effects. Proc. INTER-NOISE 2013, (2013), 4565-4569.  
Yukio Iwaya, Takuya Anbe, Zhenglie Cui, and Yôiti Suzuki
250. Extrapolation of horizontal ambisonics data from mainstream stereo sources. Proc. 9<sup>th</sup> International Conference on Intelligent Information Hiding and Multimedia signal Processing (IIH-MSP 2013), 302-305.  
Jorge Trevino, Takuma Okamoto, Yukio Iwaya, Junfeng Li, and Yôiti Suzuki
251. High-order Ambisonics auditory displays for the scalable presentation of immersive 3D audio-visual contents. Proc. the 23<sup>rd</sup> International Conference on Artificial Reality and Telexistence (ICAT2013), (2013), (2 page manuscript).  
Jorge Trevino, Takuma Okamoto, Cesar Salvador, Yukio Iwaya, Zhenglie Cui, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
252. High definition 3D auditory displays and microphone arrays for the use with future 3D TV. Proc. Three Dimensional Systems and Applications (3DSA), (2013), (4 page manuscript).  
Yôiti Suzuki, Jorge Trevino, Takuma Okamoto, Zhenglie Cui, Shuichi Sakamoto, and Yukio Iwaya
253. Effects of body vibration on the perceived reality in multi-modal contents. Proc. Three Dimensional Systems and Applications (3DSA), (2013), (4 page manuscript).  
Shuichi Sakamoto, Gen Hasegawa, Akio Honda, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki, and Jiro Gyoba
254. Sound and flash localization in peripheral directions. Proc. Forum Acousticum, (2014), (7 page manuscript).  
Ryota Miyachi, Yukio Iwaya, Dae-Gee Kang, and Yôiti Suzuki
255. Representation of Individual HRTFs using weighting coefficients of SENZI (Invited Lecture). Proc. 10<sup>rd</sup> International Conference on Intelligent Information Hiding and Multimedia signal Processing (IIH-MSP2014), (2014), 606-609.  
Shuichi Sakamoto, Yoshiki Satou, Jorge Trevino, and Yôiti Suzuki

256. Auditory space perception during linearly self-motion. Proc. Forum Acusticum, (2014), (6 page manuscript).  
Shuichi Sakamoto, Zhenglie Cui, Yôiti Suzuki, Wataru Teramoto, and Jiro Gyoba
257. Contribution of the detailed parts around a talker's mouth for speech intelligibility. Proc. 21<sup>st</sup> International Congress on Sound and Vibration (ICSV 21), (2014), 2553-2559.  
Shuichi Sakamoto, Gen Hasegawa, Tomoko Ohtani, Yôiti Suzuki, Toru Abe, and Testuaki Kawase
258. On the performance and robustness of crosstalk cancelation with multiple loudspeakers. Proc. 10<sup>th</sup> International Conference on Intelligent Information Hiding and Multimedia Signal Processing (IIH-MSP 2014), (2014), 618-621.  
Xiang Yang, Risheng Xia, Zhonghua Fu, Junfeng Li, Yanghong Yan, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
259. HRTFs representation based on weighting coefficients calculated by SENZI system. Proc. 2014 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing (NCSP'14), (2014), 29-32.  
Yoshiki Satou, Shuichi Sakamoto and Yôiti Suzuki
260. Listener's subjective front in horizontal sound localization: Effects of head movements and face directions. Proc. 2014 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing (NCSP'15), (2014), 33-36.  
Yoji Masumi, Yôiti Suzuki, Akio Honda and Shuichi Sakamoto
261. Prediction Method for Compression of Spherical Microphone Array Signals Using Geometric Information. Proc. 11<sup>th</sup> International Conference on Intelligent Information Hiding and Multimedia Signal Processing (IIH-MSP 2015), (2015), 376-379.  
Shuichi Sakamoto, Arif Wicaksono, Jorge Trevino, Cesar Salvador, and Yôiti Suzuki
262. A Compact Representation of the Head-Related Transfer Function Inspired by the Wavelet Transform on the Sphere. Proc. 11<sup>th</sup> International Conference on Intelligent Information Hiding and Multimedia Signal Processing (IIH-MSP 2015), (2015), 372-375.  
Jorge Trevino, Shichao Hu, Cesar Salvador, Shuichi Sakamoto, Junfeng Li, and Yôiti Suzuki
263. Multi-zone sound field reproduction algorithm based on spatial harmonics analysis. Proc. 2015 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing (NCSP'15), (2015), 70-73.  
Taku Shimizu, Jorge Trevino, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
221. Effects of vibration information on the senses of presence and verisimilitude of audio-visual scenes. Proc. INTER-NOISE 2016, (2016), 1777-1782.  
Shuichi Sakamoto, Zhenglie Cui, Tomoko Ohtani, Yôiti Suzuki, and Jiro Gyoba
264. Construction of two anechoic rooms with a new experimental floor structure. Proc. INTER-NOISE 2016, (2016), 6272-6280.  
Shuichi Sakamoto, Fumitaka Saito, Yôiti Suzuki, Makoto Kakinuma, Hiroshi Ohyama, Hiroyoshi Matsuo, and Kazuhiro Takeshima
265. Temporal characteristics of perceived reality of multimodal contents. Proc. 12<sup>th</sup> International Conference on Intelligent Information Hiding and Multimedia Signal Processing (IIH-MSP 2016), (2016), 199-206.

- Shuichi Sakamoto, Hiroyuki Yagyu, Zhenglie Cui, Tomoko Ohtani, Yôiti Suzuki, and Jiro Gyoba
266. Sound source separation in complex environments using an array-of-arrays microphone system. Proc. 22<sup>nd</sup> International Congress on Acoustics (ICA2016), (2016), (10 page manuscript).  
Jorge Trevino, Cesar Salvador, Virgilijus Braciulis, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, Kyoji Yoshikawa, Takashi Yamasaki, and Kenichi Kidokoro
267. Multi-zone sound field reproduction method including distance effects. Proc. The 22<sup>nd</sup> International Congress on Acoustics (ICA2016), (2016), (10 page manuscript).  
Taku Shimizu, Jorge Trevino, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, and Tomohiko Ise
268. Evaluation of robustness of 3D sound space acquisition system, SENZI, using spherical microphone array. Proc. 2016 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing (NCSP'16), (2016), 233-236.  
Yuuto Wada, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
269. Compression of spherical microphone array recordings using eigenvalue decomposition. Proc. 2016 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing (NCSP'16), (2016), 241-244.  
Hironori Sato, Arif Wicaksono, Shuichi Sakamoto, Cesar Salvador, Jorge Trevino, and Yôiti Suzuki
270. Numerical evaluation of binaural synthesis from rigid spherical microphone array recordings. Proc. 2016 AES International Conference on Headphone Technology, 3-1, (2016), (8 page manuscript).  
Cesar Salvador, Shuichi Sakamoto, Jorge Trevino, and Yôiti Suzuki
271. Presenting spatial sound to moving listeners using high-order Ambisonics. Proc. 2016 AES International Conference on Sound Field Control, (2016), (8 page manuscript).  
Jorge Trevino, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
272. A local representation of the head-related transfer function. J. Acoust. Soc. Am. 140(3), (2016), (7 page manuscript).  
Shichao Hu, Jorge Trevino, Cesar Salvador, Shuichi Sakamoto, Junfeng Li, and Yôiti Suzuki
273. Extended sound field recording using position information of directional sound sources. Proc. 2017 IEEE Workshop on Applications of Signal Processing to Audio and Acoustics (WASPAA2017), (2017), 185-189.  
Keigo Wakayama, Jorge Trevino, Hideaki Takada, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
274. A wind noise detection algorithm for monitoring infrasound using smartphone as a sensor device. Proc. 13<sup>th</sup> International Conference on Intelligent Information Hiding and Multimedia Signal Processing (IIH-MSP 2017), (2017), (8 page manuscript).  
Ryouichi Nishimura, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
275. Multi-zone reproduction of a shared sound field including distance effects. Proc. 24<sup>th</sup> International Congress on Sound and Vibration (ICSV24), (2017), (7 page manuscript).  
Taku Shimizu, Jorge Trevino, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, and Tomohiko Ise
276. Binaural rendering of spherical microphone array recordings by directly synthesizing the HRTF spatial pattern. Proc. 24<sup>th</sup> International Congress on Sound and Vibration, (2017), (8 page manuscript).  
Shuichi Sakamoto, Cesar Salvador, Jorge Trevino and Yôiti Suzuki



277. Effects of auditory spatial attention on word intelligibility accuracy. Proc. 2017 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing (NCSP'17), (2017), 485-488.  
Ryo Teraoka, Shuichi Sakamoto, Zhenglie Cui, and Yôiti Suzuki
278. A Compression Method for Spherical Microphone Array Recordings using Principal Component Analysis. Proc. 2017 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing (NCSP'17), (2017), 433-436.  
Hironori Sato, Arif Wicaksono, Shuichi Sakamoto, Cesar Salvador, Jorge Trevino, Yôiti Suzuki, and Akinori Ito
279. Detection threshold of auditory apparent motion during linearly self-motion. Proc. RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing (NCSP'18), (2018), 17-20.  
Miharu Noda, Shuichi Sakamoto, Zhenglie Cui, Wataru Teramoto, Yôiti Suzuki, and Jiro Gyoba
280. Influence of auditory selective attention on word intelligibility. Proc. Acoustics 2018, (2018), (4 page manuscript).  
Ryo Teraoka, Shuichi Sakamoto, Zhenglie Cui, Yôiti Suzuki, and Satoshi Shioiri
281. Dataset of Near-Distance Head-Related Transfer Functions Calculated Using the Boundary element Method. Proc. 2018 AES International Conference on Spatial Reproduction, P2-1, (2018), (9 page manuscript).  
Cesar Salvador, Shuichi Sakamoto, Jorge Trevino, and Yôiti Suzuki
282. Extending the Listening Region of High-Order Ambisonics through Series Acceleration. Proc. 2018 AES International Conference on Spatial Reproduction, 8-1, (2018), (7 page manuscript).  
Jorge Trevino, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
283. Enhancing binaural reconstruction from rigid circular microphone array recordings by using virtual microphones. Proc. 2018 AES International Conference on Audio for Virtual and Augmented Reality, 6-1, (2018), (9 page manuscript).  
Cesar Salvador, Shuichi Sakamoto, Jorge Trevino, and Yôiti Suzuki
284. Effect of Full-Body Vibration Generated from Audio Signal on Perceived Reality. Proc. INTER-NOISE 2018, (2018), 2702-2709.  
Zhenglie Cui, Hiroyuki Yagyu, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, and Jiro Gyoba
285. Performance evaluation of an infrasound observation device using MEMS atmospheric pressure sensor. Proc. RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing (NCSP'18), (2018), 411-414.  
Yuji Saito, Ryouichi Nishimura, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
286. Source and direction of arrival estimation based on maximum likelihood combined with GMM and eigenanalysis. Proc. IEEE International Conference on Acoustics, Speech and Signal Processing (ICASSP 2018), (2018), 411-414.  
Ryouichi Nishimura, and Yôiti Suzuki
- 国際会議口頭発表（国際会議議事録があるものを除く）
    1. A consideration on loudness discrimination of tonal signals with changing intensity. Joint meeting of the Acoustical Society of America and Acoustical Society of Japan, (1978), Honolulu, USA.  
Yôiti Suzuki, Toshio Sone, and Tadamoto Nimura

2. Clinical evaluation of a portable digital hearing aid with narrow-band loudness compensation. Hearing Aid Research and Development, (1995).  
Takahashi S, Hirano K, Kawase T, Hidaka H, Suzuki Y and Takasaka T
3. A portable digital hearing aid with narrow-band loudness compensation. Hearing Aid Research and Development, (1995).  
Yôiti Suzuki, Futoshi Asano, Toshio Sone, Tomonori Takasaka, Masanao Ohashi, and Kiminori Yamaguchi
4. The clinical evaluation of a portable digital hearing aid with narrow-band loudness compensation (second report). 20<sup>th</sup> Association for Research in Otolaryngology (ARO), (1997), 29.  
H. Hidaka, T. Kawase, S. Takahashi, K. Hirano, N. Ueda, N. Sasaki, T. Takasaka, K. Ozawa, Y. Suzuki, and T. Sone
5. Apparent effects of compression with short time constant on the perception of intensity discrimination. 21<sup>st</sup> American for Research in Otolaryngology (ARO), (1998), 103.  
Hiroshi Hidaka, Tetsuaki Kawase, Yôiti Suzuki, Kenji Ozawa, and Toshio Sone
6. Apparent change of masking pattern by the use of digital hearing aid "CLAIDHA". 21<sup>st</sup> American for Research in Otolaryngology (ARO), (1998), 103.  
Naoko Sasaki, Tetsuaki Kawase, Hiroshi Hidaka, Kenji Ozawa, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
7. The effects of contralateral noise on intensity difference limen and psychophysical tuning curve in background masker. 21<sup>st</sup> American for Research in Otolaryngology (ARO), (1998).  
Tetsuaki Kawase, Hiroshi Hidaka, Tomonori Takasaka, Kenji Ozawa, Yôiti Suzuki, and Toshio Sone
8. Digital hearing aids compensating for the loudness recruitment: principles and outcomes. Hearing International Kyoto Symposium'99, 18, (1999).  
Yôiti Suzuki, Tetsuaki Kawase, Tomonori Takasaka, Toshio Sone
9. Auditory search asymmetry with pure tone, narrow-band noise, amplitude-modulated tone, and frequency-modulated tone. 139<sup>th</sup> Meeting of the Acoustical Society of America, 107, (2000), Atlanta, USA.  
Noriaki Asemi, Yoichi Sugita, and Yôiti Suzuki
10. Equal-loudness contours at high frequencies reconsidered. 141<sup>st</sup> Meeting of the Acoustical Society of America, 109, (2001), Chicago, USA.  
Rhona Hellman, Hisashi Takeshima, Yôiti Suzuki, Kenji Ozawa, and Toshio Sone
11. Self-motion perception and auditory information. Workshop on Spatial and Binaural Hearing. (2003).  
Yôiti Suzuki, Shuichi Sakamoto, and Jiro Gyoba
12. Phase rotation thresholds and its use in watermarking technique. 145<sup>th</sup> Meeting of the Acoustical Society of America, (113), (2003), Nashville, USA.  
Aleksander Sek, Yôiti Suzuki, Ryouichi Nishimura, and Kotaro Sonoda
13. Effects of speech-rate and pause duration on sentence intelligibility in younger and older normal-hearing listeners. 149<sup>th</sup> Meeting of the Acoustical Society of America, 5aSC4, (2005), Minneapolis, USA.  
Akihiro Tanaka, Shuichi Sakamoto and Yôiti Suzuki
14. Adjustment of interaural time difference in head related transfer functions based on listeners' anthropometry and its effect on sound localization. 149<sup>th</sup> Meeting of the Acoustical Society of

- America, (2005), Minneapolis, USA.
- Yôiti Suzuki, Kanji Watanabe, Yukio Iwaya, Jiro Gyoba, and Shoichi Takane
15. Effect of two-band dichotic listening for hearing impaired listeners. 149<sup>th</sup> Meeting of the Acoustical Society of America, 5aSC25, (2005), Minneapolis, USA.  
Shuichi Sakamoto, Atsunobu Murase, Yôiti Suzuki, Tetsuaki Kawase, and Toshimitsu Kobayashi
  16. Roles of frequency information and spatial information in auditory search. 150<sup>th</sup> Meeting of the Acoustical Society of America, 2aPP13, (2005), Providence, USA.  
Yôiti Suzuki, Masato Saze, Yoichi Sugita, Noriaki Asemi and Shuichi Sakamoto
  17. The young person's recreational sound environment and hearing protection (Invited Lecture). 4<sup>th</sup> Joint meeting of the Acoustical Society of America and Acoustical Society of Japan, (2006), Honolulu, USA.  
Yôiti Suzuki, and Fumitaka Saito
  18. Individuality of elevation-angle-sensitive notches in head-related transfer functions. 4<sup>th</sup> Joint meeting of the Acoustical Society of America and Acoustical Society of Japan, (2006), Honolulu, USA.  
Saho Sekimoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
  19. Influence of familiarity on spoken word recognition (Invited Lecture). 4<sup>th</sup> Joint meeting of the Acoustical Society of America and Acoustical Society of Japan, (2006), Honolulu, USA.  
Shigeaki Amano, Tadahisa Kondo, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
  20. Word and mora intelligibility in "Familiarity-controlled word-lists 2003 (FW03)". 4<sup>th</sup> Joint meeting of the Acoustical Society of America and Acoustical Society of Japan, (2006), Honolulu, USA.  
Tadahisa Kondo, Shigeaki Amano, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
  21. Effects of dichotic listening for hearing impaired people. 4<sup>th</sup> Joint meeting of the Acoustical Society of America and Acoustical Society of Japan, (2006), Honolulu, USA.  
Ai Sasaki, Atsunobu Murase, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, Tetsuaki Kawase, and Toshimitsu Kobayashi
  22. A new speech enhancement method for two-input two-output hearing aids (Invited Lecture). 4<sup>th</sup> Joint meeting of the Acoustical Society of America and Acoustical Society of Japan, (2006), Honolulu, USA.  
Junfeng Li, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, and Satoshi Hongo
  23. Development of word lists for word intelligibility tests in Japanese (Invited Lecture). 4<sup>th</sup> Joint meeting of the Acoustical Society of America and Acoustical Society of Japan, (2006), Honolulu, USA.  
Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, Shigeaki Amano, and Tadahisa Kondo
  24. Binaural speech enhancement by complex wavelet transform based on interaural level and argument differences. 4<sup>th</sup> Joint meeting of the Acoustical Society of America and Acoustical Society of Japan, (2006), Honolulu, USA.  
Satoshi Hongo and Yôiti Suzuki
  25. Effects of Intermodal Timing difference and speed difference on auditory-visual speech perception. 4<sup>th</sup> Joint meeting of the Acoustical Society of America and Acoustical Society of Japan, (2006), Honolulu, USA.  
Akihiro Tanaka, Shuichi Sakamoto, Komi Tsumura, and Yôiti Suzuki

26. Classification head-related transfer functions for an individualization procedure by a tournament-style listening-test (invited paper). 4<sup>th</sup> Joint meeting of the Acoustical Society of America and Acoustical Society of Japan, (2006), Honolulu, USA.  
Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
27. The new International Organization for Standardization (ISO) standard for the equal-loudness contours: Comparison to earlier contours and procedures. 151<sup>st</sup> Meeting of Acoustical Society of America, (2006), Salt Lake City, USA.  
Yôiti Suzuki, and Hisashi Takeshima
28. The perception of spectrally compressed noise-vocoded speech sound. 9<sup>th</sup> Japan-Taiwan conference in Otolaryngology, Head and Neck Surgery, (2007).  
Tetsuaki Kawase, Yoko Hori, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, and Toshimitsu Kobayashi
29. A New Self-adaptive Digital Audio Watermarking. Japan-China Joint Conference of Acoustics 2007, (2007).  
Huiqin Wang, Ryouichi Nishimura, and Yôiti Suzuki
30. Error robust transmitting for speech signal using Multiple Description Quantization. Joint international Conference of the 4<sup>th</sup> International Symposium on System Construction of Global-Network-Oriented Information Electronics and Student-Organizing International Mini-conference on Information Electronics system, (2007).  
Ho-seok Wey, Ryouichi Nishimura, and Yôiti Suzuki
31. Effects of FM sounds on the perceived magnitude of self-motion induced by vestibular information. 9<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2008), Hamburg, Germany.  
Shuichi Sakamoto, Maori Kobayashi, Mikio Seto, Kenzo Sakurai, Jiro Gyoba, and Yôiti Suzuki
32. Effects of tonal organization on synchrony-asynchrony discrimination of cross-modal and intra-modal stimuli. 9<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2008), Hamburg, Germany.  
Maori Kobayashi, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki
33. Effect of vestibular information on sound source distance travelled estimation. 10<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2009), Hamburg, Germany.  
Shuichi Sakamoto, Fumimasa Furune, Wataru Teramoto, Kenzo Sakurai, Jiro Gyoba, and Yôiti Suzuki
34. Multimodal integration in perceiving direction of self-motion from visual and vestibular stimulation. 10<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2009), New York, USA.  
Toshio Kubodera, Philip M. Grove, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, and Kenzo Sakurai
35. Audio-visual synchrony perception for stimulus onset and offset. 10<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2009), New York, USA.  
Maori Kobayashi, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
36. Spatial integration of audio-visual information in the peripheral visual field. 10<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2009), New York, USA.  
Dae-Gee Kang, Ryota Miyauchi, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
37. Completion of a visual motion representation by auditory information. 10<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2009), New York, USA.  
Wataru Teramoto, Souta Hidaka, Jiro Gyoba, and Yôiti Suzuki

38. Effect of tone-sequence frequency changes on visible persistence of apparently moving visual stimuli. 10<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2009), New York, USA.  
Souta Hidaka, Wataru Teramoto, Jiro Gyoba, and Yôiti Suzuki
39. Intra- and inter-modal completion of a visual motion representation. 32<sup>nd</sup> European Conference on Visual Perception (ECVP'09), (2009), Regensburg, Germany.  
Wataru Teramoto, Souta Hidaka, Jiro Gyoba, and Yôiti Suzuki
40. Perception of audio-visual spatial disparity in the peripheral visual field. 2<sup>nd</sup> Student Organizing International Mini-Conference on Information Electronics Systems, (2009).  
Dae-Gee Kang, Ryota Miyauchi, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
41. Effects of the alternation of sounds on the perceived direction of visual motion. 33<sup>rd</sup> European Conference on Visual Perception (ECVP'10), (2010), Lausanne, Switzerland.  
Wataru Teramoto, Souta Hidaka, Yoichi Sugita, Shuichi Sakamoto, Jiro Gyoba, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
42. Multimodal integration in perceiving direction of self-motion from real somatic motion and orthogonally directed optic flow pattern. 2010 Asia-Pacific Conference on Vision (APCV), (2010), Taipei, Taiwan.  
Toshio Kubodera, Philip Grove, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki and Kenzo Sakurai
43. The contribution of spectral-cue-based sound localization to illusory visual motion perception. 11<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2010), Liverpool, UK.  
Wataru Teramoto, Yuko Manaka, Souta Hidaka, Yoichi Sugita, Ryota Miyauchi, Shuichi Sakamoto, Jiro Gyoba, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
44. Temporal properties of multimodal integration in perceiving direction of self-motion from visual and vestibular information. 11<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2010), Liverpool, UK.  
Toshio Kubodera, Philip M. Grove, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, and Kenzo Sakurai
45. Bimodal training of speech understating with highly distorted speech sound. 11<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2010), Liverpool, UK.  
Mika Sato, Tetsuaki Kawase, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, and Toshimitsu Kobayashi
46. Audio-visual synchrony perception of simplified speech sound heard as speech and non-speech. 11<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2010), Liverpool, UK.  
Kaori Asakawa, Akihiro Tanaka, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
47. Sound can induce illusory visual motion perception. 11<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2010), Liverpool, UK.  
Souta Hidaka, Wataru Teramoto, Yoichi Sugita, Yuko Manaka, Ryota Miyauchi, Shuichi Sakamoto, Jiro Gyoba, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
48. Multi-modally perceived direction of self-motion from orthogonally directed visual and vestibular stimulation. 2010 Vision Sciences Society (VSS) annual meeting, (2010).  
Kenzo Sakurai, Toshio Kubodera, Philip Grove, Shuichi Sakamoto and Yôiti Suzuki
49. Audio-visual temporal perception for perceptually simplified speech sound and natural face image. 5<sup>th</sup> International Symposium on Medical, Bio- and Nano-Electronics in Sendai, (2010), Sendai, Japan.  
Kaori Asakawa, Akihiro Tanaka, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki

50. Sound localization in a remote place via an avatar robot synchronizing to listener's head rotation. 11<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2010), Liverpool, UK.  
Yukio Iwaya, Makoto Otani, Yusuke Masuyama, and Yôiti Suzuki
51. Inverse effectiveness in the visual evoked potential. 11<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2010), Liverpool, UK.  
Maori Kobayashi, Yuko Manaka, Wataru Teramoto, Souta Hidaka, Yoichi Sugita, Yôiti Suzuki
52. Latencies for the crossmodal release of motion-induced blindness. 11<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2010), Liverpool, UK.  
Michiaki Shibata, Yousuke Kawachi, Satoshi Yairi, Yukio Iwaya, Jiro Gyoba, and Yôiti Suzuki
53. Audio-visual peripheral localization disparity in the median plane. 11<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2010), Liverpool, UK.  
DaeGee Kang, Ryota Miyauchi, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki
54. Sounds can induce illusory visual motion perception. 11<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2010), Liverpool, UK.  
Souta Hidaka, Wataru Teramoto, Yoichi Sugita, Yuko Manaka, Ryota Miyauchi, Shuichi Sakamoto, Jiro Gyoba, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
55. Perceived direction of self-motion from upward/downward vestibular and orthogonally directed visual stimulation. 2011 Vision Sciences Society (VSS) annual meeting, (2011).  
Kenzo Sakurai, Toshio Kubodera, Philip Grove, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
56. Perceived direction of self-motion from vestibular and orthogonally directed visual stimulation for supine observers. 34<sup>th</sup> European Conference on Visual Perception (ECVP'11), (2011), Toulouse, France.  
Kenzo Sakurai, Toshio Kubodera, Philip Grove, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
57. Direct contribution of auditory motion information to sound-induced visual motion perception. 12<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2012), Fukuoka, Japan.  
Souta Hidaka, Wataru Teramoto, Yoichi Sugita, Yuko Manaka, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
58. The sense of verisimilitude has different spatial-temporal characteristics from those producing the sense of presence in the evaluation process of audiovisual contents. 12<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2012), Fukuoka, Japan.  
Takayuki Kanda, Akio Honda, Hiroshi Shibata, Nobuko Asai, Wataru Teramoto, Shuichi Sakamoto, Yukio Iwaya, Jiro Gyoba, and Yôiti Suzuki
59. Distortion of auditory space during linear self-motion. 12<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2012), Fukuoka, Japan.  
Wataru Teramoto, Fumimasa Furune, Shuichi Sakamoto, Jiro Gyoba and Yôiti Suzuki
60. Sound localization in the coexistence of visually induced self-motion and vestibular information. 12<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2012), Fukuoka, Japan.  
Hideaki Terashima, Zhenglie Cui, Shuichi Sakamoto, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
61. Audio-visual peripheral localization disparity. 12<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2012), Fukuoka, Japan.  
Ryota Miyauchi, Dae-Gee Kang, Yukio Iwaya, and Yôiti Suzuki
62. Detection thresholds of sound image movement deteriorate during sound localization. 12<sup>th</sup>

- International Multisensory Research Forum (IMRF), (2012), Fukuoka, Japan.  
Kagesho Ohba, Yukio Iwaya, Akio Honda, Yôiti Suzuki
63. The effects of head movement and accurate proprioceptive feedback in training of sound localization. 12<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2012), Fukuoka, Japan.  
Akio Honda, Hiroshi Shibata, Souta Hidaka, Jiro Gyoba, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki
64. Sound localization in the coexistence of visually induced self-motion and vestibular information. 12<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2012), Fukuoka, Japan.  
Hideaki Terashima, Zhenglie Cui, Shuichi Sakamoto, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki
65. Perceived direction of self-motion from orthogonally directed visual and vestibular stimulation in passive and active observation. 12<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2012), Fukuoka, Japan.  
Kenzo Sakurai, Toshio Kubodera, Philip M. Grove, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
66. Human Multimodal Perception for Future High-definition Communications. National Tsing Hua University and Tohoku University Bilateral Workshop, (2011), Sendai, Japan.  
Yôiti Suzuki, Yukio Iwaya, Shuichi Sakamoto, and Takuma Okamoto
67. Effects of full body vibration to perceived sense of verisimilitude and sense of presence. 12<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2012), Oxford, UK.  
Shuichi Sakamoto, Gen Hasegawa, Akio Honda, Yukio Iwaya, Yôiti Suzuki and Jiro Gyoba
68. Visual benefit in bimodal training with highly distorted speech sound. 12<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2012), Oxford, UK.  
Mika Sato, Tetuaki Kawase, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, and Toshimitsu Kobayashi
69. Minimum audible angle at the subjective front during active and passive listener's head rotation. 166<sup>th</sup> Meeting of the Acoustical Society of America, 2pPP2, (2013), San Francisco, USA.  
Yôiti Suzuki, Kagesho Ohba, Akio Honda, Shuichi Sakamoto, and Yukio Iwaya
70. Difference of the perceived auditory space between walking and passive self-motion. 166<sup>th</sup> Meeting of the Acoustical Society of America, 2pPP3, (2013), San Francisco, USA.  
Shuichi Sakamoto, Hideaki Terashima, Wataru Teramoto, Yôiti Suzuki, and Jiro Gyoba
71. Distortion of auditory space during linearvection. 36<sup>th</sup> European Conference on Visual Perception (ECPV'13), (2013), Bremen, Germany.  
Wataru Teramoto, Zhenglie Cui, Kazuki Moishi, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki and Jiro Gyoba
72. Distortion of auditory space during visually induced self-acceleration. 14<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2013), Jerusalem, Israel.  
Wataru Teramoto, Zhenglie Cui, Kazuki Moishi, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, and Jiro Gyoba
73. Minimum audible angle at subjective front during listener's head rotation. 14<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2013), Jerusalem, Israel.  
Yôiti Suzuki, Kagesho Ohba, Shuichi Sakamoto, Akio Honda, and Yukio Iwaya
74. Listener's head rotation affects their sound localization acuity at the subjective front. Motion tracking and moving audio, (2014).  
Akio Honda, Yôiti Suzuki, Yoji Masumi, Kagesho Ohba, Shuichi Sakamoto, and Yukio Iwaya
75. Perceived reality in multimodal content as a function of synchrony between vibration and

- audio-visual information. 15<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2014), Amsterdam, Netherlands.
- Shuichi Sakamoto, Emi Takahashi, Yôiti Suzuki, and Jiro Gyoba
76. Contribution of detailed parts around talker's mouth for audio-visual speech perception. 167<sup>th</sup> Meeting of the Acoustical Society of America, 5aPP25, (2014), Providence, USA.
- Shuichi Sakamoto, Gen Hasegawa, Toru Abe, Tomoko Ohtani, Yôiti Suzuki, and Tetsuaki Kawase
77. Evaluation of a high-order Ambisonics decoder for irregular loudspeaker arrays through reproduced field measurements. 167<sup>th</sup> Meeting of the Acoustical Society of America, 2pSP14, (2014), Providence, USA.
- Jorge Trevino, Takuma Okamoto, Yukio Iwaya, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
78. Embedding distance information in binaural renderings of far field recordings. EAA Joint Symposium on Auralization and Ambisonics 2014, (2014), Kraków, Poland.
- Cesar Salvador, Shuichi Sakamoto, Jorge Trevino, and Yôiti Suzuki
79. Effects of a movie of speaker's irrelevant speech utterance on recall tasks. 16<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2015), Pisa, Italy.
- Tomoko Ohtani, Shun Torai, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
80. Passive horizontal rotation affects sound localization acuity at the subjective front. 16<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2015), Pisa, Italy.
- Akio Honda, Yoji Masumi, Yôiti Suzuki, and Shuichi Sakamoto
81. Effects of a listener's very slow rotation on sound localization accuracy. 5<sup>th</sup> Joint Meeting of the Acoustical Society of America and the Acoustical Society of Japan, 5aSP13, (2016), Honolulu, USA.
- Sayaka Tsunokake, Akio Honda, Yôiti Suzuki, and Shuichi Sakamoto
82. Relationship between speech intelligibility and objective measures in sound fields with a discrete long-path echo, 5<sup>th</sup> Joint Meeting of the Acoustical Society of America and the Acoustical Society of Japan, 3pEA5, (2016), Honolulu, USA.
- Hayato Sato, Masayuki Morimoto, Yusuke Miyagawa, and Yôiti Suzuki
83. A nested beamforming approach to sound source separation using an array-of-arrays recording system. 5<sup>th</sup> Joint Meeting of the Acoustical Society of America and the Acoustical Society of Japan, 4aPPa44, (2016), Honolulu, USA.
- Jorge Trevino, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
84. Sound field interpolation in the spatial domain with a rigid spherical microphone array. 5<sup>th</sup> Joint Meeting of the Acoustical Society of America and the Acoustical Society of Japan, 1aSP2, (2016), Honolulu, USA.
- Cesar Salvador, Shuichi Sakamoto, Jorge Trevino, Yôiti Suzuki
85. Auditory space perception during self-motion. 5<sup>th</sup> Joint Meeting of the Acoustical Society of America and the Acoustical Society of Japan, 1pPP4, (2016), Honolulu, USA.
- Shuichi Sakamoto, Wataru Teramoto, Akio Honda, Yôiti Suzuki, Jiro Gyob
86. Optimization of speech presentation in mass-notification sound systems based on word intelligibility. 5<sup>th</sup> Joint Meeting of the Acoustical Society of America and the Acoustical Society of Japan, 3pEA4, (2016), Honolulu, USA.
- Shuichi Sakamoto, Zhenglie Cui, Masayuki Morimoto, Yôiti Suzuki



87. Effect of verticalvection on vertical sound localization. 17<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), (2016), Suzhou, China.  
Zhenglie Cui, Shuichi Sakamoto and Yôiti Suzuki
88. Effect of visual and vestibular information on auditory space perception. 171<sup>st</sup> Meeting of the Acoustical Society of America, 5aPP5, (2016), Salt Lake City, USA.  
Shuichi Sakamoto, Keishi Hanakago, Zhenglie Cui, Wataru Teramoto, Yôiti Suzuki, and Jiro Gyoba
89. Recording of extended sound fields using spherical microphone arrays and a-priori knowledge of the sound source positions. 171<sup>st</sup> Meeting of the Acoustical Society of America, 3aSP1, (2016), Salt Lake City, USA.  
Jorge Trevino, Keigo Wakayama, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, Hideaki Takada, and Manabu Okamoto
90. Applications of operator theory and symmetry arguments to sound field recording and reproduction. 174<sup>th</sup> Meeting of the Acoustical Society of America, (2017), New Orleans, USA.  
Jorge Trevino, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
91. Effects of listener's whole-body rotation and sound duration on sound localization accuracy. 174<sup>th</sup> Meeting of the Acoustical Society of America, (2017), New Orleans, USA.  
Akio Honda, Sayaka Tsunokake, Yôiti Suzuki, and Shuichi Sakamoto
92. Enhancing the effect of full-body vibration generated from audio signal on perceived reality. 18<sup>th</sup> International Multisensory Research Forum (IMRF), 147, (2017), Nashville, USA.  
Zhenglie Cui, Hiroyuki Yagyu, Shuichi Sakamoto, Yôiti Suzuki, and Jiro Gyoba
93. Application of time-domain near-field acoustical holography to the high-order ambisonics presentation of moving sound sources, 176<sup>th</sup> Meeting of the Acoustical Society of America, 5aSP5, (2018), Victoria, Canada.  
Jorge Trevino, Shuichi Sakamoto, and Yôiti Suzuki
94. Effects of auditory selective attention on word intelligibility and detection threshold of narrow-band noise, 176<sup>th</sup> Meeting of the Acoustical Society of America, 3aPP26, (2018), Victoria, Canada.  
Ryo Teraoka, Shuichi Sakamoto, Zhenglie Cui, Yôiti Suzuki, and Satoshi Shioiri

● **国内会議議事録**

1. ヘッドホンの音響特性評価用試作システムについて 異常音検出を主眼として. 電子情報通信学会技術報告, (1987)  
田中淳, 鈴木陽一, 香野俊一, 曾根敏夫, 青木茂雄
2. ラウドネス回路の特性の最適化に関する実験的検討. 電子情報通信学会技術報告, (1987)  
小沢賢司, 鈴木陽一, 香野俊一, 曾根敏夫, 千葉俊一, 相馬次郎
3. 等ラウドネス特性の周波数依存性に関する考察 II 自由音場における等ラウドネス曲線の再検討. 電子情報通信学会技術報告, (1988)  
鈴木聖記, 鈴木陽一, 香野俊一, 曾根敏夫, 熊谷正純, 三浦甫, 賀戸久, 武藤喜八
4. クロススペクトル法を用いた振動インテンシティの計測手法に関する一考察. 電子情報通信学会技術報告, (1988)  
LEE C-B, 鈴木陽一, 香野俊一, 曾根敏夫
5. 衝撃音の繰り返し率とラウドネスの関係 ラウドネス知覚における分離と連続 電子情報通

- 信学会技術報告, (1988)  
小倉泰憲, 鈴木陽一, 曾根敏夫
6. 近距離音像の距離定位に関する一考察. 電子情報通信学会技術報告, (1990)  
鈴木和憲, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 千葉俊一, 竹内興二, 後藤秀治
  7. 土中打撃に伴う振動の地表伝搬の解析. 電子情報通信学会技術報告, (1990)  
岩上直樹, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 境友昭
  8. 小型ヘッドホンの微小なビリつき音の検出手法に関する考察. 電子情報通信学会技術報告, (1990)  
鈴木陽一, 神戸顕一郎, 小沢賢司, 曾根敏夫, 青木茂雄
  9. 適応マイクロホンアレイを用いた補聴器のための雑音抑圧手法に関する一考察. 電子情報通信学会技術報告, (1990)  
浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
  10. 土中伝搬に伴う振動の地表伝搬の解析について. 音講論, (1990)  
岩上直樹, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 境友昭
  11. 低・中周波数域における 20phon の等ラウドネスレベル特性 自由音場における等ラウドネスレベル曲線の再検討 その 4. 音講論, (1990)  
竹島久志, 熊谷正純, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 藤森威, 賀戸久, 三浦甫
  12. 近距離音像の距離定位に関する一考察. 音講論, (1990)  
鈴木和憲, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 千葉俊一, 竹内興二, 後藤秀治
  13. 2成分複合音の音色における成分音間位相差とマスクトスペクトルについて. 音講論, (1990)  
小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
  14. 一次元の振動インテンシティ計測における測定誤差に関する考察. 音講論, (1990)  
鈴木陽一, 曾根敏夫, LEE C-B
  15. 多次元尺度構成法を用いた補聴器評価法に関する一考察. 電子情報通信学会技術報告, (1991)  
小峯一晃, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
  16. 補聴器のための信号の無相関化を用いた適応ハウリング抑制について. 音講論, (1990)  
JOSON H A, ASANO F, SUZUKI Y, SONE T
  17. 境界要素法を用いた 3次元空間のインパルス応答の推定. 音講論, (1990)  
高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫
  18. 境界要素法を用いた 3次元小空間音場の解析. 音講論, (1990)  
山田祐生, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 高根昭一
  19. 補聴器の受聴環境に適した適応マイクロホンアレイの学習方法について. 音講論, (1990)  
浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
  20. 多次元尺度構成法による補聴器評価の試み. 音講論, (1990)  
小峯一晃, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
  21. 純音にマスクされた純音のラウドネス関数に関する一考察. 音講論, (1990)  
植松尚, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
  22. 断続雑音のラウドネスに関する一考察. 音講論, (1990)  
目時秀則, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
  23. 一次元振動インテンシティ計測における近距離場・遠距離場の寄与. 音講論, (1990)  
LEE C-B, 岩谷幸雄, 鈴木陽一, 曾根敏夫

24. 無相関化を用いた適応ハウリング抑制方式の評価 入力周期的信号である場合について. 音講論, (1990)  
     JOSON H A, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
25. 自由音場における最小可聴値の差異に関する一考察. 音講論, (1990)  
     竹島久志, 熊谷正純, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 藤森威, 三浦甫
26. 補聴器のための適応ハウリング抑制に関する一考察. 電子情報通信学会技術報告, (1992)  
     JOSON H, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
27. 周波数圧縮を用いた適応ハウリング抑制について. 電子情報通信学会技術報告, (1992)  
     JOSON H, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
28. RLS アルゴリズムを用いた適応マイクロホンアレイの動作に関する一考察. 電子情報通信学会技術報告, (1992)  
     浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
29. 正中面における音の方向定位に関する一考察. 電子情報通信学会技術報告, (1992)  
     播摩敏雄, 阿部一任, 鈴木陽一, 曾根敏夫
30. 純音にマスクされた純音のラウドネス関数について マスカとマスキーが高調波関係にない場合. 電子情報通信学会技術報告, (1992)  
     小沢賢司, 植松尚, 鈴木陽一, 曾根敏夫
31. 刺激音の強さの影響を考慮した時間長知覚モデルについて. 電子情報通信学会技術報告, (1992)  
     岩上直樹, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
32. 頭部の位置ずれを考慮した頭部伝達関数の模擬における模擬領域について. 電子情報通信学会技術報告, (1992)  
     阿部一任, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
33. 時間引き伸ばしパルス設計法に関する考察. 電子情報通信学会技術報告, (1992)  
     鈴木陽一, 浅野太, 曾根敏夫
34. 曲げ振動における一次元振動インテンシティ計測誤差の検討. 音講論, (1992)  
     LEE C-B, 岩谷幸雄, 鈴木陽一, 曾根敏夫
35. 弁別素性ごとの情報伝達率を用いた聴覚特性の評価に関する一考察. 音講論, (1992)  
     佐藤庄衛, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
36. 周波数圧縮を用いた無相関化による適応ハウリング抑制におけるシステムパラメタの最適化. 音講論, (1992)  
     浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫, JOSON H A
37. 高次部分音だけからなる高調波複合音の音色知覚過程に関する一考察. 音講論, (1992)  
     植松尚, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
38. 頭部の移動を考慮した頭部伝達関数の模擬手法について. 音講論, (1992)  
     阿部一任, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
39. 境界要素法を用いた3次元小空間音場の予測. 音講論, (1992)  
     高根昭一, 山田祐生, 鈴木陽一, 曾根敏夫
40. 室内音場合成システムの模擬精度の聴取実験による評価の試み. 音講論, (1992)  
     小沢賢司, 高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 宮島徹, 田原靖彦
41. デジタル補聴器のためのラウドネス補償関数の測定法に関する一検討. 音講論, (1992)  
     伊勢友彦, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 欠畑誠治, 大山健二, 小林俊光, 高坂知節

42. 3ch 法による一次元振動インテンシティの計測手法の提案. 音講論, (1992)  
岩谷幸雄, 鈴木陽一, 曾根敏夫
43. 強度差がある音の長さの比較についてのニューラル・カウンタ-クロック結合モデルによる解釈. 音講論, (1992)  
岩上直樹, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
44. 恒常法の実験結果に最尤法を適用したときのパラメタ推定誤差の理論的検討. 音講論, (1992)  
鈴木陽一, 高根昭一, 曾根敏夫
45. 頭部の位置ずれを考慮した頭部伝達関数模擬手法における音源位置の影響について. 電子情報通信学会技術報告, (1993)  
阿部一任, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
46. ノッチフィルタを用いたハウリング抑圧手法の補聴器への適応について. 電子情報通信学会技術報告, (1993)  
OSON H, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
47. 自由音場における純音の最小可聴値. 電子情報通信学会技術報告, (1993)  
竹島久志, 熊谷正純, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 藤森威, 三浦甫
48. 広帯域雑音のスペクトル包絡と音色の知覚過程に関する考察. 電子情報通信学会技術報告, (1993)  
小沢賢司, 小泉正樹, 鈴木陽一, 曾根敏夫
49. 高次高調波成分のみからなる複合音の音色弁別過程に関する一考察. 電子情報通信学会技術報告, (1993)  
植松尚, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
50. 一次元振動インテンシティにおける減衰波成分に関する一考察. 音講論, (1993)  
西村竜一, 岩谷幸雄, 鈴木陽一, 曾根敏夫
51. 心理測定関数の最尤推定におけるパラメタ推定誤差に関する検討 サンプル数が少ないときの推定値の特性について. 音講論, (1993)  
高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫
52. 4チャンネル法による振動インテンシティ計測の近傍場を考慮した誤差解析. 音講論, (1993)  
岩谷幸雄, 坂田真人, 鈴木陽一, 曾根敏夫
53. 前方正中面における音の方向定位に関する一考察. 音講論, (1993)  
播摩敏雄, 阿部一任, 鈴木陽一, 曾根敏夫
54. 音場の多点制御における音源数と模擬領域の関係について. 音講論, (1993)  
阿部一任, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
55. 適応ノッチフィルタを用いたハウリング抑圧手法に関する一考察. 音講論, (1993)  
JOSON H A, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
56. 音場の多点制御における制御用スピーカ配置の影響. 音講論, (1993)  
阿部一任, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
57. 音質・声質をめぐって 広帯域雑音に関する音色知覚空間の音色評価語を用いた解釈 広帯域雑音のスペクトルと音色の対応関係について 第2報. 音講論, (1992)  
小沢賢司, 小泉正樹, 鈴木陽一, 曾根敏夫
58. 音素弁別素性を用いた難聴者の聴覚特性評価に関する一考察. 音講論, (1993)  
佐藤庄衛, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 欠畑誠治, 大山健二, 小林俊光, 高坂知節

59. 評定尺度法を用いたラウドネス補償関数の測定に関する一検討. 音講論, (1993)  
伊勢友彦, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 欠畑誠治, 大山健二, 小林俊光, 小林俊光
60. TSP を用いて設計長より長いインパルス応答を計測する場合の計測誤差について. 音講論, (1993)  
岩谷幸雄, 鈴木陽一, 曾根敏夫
61. 自由音場と拡散音場における等ラウドネスレベルおよび最小可聴値の差. 音講論, (1993)  
竹島久志, 熊谷正純, 藤森威, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
62. ラウドネスと最小可聴値に及ぼす両耳間相関度の影響 自由音場と拡散音場における等ラウドネスレベルおよび最小可聴値の差 その2. 音講論, (1993)  
竹島久志, 熊谷正純, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 藤森威
63. 音質・声質をめぐって 複合音の成分音間マスキングを考慮した音色弁別過程に関する一考察. 音講論, (1993)  
植松尚, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
64. 純音にマスクされた純音のラウドネスにおける過補充現象に関する一考察. 音講論, (1993)  
森谷彰, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
65. 微係数拘束条件を用いた音場制御手法について. 音講論, (1993)  
浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
66. 音質・声質をめぐって 定常音の音色知覚過程について. 音講論, (1993)  
鈴木陽一, 小沢賢司, 曾根敏夫
67. 基本周波数が異なる複合音のスペクトル包絡の形状と音色の対応に関する一考察. 電子情報通信学会技術報告, (1994)  
森谷彰, 植松尚, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
68. 準直線位相ノッチフィルタを用いたハウリング抑圧手法. 音講論, (1994)  
JOSON H, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
69. 基本周波数の異なる広帯域複合音の音色知覚過程に関する一考察. 音講論, (1994)  
森谷彰, 植松尚, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
70. ノッチフィルタを用いたハウリング抑圧手法に関する一考察. 音講論, (1994)  
JOSON H, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
71. 室内音場解析のための壁面音響特性の評価法に関する数値的検討 2次元音場における検討. 音講論, (1994)  
高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫
72. 正中面におかれた二音源による音像定位. 音講論, (1994)  
播摩敏雄, 鈴木陽一, 曾根敏夫
73. 1次元振動インテンシティの能動制御のための加振方法に関する一考察. 音講論, (1994)  
岩谷幸雄, 坂田真人, 鈴木陽一, 曾根敏夫
74. レベル変化させた成分音の周波数幅が複合音の音色変化に及ぼす影響に関する一考察. 音講論, (1994)  
植松尚, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
75. ラウドネス補償型補聴器 CLAUDHA の実現に関する検討. 音講論, (1994)  
NG W J, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 山口公典, 高坂知節
76. 室内音場解析のための壁面音響特性の評価法に関する基礎的検討. 音講論, (1994)  
高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫

77. 恒常法パラメタが等ラウドネスレベル測定結果に与える影響について. 音講論, (1994)  
竹島久志, FASTL H, 鈴木陽一, 熊谷正純, 曾根敏夫
78. TDH-49, HDA-200, NEDO-H3 イヤホンの標準等価最小可聴値の測定. 音講論, (1994)  
竹島久志, 平岡智樹, 熊谷正純, 鈴木陽一, 曾根敏夫
79. 閉領域内の音場模擬手法に関する基礎的検討. 音講論, (1994)  
三上学, 高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫
80. 短時間スペクトラル振幅推定を用いた音声強調手法に関する一考察. 音講論, (1994)  
KIM H-Y, 西村竜一, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
81. Gram-Schmidt の直交化を用いたアクティブ音場制御における制御音源配置の最適化. 電子情報通信学会技術報告, (1995)  
浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
82. 短時間振幅スペクトル推定を用いた2チャンネル音声強調法について. 電子情報通信学会技術報告, (1995)  
浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫, KIM H-Y
83. 多点制御を用いた頭部伝達関数模擬における物理的模擬精度と聴感上の模擬精度. 電子情報通信学会技術報告, (1995)  
KIM H-Y, 阿部一任, 高根昭一, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
84. ウェーブレット変換を用いた音声強調による SN 比と明瞭度の改善効果に関する検討. 電子情報通信学会技術報告, (1995)  
西村竜一, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
85. アクティブ音場制御における制御音源配置の最適化 (第2報). 音講論, (1995)  
KIM H-Y, 西村竜一, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
86. 等価最小可聴値のイヤホン依存性について TDH-49, HDA-200, NEDO-H3 イヤホンの標準等価最小可聴値の測定 その二. 音講論, (1995)  
浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
87. 短時間振幅スペクトル推定を用いた2チャンネル音声強調法における振幅スペクトル推定について. 音講論, (1995)  
KIM H-Y, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
88. 等価音響アドミタンスを手掛りとした壁面音響特性評価の指針に関する検討. 音講論, (1995)  
高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫
89. 音声強調を目的とした非直交ウェーブレットによる信号解析. 音講論, (1995)  
西村竜一, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
90. 音源配置が多点制御を用いた頭部伝達関数模擬の精度に及ぼす影響. 音講論, (1995)  
阿部一仁, KIM H-Y, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
91. 等価音響アドミタンスを用いて壁面音響特性を評価した場合の音場の解析精度について. 音講論, (1995)  
高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫
92. Secondary Path のオンライン同定における消音性能の非劣化条件. 音講論, (1995)  
斉藤望, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 伊勢友彦, 秋保政一
93. 頭部伝達関数の模擬による音像距離定位のモデル化に関する検討. 音講論, (1995)

- KIM H-Y, 高根昭一, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
94. ピッチ知覚の五次元モデルに関する一考察. 音講論, (1995)  
小沢賢司, 阿部圭史, 鈴木陽一, 曾根敏夫
95. 正中面におかれた2音源による合成音像定位. 音講論, (1995)  
播摩敏雄, 鈴木陽一, 曾根敏夫
96. 音階をなす広帯域複合音の音色知覚過程に関する一考察. 音講論, (1995)  
森谷彰, 阿部圭史, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
97. ウェーブレット変換に基づく音声強調における基本ウェーブレットの影響. 音講論, (1995)  
西村竜一, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
98. 2つのマイクロホンを用いた短時間スペクトル推定による音声強調手法に関する一考察. 音講論, (1995)  
KIM H-Y, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
99. 多点制御を用いた頭部伝達関数の模擬精度と聴取実験に基づく音像定位の精度との対応に関する検討. 音講論, (1995)  
KIM H-Y, 阿部一仁, 高根昭一, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
100. 電話受聴におけるラウドネス補償型補聴方式の効果について. 音講論, (1995)  
新井大輔, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
101. 様々なスペクトル構造を有する複合音の音色知覚空間表現モデルに関する一考察. 音講論, (1995)  
植松尚, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
102. 広帯域音の周波数スペクトルと音色知覚空間の対応関係について. 音講論, (1995)  
小沢賢司, 森谷彰, 鈴木陽一, 曾根敏夫
103. 感音系難聴者における広帯域音のラウドネス知覚に関する一考察. 音講論, (1995)  
小泉正樹, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
104. 基本周波数が異なる広帯域音のピッチと音色に関する考察. 音講論, (1995)  
小沢賢司, 阿部圭史, 鈴木陽一, 曾根敏夫
105. 音場のアクティブ制御における制御音源配置の最適化. 音講論, (1995)  
浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
106. ラウドネス補償型補聴器の両耳装用に関する考察. 電子情報通信学会技術報告, (1996)  
和田治, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 川瀬哲明, 高坂知節
107. ファジィ制御を用いた適応アルゴリズムのステップゲインの修正法. 電子情報通信学会技術報告, (1996)  
武藤憲司, 柴山秀雄, 島田一雄, 鈴木陽一, 曾根敏夫
108. 初期反射音除去のための能動音場制御手法について. 電子情報通信学会技術報告, (1996)  
阿部一任, 高橋弘宜, 浅野太, 高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫
109. 振幅変調信号の変調度の両耳知覚. 音講論, (1996)  
OZIMEK E, KONIECZNY J, Y. SUZUKI, T.SONE
110. 境界要素法を用いたインパルス応答推定における壁面の境界条件の取り扱いについて. 音講論, (1996)  
天野泰, 高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫
111. 壁面の局所作用を仮定しない室内音場の数値解析に関する一考察. 音講論, (1996)  
高根昭一, 桜井利昭, 鈴木陽一, 曾根敏夫

112. 壁面の局所作用を仮定しない室内音場の数値解析に関する一考察. 音講論, (1996)  
高根昭一, 桜井利昭, 鈴木陽一, 曾根敏夫
113. 2 段階評定尺度法および最尤適応法を用いた等ラウドネスレベル曲線の測定に関する考察. 音講論, (1996)  
高根昭一, 桜井利昭, 鈴木陽一, 曾根敏夫
114. 能動制御を用いた初期反射音除去手法に関する一考察. 音講論, (1996)  
阿部一任, 浅野太, 高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫
115. Kirchhoff の積分公式に基づく音場制御法における音圧制御点の配置に関する一考察. 音講論, (1996)  
高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫
116. ラウドネス補償型補聴器の両耳装用に関する一考察. 音講論, (1996)  
和田治, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 日高浩史, 川瀬哲明, 高坂知節
117. 単語の親密度と音韻バランスを考慮した単語リストに関する一考察. 音講論, (1996)  
坂本修一, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 天野成昭, 近藤公久
118. 側方抑制現象を考慮に入れた音色弁別域推定モデルに関する一考察. 音講論, (1996)  
植松尚, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
119. ファジィ制御を用いた NLMS アルゴリズムによる音源方向の推定. 音講論, (1996)  
武藤憲司, 柴山秀雄, 島田一雄, 鈴木陽一, 曾根敏夫
120. 空間サンプリング定理を考慮した音場制御における音源配置. 音講論, (1996)  
浅野太, 高橋弘宜, 高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫
121. Bussgang アルゴリズムに基づくブラインドコンボリューションを用いた音声強調の実現. 電子情報通信学会技術報告, (1997)  
西村竜一, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
122. 三角波で変調した AM 音の音色知覚空間. 電子情報通信学会技術報告, (1997)  
津久井慎二, 西村竜一, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
123. 両耳聴を目的としたステレオマイクロホンアレーの評価. 電子情報通信学会技術報告, (1997)  
津久井慎二, 西村竜一, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
124. ANC システムにおける未知伝達系の同定可能条件. 音講論, (1997)  
斉藤望, 伊勢友彦, 鈴木陽一, 曾根敏夫
125. 等ラウドネスレベル曲線の推定方法. 音講論, (1997)  
竹島久志, 鈴木陽一, 熊谷正純, 曾根敏夫
126. 音場制御における制御周波数帯域と音源配置の関係. 音講論, (1997)  
高橋弘宜, 浅野太, 高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫
127. 一次元振動インテンシティ制御と振幅の一点制御に関する一考察. 音講論, (1997)  
岩谷幸雄, 高橋彰, 坂田真人, 鈴木陽一, 曾根敏夫
128. 室内音場の数値解析における吸音性壁面の境界条件に関する考察. 音講論, (1997)  
桜井利昭, 高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫
129. 多点拘束条件を用いた両耳聴用ステレオマイクロホンアレーの提案. 音講論, (1997)  
津久井慎二, 鈴木陽一, 西村竜一, 曾根敏夫, 浅野太
130. 室内音場の数値解析における吸音性壁面の境界条件に関する考察. 音講論, (1997)  
桜井利昭, 高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫



131. 多点拘束条件を用いた両耳聴用ステレオマイクロホンアレイの提案. 音講論, (1997)  
津久井慎二, 鈴木陽一, 西村竜一, 曾根敏夫, 浅野太
132. ブラインドデコンボリューションの考えに基づく音声強調. 音講論, (1997)  
西村竜一, 浅野太, 鈴木陽一, 曾根敏夫
133. 音源方向推定における音源移動の影響. 音講論, (1997)  
武藤憲司, 服部勉, 柴山秀雄, 島田一雄, 鈴木陽一, 曾根敏夫
134. 三角波で振幅変調された純音および広帯域雑音の音色知覚空間. 音講論, (1997)  
熊谷邦洋, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
135. 学習同定法のステップゲインと雑音の関係について. 音講論, (1997)  
武藤憲司, 柴山秀雄, 島田一雄, 鈴木陽一, 曾根敏夫
136. モデリングエラーに対してロバストな ANC システムに関する検討. 音講論, (1997)  
斉藤望, 伊勢友彦, 鈴木陽一, 曾根敏夫
137. 単語の親密度が了解度に及ぼす影響. 音講論, (1997)  
坂本修一, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 天野成昭, 近藤公久
138. 感情表現語や音情報関連語を用いた環境音知覚の因子分析. 音講論, (1997)  
安倍幸治, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
139. 音像距離の相対知覚に関する一考察. 音講論, (1997)  
KIM H-Y, 高根昭一, 鈴木陽一, 小沢賢司, 曾根敏夫
140. 正中面における合成音像制御に関する一考察. 音講論, (1997)  
播摩敏雄, 高根昭一, 鈴木陽一, 曾根敏夫
141. 三角波で振幅変調された正弦波の音色について. 音講論, (1997)  
熊谷邦洋, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
142. 頭部伝達関数を用いた聴覚情報提示システムの障害児教育への適用. 電子情報通信学会技術報告, (1998)  
棟方哲弥, 鈴木陽一, 魚住超, 詫間晋平
143. オクターブ間隔の成分からなる複合音のピッチおよび音色の知覚. 電子情報通信学会技術報告, (1998)  
阿瀬見典昭, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
144. 近距離音像の相対距離知覚に関する考察. 電子情報通信学会技術報告, (1998)  
KIM H-Y, 鈴木陽一, 高根昭一, 曾根敏夫
145. 学習同定法のステップゲインと残差信号について. 音講論, (1998)  
武藤憲司, 柴山秀雄, 島田一雄, 鈴木陽一, 曾根敏夫
146. 言語を用いた音情報予示が環境音知覚に及ぼす影響. 音講論, (1998)  
安倍幸治, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
147. ファジィ学習同定法のステップゲイン推定に関する考察. 音講論, (1998)  
武藤憲司, 柴山秀雄, 島田一雄, CHEN G, 鈴木陽一, 曾根敏夫
148. 振幅変調音の音色知覚を説明する聴覚モデル. 音講論, (1998)  
熊谷邦洋, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
149. 純音間マスキングの位相依存性と時間周波数興奮パターンの関係について. 音講論, (1998)  
菅井一郎, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
150. 仮想球モデルに基づく新しい聴覚ディスプレイの提案. 音講論, (1998)  
高根昭一, 鈴木陽一, 宮島徹, 曾根敏夫

151. 親密度を統制した単語了解度試験における音表提示法の影響. 音講論, (1998)  
山口崇徳, 鈴木陽一, 天野成昭, 近藤公久, 小沢賢司, 曾根敏夫
152. ラウドネス補償型処理の補聴効果における時定数の影響について. 音講論, (1998)  
島田英正, 鈴木陽一, 小沢賢司, 曾根敏夫
153. マイクロホン・アレイ技術の動向 重みつき最小二乗法を用いた両耳受聴マイクロホンアレイの提案. 音講論, (1998)  
津久井慎二, 鈴木陽一, 西村竜一, 曾根敏夫, 浅野太
154. 音を聞く楽しみと聴力保護 ヘッドホンによる聴取レベル測定法の規格化と規制の動き. 音講論, (1998)  
鈴木陽一
155. 話声の「聴き取りやすさ」を構成する心理的・物理的因子の抽出 文化ホールにおける音声伝送品質評価に関する研究. 電子情報通信学会技術報告, (1999)  
佐藤洋, 鈴木陽一, 吉野博
156. 健聴者における両耳ピッチの差と周波数弁別いき. 電子情報通信学会技術報告, (1999)  
小倉正樹, 川瀬哲明, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 高坂知節
157. 話声の「聴き取りやすさ」を構成する心理的・物理的因子の抽出 文化ホールにおける音声伝送品質評価に関する研究. 音講論, (1999)  
佐藤洋, 鈴木陽一, 吉野博
158. 聴空間の知覚と合成 ヘッドホンを用いたバイノーラル再生における個人差補正の効果. 音講論, (1999)  
小沢賢司, 金沢永治, 鈴木陽一
159. ラウドネス補償型補聴器の時定数決定のための分割帯域数の影響 音講論, (1999)  
島田英正, 鈴木陽一, 小沢賢司, 曾根敏夫
160. 聴空間の知覚と合成 水平面内に定位させた音声と時間反転音声による探索非対称性. 音講論, (1999)  
阿瀬見典昭, 杉田陽一, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 中村慶久
161. 3次元スキャナの測定データに基づく頭部伝達関数の数値解析. 音講論, (1999)  
高根昭一, CHEN G, 鈴木陽一, 工藤純一, 曾根敏夫
162. 水平面内に定位させた純音と狭帯域雑音源における聴覚の探索非対称性. 音講論, (1999)  
阿瀬見典昭, 杉田陽一, 鈴木陽一, 曾根敏夫, 中村慶久
163. 聴空間の知覚と合成 臨場感に及ぼす再生音と音場再生方式の影響. 音講論, (1999)  
小沢賢司, 中条好洋, 鈴木陽一, 曾根敏夫
164. 音に関する情報の付加が環境音知覚に与える影響. 音講論, (1999)  
安倍幸治, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
165. ふくそう角モデルを真横方向に適用可能とするための一拡張法. 音講論, (1999)  
KIM H-Y, 鈴木陽一, 高根昭一, 石岡大乘, 曾根敏夫
166. 感音性難聴者における高親密度語の単語了解度と単音節明瞭度. 音講論, (1999)  
鈴木陽一, 山口崇徳, 天野成昭, 近藤公久, 小沢賢司, 川瀬哲明, 高坂知節, 曾根敏夫
167. 状態フィードバック制御による壁面反射音抑圧手法に関する基礎的検討. 電子情報通信学会技術報告, (2000)  
高橋弘宜, 鈴木陽一, 高根昭一, 浅野太
168. 個人差補正の精度がバイノーラル再生に及ぼす影響. 電子情報通信学会技術報告, (2000)

- 広田尚亮, 小沢賢司, 鈴木陽一
169. 音声提示方向によるマガーク効果異聴率の変化. 電子情報通信学会技術報告, (2000)  
長田祐介, 鈴木陽一, 近藤公久
170. 仮想音源における定位遅延の弁別いきと頭部運動速度に関する考察. 電子情報通信学会技術報告, (2000)  
木村大助, 鈴木陽一
171. 状態フィードバック制御に基づく音響インテンシティに着目した反射音抑圧手法. 電子情報通信学会技術報告, (2000)  
高橋弘宜, 鈴木陽一, 高根昭一, 浅野太
172. 個人差補正の精度がバイノーラル再生に及ぼす影響について. 音講論, (2000)  
広田尚亮, 小沢賢司, 鈴木陽一
173. 音声と映像の空間的分離がマガーク効果に及ぼす影響に関する考察. 音講論, (2000)  
長田祐介, 鈴木陽一, 近藤公久
174. 合成映像に対する時間差とレベル差の影響. 音講論, (2000)  
播摩敏雄, 鈴木陽一, 曾根敏夫
175. 聴覚臨場感に及ぼす視覚情報の影響. 音講論, (2000)  
小沢賢司, 大竹聡, 鈴木陽一, 曾根敏夫
176. 臨場感を構成する聴覚要因. 音講論, (2000)  
小沢賢司, 中条好洋, 鈴木陽一, 曾根敏夫
177. 水平面内に定位させた純音と周波数変調音による探索非対称性. 音講論, (2000)  
阿瀬見典昭, 杉田陽一, 鈴木陽一, 曾根敏夫
178. 頭部運動に対する音像移動遅延の検知限と弁別しきい. 音講論, (2000)  
木村大助, 鈴木陽一, KIM H-Y
179. 若年者と高齢者の単語親密度の差について. 音講論, (2000)  
佐藤逸人, 佐藤洋, 鈴木陽一, 天野成昭, 近藤公久
180. fMRI を用いた聴覚探索課題時の脳活動に関する検討. 音講論, (2000)  
阿瀬見典昭, 杉田陽一, 鈴木陽一
181. 音響インテンシティに着目した状態フィードバック制御に基づく反射音抑圧手法の提案. 音講論, (2000)  
高橋弘宜, 鈴木陽一, 高根昭一, 浅野太
182. 状態フィードバック制御を用いた壁面吸音特性の制御手法に関する考察. 音講論, (2000)  
高橋弘宜, 鈴木陽一, 浅野太, 高根昭一
183. 仮想球モデルに基づくバイノーラル聴覚ディスプレイの精度に関する検討. 音講論, (2000)  
高根昭一, 鈴木陽一, 宮島徹, 曾根敏夫
184. 聴覚ディスプレイの動作遅れ時間が音像知覚に及ぼす影響. 電子情報通信学会技術報告, (2001)  
木村大助, 鈴木陽一
185. 時変全域通過フィルタを用いた音楽信号用電子透かしの提案. 電子情報通信学会技術報告, (2001)  
西村竜一, 鈴木真奈美, 鈴木陽一
186. 音像定位に頭部運動が及ぼす影響に関する考察. 電子情報通信学会技術報告, (2001)  
木村大助, 鈴木陽一

187. 共通極・零モデルに基づく頭部伝達関数の新しい補間手法に関する検討. 電子情報通信学会技術報告, (2001)  
渡辺貫治, 高根昭一, 鈴木陽一
188. 時系列音の群化知覚における文脈効果. 電子情報通信学会技術報告, (2001)  
黒沢智幸, 西村竜一, 鈴木陽一
189. 聴覚情報が自己運動感覚に及ぼす影響に関する考察. 電子情報通信学会技術報告, (2001)  
長田祐介, 坂本修一, 鈴木陽一, 行場次朗
190. 共通極・零モデルのパラメータに着目した頭部伝達関数の補間手法に関する検討. 音講論, (2001)  
渡辺貫治, 高根昭一, 鈴木陽一
191. 上半球における全方向の頭部伝達関数のデータベース. 音講論, (2001)  
高根昭一, 新井大輔, 宮島徹, 渡辺貫治, 鈴木陽一, 曾根敏夫
192. 共通極・零モデルに基づく頭部伝達関数の補間手法に関する検討. 音講論, (2001)  
渡辺貫治, 高根昭一, 鈴木陽一
193. 時系列音の群化知覚における多義性と文脈効果について. 音講論, (2001)  
黒沢智幸, 西村竜一, 鈴木陽一
194. 仮想球モデルに基づく聴覚ディスプレイシステムの開発に関する基礎的検討. 音講論, (2001)  
高橋秀介, 高根昭一, 鈴木陽一
195. バイノーラル再生における個人差補正の精度と主観評価値の関係. 音講論, (2001)  
広田尚亮, 小沢賢司, 鈴木陽一
196. 高周波数帯域における位相回転の検知に関する基礎的検討. 音講論, (2001)  
鈴木真奈美, 西村竜一, 鈴木陽一
197. ヘッドホン逆特性における個人性がバイノーラル再生に及ぼす影響. 音講論, (2001)  
広田尚亮, 小沢賢司, 鈴木陽一
198. 親密度を統制した単語了解度試験に単語連想が及ぼす影響. 音講論, (2001)  
坂本修一, 鈴木陽一, 天野成昭, 近藤公久
199. fMRI を用いた純音と狭帯域雑音間の探索非対称性の分析. 音講論, (2001)  
阿瀬見典昭, 杉田陽一, 鈴木陽一
200. マガーク効果と腹話術効果との関連に関する一検討. 音講論, (2001)  
長田祐介, 鈴木陽一, 近藤公久
201. 音圧レベル差を制御した合成音像による2次元音像定位. 音講論, (2001)  
降矢龍浩, 小沢賢司, 鈴木陽一
202. エコー拡散透かし手法における音質と埋め込み容量に関する検討. 電子情報通信学会技術報告, (2002)  
KO B-S, 西村竜一, 鈴木陽一
203. 目標音のラウドネスが純音・狭帯域雑音間の探索非対称性に及ぼす影響. 電子情報通信学会技術報告, (2002)  
佐瀬真人, 阿瀬見典昭, 鈴木陽一, 杉田陽一
204. 仮想球モデル聴覚ディスプレイ(ADVISE)の基礎的実時間システムの開発. 電子情報通信学会技術報告, (2002)  
高根昭一, 高橋秀介, 鈴木陽一, 宮島徹

205. 移動仮想音源の動きが自己運動感覚に及ぼす影響について. 電子情報通信学会技術報告, (2002)  
鈴木史彦, 坂本修一, 鈴木陽一, 行場次朗
206. 難聴者の VCV 音節聴取における視覚情報の影響に関する検討. 電子情報通信学会技術報告, (2002)  
串岡洋一, 坂本修一, 鈴木陽一
207. 音楽信号における位相変化の安定性に関する検討. 音講論, (2002)  
西村竜一, 鈴木陽一
208. Kirchhoff-Helmholtz 積分方程式に着目した状態フィードバック制御による反射音抑圧手法の提案. 音講論, (2002)  
高橋弘宜, 鈴木陽一, 高根昭一, 浅野太
209. PN 系列を用いたエコー拡散透かし手法の提案. 音講論, (2002)  
KO B-S, 西村竜一, 鈴木陽一
210. スピーカの見込み角が合成音像の 2 次元定位に及ぼす影響 音圧レベル差を制御した合成音像による 2 次元音像定位 第 2 報. 音講論, (2002)  
降矢龍浩, 小沢賢司, 鈴木陽一
211. 聴覚探索の反応時間とその非対称性に目標刺激のラウドネスが及ぼす影響. 音講論, (2002)  
佐瀬真人, 阿瀬見典昭, 鈴木陽一, 杉田陽一
212. 周期的位相回転による音楽信号用電子透かしのブラインド検出手法に関する検討. 音講論, (2002)  
菌田光太郎, 西村竜一, 鈴木陽一
213. カーオーディオイコライザの特性設定に関する考察. 音講論, (2002)  
富田敬史, 柴昭弘, 小沢賢司, 伊勢友彦, 鈴木陽一
214. 繰り返し聴取が音楽信号の位相回転に対する検知限に及ぼす影響. 音講論, (2002)  
高橋晃, 西村竜一, 鈴木陽一
215. 音声提示方向によるマガーク効果異聴率の変化と単音節明瞭度の関連に関する一検討. 音講論, (2002)  
三島啓司, 坂本修一, 鈴木陽一, 近藤公久
216. 補聴における Dichotic Listening の積極的活用の可能性について. 音講論, (2002)  
川瀬哲明, 小林俊光, 坂本修一, 鈴木陽一
217. 伝国の杜 置賜文化ホールの音響特性および運用状況. 音講論, (2002)  
福山忠雄, 土屋裕造, 鈴木陽一, 斎藤文孝, 曾根敏夫
218. 耳内マイクを用いた補聴器のフィードバック伝達関数の予測手法に関する一考察. 音講論, (2002)  
中尾勝也, 西村竜一, 鈴木陽一
219. ヘッドホンにおける個人性を加味した FEC 特性の検証. 電子情報通信学会技術報告, (2003)  
渋谷亮輔, 西村竜一, 鈴木陽一
220. 周期的位相変調法を用いた透かし情報の多重化に関する検討. 電子情報通信学会技術報告, (2003)  
高橋晃, 西村竜一, 鈴木陽一
221. 高調波複合音における位相変調の検知限. 音講論, (2003)  
SEK A, T. MASHIKO, R. NISHIMUSRA, Y. SUZUKI

222. 騒音による音色の劣化を補正する手法の性能比較-カーオーディオイコライザの特性設定に関する考察 第2報-. 音講論, (2003)  
富田敬史, 小沢賢司, 伊勢友彦, 鈴木陽一
223. ヘッドホンの自由空間等価特性(FEC)の個人性. 音講論, (2003)  
岩谷幸雄, 渋谷亮輔, 鈴木陽一
224. 難聴者の単語理解度試験における親密度の影響. 音講論, (2003)  
坂本修一, 鈴木陽一, 天野成昭, 近藤公久
225. ステレオ音楽信号における周期的位相変調の検知限に関する検討. 音講論, (2003)  
高橋孝仁, 高橋晃, 西村竜一, 鈴木陽一
226. 振幅圧縮型補聴処理における包絡線強調の有効性に関する検討. 音講論, (2003)  
黒沢智幸, 西村竜一, 鈴木陽一
227. エコー拡散法を用いた電子透かし信号への不可逆圧縮の影響. 音講論, (2003)  
高橋弘宜, 西村竜一, 鈴木陽一
228. ポリエステル繊維不織布を用いた吸音クサビの試作とその音響性能. 音講論, (2003)  
島田秀彦, 中井克己, 斎藤文孝, 鈴木陽一
229. チャンネル間位相差を利用した周期的位相変調法のブラインド検出. 音講論, (2003)  
高橋晃, 西村竜一, 鈴木陽一
230. 多点拘束ビームフォーミングアルゴリズムにおける行列構成法の再検討. 音講論, (2003)  
西村竜一, 鈴木陽一
231. 仮想音源定位におけるシステム遅延の検知限に関する実験的検討. 音講論, (2003)  
佐々木寿幸, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
232. 音源の視認性が音環境のラウドネス評価に与える影響の検討. 音講論, (2003)  
安倍幸治, 小沢賢司, 鈴木陽一, 曾根敏夫
233. トレリス符号を用いた周期的位相変調による音楽用電子透かしシステムの提案. 音講論, (2003)  
高橋晃, 西村竜一, 鈴木陽一
234. 直線状移動仮想音源が直線状自己運動感覚に与える影響について. 音講論, (2003)  
鈴木史彦, 坂本修一, 鈴木陽一, 行場次朗
235. 単語理解度における親密度と SN 比の相補関係. 音講論, (2003)  
岩岡直樹, 坂本修一, 鈴木陽一, 天野成昭, 近藤公久
236. 純音・狭帯域雑音間の探索非対称性に対する計算モデルの提案. 音講論, (2003)  
阿瀬見典昭, 鈴木陽一, 杉田陽一, かけひ一彦
237. 難聴者の VCV 音節聴取時における読話情報の影響に関する一考察. 音講論, (2003)  
串岡洋一, 坂本修一, 鈴木陽一
238. ダイオティック受聴における日本語音声と時間反転声間の探索非対称性に関する一考察. 音講論, (2003)  
阿瀬見典昭, 杉田陽一, 鈴木陽一
239. 通常音声と時間反転音声の数え上げによる音声群化特性の検討. 音講論, (2003)  
阿瀬見典昭, 鈴木陽一, 杉田陽一
240. サブバンド分解を用いたエコー拡散に基づく透かし埋め込み手法の提案. 音講論, (2003)  
KO B-S, 西村竜一, 鈴木陽一
241. 鼓膜位置において録音したバイノーラル録音・再生に関する個人性補正法. 音講論, (2003)

- 小沢賢司, 長倉和也, 筒井健介, 鈴木陽一
242. 視聴覚同時判断における距離補完効果(YS 効果)について. 音講論, (2003)  
鈴木陽一, 杉田陽一
243. 1 ビットオーディオ音響秘密分散法における分散情報の有意味音化. 電子情報通信学会技術報告, (2004)  
藤田倫弘, 西村竜一, 鈴木陽一
244. 両耳分離聴が高齢者の音声明瞭度と方向知覚に与える影響. 電子情報通信学会技術報告, (2004)  
村瀬敦信, 中島史絵, 坂本修一, 鈴木陽一, 川瀬哲明, 小林俊光
245. バイノーラル補正における音場に関する拘束条件の解除法の提案. 電子情報通信学会技術報告, (2004)  
筒井健介, 小沢賢司, 鈴木陽一
246. 定位感に基づく個人化頭部伝達関数の勝抜き戦選択. 電子情報通信学会技術報告, (2004)  
西塔宏二, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
247. 難聴者における VCV 音節聴取時の読唇情報の影響. 電子情報通信学会技術報告, (2004)  
坂本修一, 串岡洋一, 鈴木陽一
248. 視聴覚刺激の移動方向が自己運動方向知覚に与える影響. 電子情報通信学会技術報告, (2004)  
斎藤英之, 坂本修一, 鈴木陽一, 行場次朗
249. 聴覚を知って補聴器を作る. 電子情報通信学会技術報告, (2004)  
鈴木陽一
250. 高能率符号化音における劣化知覚の個人差と音源間差の検討. 音講論, (2004)  
末永司, 西村竜一, 鈴木陽一
251. 聴覚特性を考慮した音響電子透かし. 音講論, (2004)  
西村竜一, 鈴木陽一
252. 視覚障害者における聴覚ディスプレイによる音源位置同定訓練の効果. 音講論, (2004)  
大内誠, 岩谷幸雄, 鈴木陽一, 棟方哲弥
253. 実測した HRIR からの大局的 ITD 算出手法の提案. 音講論, (2004)  
豊田将志, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
254. 先行母音のマスクングに着目した両耳分離補聴とその効果. 音講論, (2004)  
村瀬敦信, 中島史絵, 坂本修一, 鈴木陽一, 川瀬哲明, 小林俊光
255. 話速変換時の音声伸長量とポーズ長が文章了解度に及ぼす影響. 音講論, (2004)  
田中章浩, 坂本修一, 鈴木陽一
256. ポリエステル繊維不織布を用いた無響室の試作とその音響性能. 音講論, (2004)  
中井克己, 島田秀彦, 斎藤文孝, 鈴木陽一
257. 狭帯域雑音における周期的位相変調の検知限. 音講論, (2004)  
高橋孝仁, 西村竜一, 鈴木陽一
258. 親密度を考慮した単語了解度とバイモーラ頻度の関係. 音講論, (2004)  
坂本修一, 天野成昭, 鈴木陽一, 近藤公久
259. 対数スケーリングによる電子透かしのピッチ変換耐性強化. 音講論, (2004)  
KO B-S, 西村竜一, 鈴木陽一
260. バイノーラル補正における音場に関する拘束条件の解除法. 音講論, (2004)

- 筒井健介, 小沢賢司, 鈴木陽一
261. 移動音像の定位感に基づく聴覚ディスプレイの個人化. 音講論, (2004)  
西塔宏二, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
262. 1 ビットオーディオを対象とした音響秘密分散法の提案. 音講論, (2004)  
藤田倫弘, 西村竜一, 鈴木陽一
263. 勝ち抜き戦方式による個人化頭部伝達関数の選択. 音講論, (2004)  
岩谷幸雄, 西塔宏二, 鈴木陽一
264. 単語親密度と SN 比を制御した単語了解度試験. 音講論, (2004)  
岩岡直樹, 坂本修一, 鈴木陽一, 天野成昭, 近藤公久
265. 先行母音のホルマント周波数に応じた両耳分離補聴分割周波数の検討. 音講論, (2004)  
村瀬敦信, 坂本修一, 鈴木陽一, 川瀬哲明, 小林俊光
266. 両耳分離補聴時の帯域分割周波数の違いが音像定位に与える影響. 音講論, (2004)  
中島史絵, 村瀬敦信, 坂本修一, 鈴木陽一, 川瀬哲明, 小林俊光
267. 補聴器におけるフィードバック伝達関数の伝送行列解析. 音講論, (2004)  
中尾勝也, 西村竜一, 鈴木陽一
268. 話速変換音声聴取に音声伸長量とポーズ長が及ぼす影響. 電子情報通信学会技術報告,  
(2005)  
田中章浩, 坂本修一, 鈴木陽一
269. 3 次元聴覚ディスプレイを用いた聴覚ゲーム練習の転移効果-実音源定位課題と会話時の  
Face contact に及ぼす影響-. 電子情報通信学会技術報告, (2005)  
本多明生, 柴田寛, 行場次朗, 西塔宏二, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
270. 3 次元聴覚ディスプレイを用いた聴覚ゲーム練習の転移効果-実音源定位課題と衝突物体回  
避課題に及ぼす影響-. 電子情報通信学会技術報告, (2005)  
本多明生, 柴田寛, 行場次朗, 西塔宏二, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
271. 視聴覚情報提示時の自己運動方向知覚に関する検討. 電子情報通信学会技術報告, (2005)  
坂本修一, 斎藤英之, 鈴木陽一, 行場次朗
272. 高精度仮想聴覚ディスプレイの構築とその視覚障害者応用. 電子情報通信学会技術報告,  
(2005)  
鈴木陽一, 岩谷幸雄, 大内誠
273. 頭部運動と聴覚ディスプレイのシステム遅延の関係に関する一考察. 電子情報通信学会技  
術報告, (2005)  
矢入聡, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
274. 移動音源を用いた聴覚による速度見越し試験に関する一考察. 電子情報通信学会技術報告,  
(2005)  
小笠原亮, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
275. 両耳受聴のための多点拘束ビームフォーミングアルゴリズム. 電子情報通信学会技術報告,  
(2005)  
西村竜一, 鈴木陽一
276. 話速変換単語音声聴取に非同期話者映像がもたらす影響. 電子情報通信学会技術報告,  
(2005)  
津村光美, 田中章浩, 坂本修一, 鈴木陽一
277. 測定した近距離 HRTF による輻輳角効果の検討. 電子情報通信学会技術報告, (2005)



- KANG DaeGee, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
278. 音空間知覚と仮想聴覚ディスプレイ. 電子情報通信学会技術報告, (2005)  
岩谷幸雄, 鈴木陽一
279. ヘッドホンの FEC 特性が音像定位に与える影響. 音講論, (2005)  
渋谷亮輔, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
280. 高齢者の話速変換音声聴取に音声伸長量とポーズ長が及ぼす影響. 音講論, (2005)  
田中章浩, 坂本修一, 鈴木陽一
281. 標本値の微分に基づく周期的位相変調電子透かしのブラインド検出手法. 音講論, (2005)  
西村竜一, 藺田光太郎, 鈴木陽一
282. 視覚刺激への注意の有無が視聴覚情報提示時の自己運動方向知覚に与える影響. 音講論,  
(2005)  
斎藤英之, 坂本修一, 鈴木陽一, 行場次朗
283. 語音聴取域値に基づいた FW03 単語音声の聴感レベル校正. 音講論, (2005)  
坂本修一, 吉川忠祐, 鈴木陽一, 天野成昭, 近藤公久
284. 圧電素子を用いた広帯域出力骨伝導デバイスの開発. 音講論, (2005)  
田村光男, 阿部善幸, 坂本修一, 阿部正英, 鈴木陽一, 川又政征
285. 身体特微量に基づく両耳間時間差角度依存性の予測と音像定位への効果. 音講論, (2005)  
渡辺貫治, 岩谷幸雄, 行場次朗, 高根昭一, 鈴木陽一
286. CoFIP 方式に基づく音楽信号用電子指紋システムの配信パッケージ小容量化. 音講論, (2005)  
藺田光太郎, 西村竜一, 鈴木陽一
287. 若者の娯楽音環境と聴力保護. 音講論, (2005)  
鈴木陽一, 斎藤文孝
288. [娯楽による音響暴露と聴力影響評価] 若者の娯楽音環境と聴力保護. 音講論, (2005)  
鈴木陽一, 斎藤文孝
289. 身体特微量に基づく両耳間時間差の予測. 音講論, (2005)  
渡辺貫治, 岩谷幸雄, 行場次朗, 鈴木陽一, 高根昭一
290. 話速変換による話者映像のずれが単語理解度に及ぼす影響. 音講論, (2005)  
津村光美, 田中章浩, 坂本修一, 鈴木陽一
291. 聴覚ディスプレイにおける頭部運動追従特性に関する一考察. 音講論, (2005)  
矢入聡, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
292. 定位感に基づいて個人化された聴覚ディスプレイによる音像定位. 音講論, (2005)  
西塔宏二, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
293. 2 刺激に微小な呈示時間差を持った輝度弁別 RT タスクの弁別特性を有する神経回路モデル.  
電子情報通信学会技術報告, (2006)  
岩泉亜希子, 二見亮弘, 松木英敏, 鈴木陽一
294. 両耳間レベル差の個人化が音像定位に及ぼす効果. 電子情報通信学会技術報告, (2006)  
渡辺貫治, 阿曾健司, 小澤賢司, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
295. 音声強調のための適応  $\beta$  order Generalized Spectral Subtraction 法. 電子情報通信学会技術報告,  
(2006)  
LI Junfeng, SAKAMOTO Shuichi, HONGO Satoshi, AKAGI Masato, SUZUKI Yôiti
296. ウェーブレット変換を用いた選択的両耳聴アルゴリズム-ウェーブレットパケット法の適用  
-. 電子情報通信学会技術報告, (2006)

- 本郷哲, 鈴木陽一
297. 単語親密度を考慮した単語了解度試験用 20 単語語表の構築. 音講論, (2006)  
吉川忠祐, 坂本修一, 天野成昭, 鈴木陽一, 近藤公久
298. 単語音声と話者映像のずれが視聴覚統合に及ぼす影響. 音講論, (2006)  
津村光美, 田中章浩, 坂本修一, 鈴木陽一
299. 複素ウェーブレット変換を用いた選択的両耳聴アルゴリズムの検討. 音講論, (2006)  
本郷哲, 鈴木陽一
300. 身体特微量に基づく両耳間レベル差の予測. 音講論, (2006)  
渡邊貫治, 阿曾健司, 小澤賢司, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
301. アソシエーション分析を利用した音情報電子透かし. 音講論, (2006)  
佐々木直哉, 西村竜一, 鈴木陽一
302. 秘密共有分散に基づく CELP 音声秘話アルゴリズム. 音講論, (2006)  
藤田倫弘, 西村竜一, 鈴木陽一
303. 頭部伝達関数におけるピーク周波数の個人・角度依存性. 音講論, (2006)  
関本彩保, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
304. 両耳間相関の操作が音質評価に及ぼす影響. 音講論, (2006)  
高崎政久, 西村竜一, 鈴木陽一
305. 複素ウェーブレット変換を用いた選択的両耳聴アルゴリズム—分析パラメータとウェーブレットパケットの検討—. 音講論, (2006)  
佐藤渉, 本郷哲, 鈴木陽一
306. 音像定位のスペクトラルキュー - 身体特微量に基づく両耳間レベル差の予測 (第 2 報) -. 音講論, (2006)  
渡邊貫治, 阿曾健司, 小澤賢司, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
307. 聴覚ディスプレイのシステム遅延が定位に与える影響. 音講論, (2006)  
矢入聡, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
308. 聴覚と視覚・体性感覚のマルチモーダル知覚と VR 応用. 日本バーチャルリアリティ学会論文集, (2006)  
鈴木陽一
309. 多数マイクロホンによるバーチャル音空間収音・再生手法の検討. 電子情報通信学会技術報告, (2007)  
坂本修一, 本郷哲, 門井涼, 鈴木陽一
310. 定位感評価に基づく頭部伝達関数個人化における音像軌道面の影響. 電子情報通信学会技術報告, (2007)  
矢入聡, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
311. 適応フィルタを用いた 2 入力 2 出力音声強調アルゴリズムの検討. 電子情報通信学会技術報告, (2007)  
佐々木愛, 坂本修一, 本郷哲, LI Junfeng, 鈴木陽一
312. 単語知覚における話者映像と時間伸長音声のずれの検知限および許容限. 電子情報通信学会技術報告, (2007)  
沼畑俊, 坂本修一, 田中章浩, 今井篤, 都木徹, 鈴木陽一
313. 音源定位学習における頭部運動とフィードバックの効果. 電子情報通信学会技術報告, (2007)

- 本多明生, 柴田寛, 日高聡太, 行場次朗, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
314. 自己運動の加速度変化に対応した周波数変化音提示が自己運動感におよぼす影響. 電子情報通信学会技術報告, (2007)  
瀬戸幹生, 坂本修一, 小林まおり, 櫻井研三, 行場次朗, 鈴木陽一
315. ウェーブレットパケット法による選択的両耳聴の検討. 音講論, (2007)  
本郷哲, 鈴木陽一
316. 頭部形状の頭部伝達関数への寄与に関する数値解析検討. 音講論, (2007)  
小笠原亮, 岩谷幸雄, 高根昭一, 鈴木陽一
317. 多数マイクロホンによる音空間収音再生手法の検討. 音講論, (2007)  
門井涼, 坂本修一, 本郷哲, 鈴木陽一
318. 音声符号化への MD 量子化の適用に関する基礎的検討. 音講論, (2007)  
魏浩石, 西村竜一, 伊藤彰則, 小林まおり, 鈴木陽一
319. 主観評価による頭部伝達関数個人化の定常性に関する一考察. 音講論, (2007)  
楊洋, 矢入聡, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
320. 部分的秘密分散を用いた秘話通信の明瞭度評価. 音講論, (2007)  
阿部俊一郎, 西村竜一, 鈴木陽一
321. 7, 8 モーラ単語理解度に対する音声伸長量と話者映像の影響. 音講論, (2007)  
沼畑俊, 坂本修一, 田中章浩, 鈴木陽一
322. 親密度別単語理解度試験用音声データセット 2007(FW07)の作成. 電子情報通信学会技術報告, (2008)  
近藤公久, 天野成昭, 坂本修一, 鈴木陽一
323. 1/10 縮尺模型実験用高精度ダミーヘッドの試作. 電子情報通信学会技術報告, (2008)  
吉村美智子, 岩谷幸雄, 齋藤文孝, 鈴木陽一
324. 運動誘発音により消失した視覚意識を復活させる短バースト音. 電子情報通信学会技術報告, (2008)  
柴田理瑛, 河地庸介, 河地庸介, 矢入聡, 岩谷幸雄, 行場次朗, 鈴木陽一
325. ウェーブレット変換を用いた選択的バイノーラル音声強調法の音質評価. 電子情報通信学会技術報告, (2008)  
佐藤渉, 本郷哲, 坂本修一, 鈴木陽一
326. 身体の運動方向が変化した場合の前庭覚と視覚のクロスモーダルな自己運動知覚. 電子情報通信学会技術報告, (2008)  
久保寺俊朗, 坂本修一, 鈴木陽一, 櫻井研三
327. 音声強調およびバイノーラル便益保持のための TS-BASE の評価. 電子情報通信学会技術報告, (2008)  
LI Junfeng, SAKAMOTO Shuichi, HONGO Satoshi, AKAGI Masato, SUZUKI Yôiti
328. 波面合成法を用いた近接三次元音場再生のシステム試作. 電子情報通信学会技術報告, (2008)  
木村敏幸, 山肩洋子, 勝本道哲, 岡本拓磨, 矢入聡, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
329. 周辺視野における視聴覚の空間的知覚に関する研究. 電子情報通信学会技術報告, (2008)  
KANG DaeGee, 宮内良太, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
330. 「臨場感」に関するイメージ調査. 電子情報通信学会技術報告, (2008)  
吉田和博, 寺本渉, 浅井暢子, 日高聡太, 行場次朗, 鈴木陽一

331. 視聴覚音声情報における知覚的非同期補正. 電子情報通信学会技術報告, (2008)  
浅川香, 田中章浩, 今井久登, 坂本修一, 鈴木陽一
332. 前庭刺激の加速度変化に応じた周波数および振幅変化音提示が自己運動知覚に与える影響. 電子情報通信学会技術報告, (2008)  
坂本修一, 瀬戸幹生, 小林まおり, 岩谷幸雄, 櫻井研三, 行場次朗, 鈴木陽一
333. 視覚運動物体の視覚的持続(Visible persistence)に聴覚情報変化が及ぼす影響. 電子情報通信学会技術報告, (2008)  
日高聡太, 寺本渉, 行場次朗, 鈴木陽一
334. 頭部伝達関数における耳介形状の寄与に関する数値解析. 音講論, (2008)  
関本彩保, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
335. A Two-Stage Binaural Speech Enhancement Approach with Adaptive Filter and Wiener Filter: Theory, Implementation and Evaluation. 音講論, (2008)  
李軍鋒, 坂本修一, 本郷哲, 赤木正人, 鈴木陽一
336. 話者映像と時間伸長単語音声のずれの検知限および許容限における加齢変化. 音講論, (2008)  
沼畑俊, 坂本修一, 田中章浩, 今井篤, 都木徹, 鈴木陽一
337. 刺激提示パターンが視聴覚同時性判断に及ぼす効果. 音講論, (2008)  
小林まおり, 坂本修一, 鈴木陽一
338. 適応フィルタと実数マスクフィルタを用いた2入力2出力音声強調法における空間情報保持特性. 音講論, (2008)  
佐々木愛, 坂本修一, 本郷哲, 鈴木陽一
339. 親密度別単語了解度試験用音声データセット 2007(FW07)の構築. 音講論, (2008)  
近藤公久, 天野成昭, 坂本修一, 鈴木陽一
340. Psychoacoustically-motivated adaptive beta-order generalized spectral subtraction based speech Intelligibility enhancement for cochlear implant patients. 音講論, (2008)  
李軍鋒, Jiang Hui, Fu Quanjie, 坂本修一, 本郷哲, 赤木正人, 鈴木陽一
341. 模型実験と幾何音響シミュレーションによるホール音響のハイブリッド可聴化. 音講論, (2008)  
大谷真, 岩谷幸雄, 齋藤文孝, 鈴木陽一, 山田祐生, 日高孝之
342. 雑音下における単語中のモーラ明瞭度: 親密度別単語了解度試験用音声データセット 2007 (FW07) による検討. 音講論, (2008)  
近藤公久, 天野成昭, 伊集院睦雄, 坂本修一, 鈴木陽一
343. 周波数の時間変化が聴覚の探索非対称性に与える影響. 音講論, (2008)  
藤井真治, 宮内良太, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
344. 指向性スピーカと波面合成法を用いた近接三次元音場再生システムの音源探査による実環境評価. 電子情報通信学会技術報告, (2009)  
木村敏幸, 山肩洋子, 勝本道哲, 岡本拓磨, 矢入聡, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
345. 背景音が3次元仮想音空間に与える聴感的影響. 電子情報通信学会技術報告, (2009)  
大谷真, 岩谷幸雄, 小林まおり, 矢入聡, 鈴木陽一, 千葉武尊
346. 包囲型マイクロホンアレイを用いた音源放射指向特性抽出に関する基礎的検討. 電子情報通信学会技術報告, (2009)  
岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一

347. SENZI のマイクロホン配置が音空間の再現精度に与える影響. 電子情報通信学会技術報告, (2009)  
小玉純一, 坂本修一, 本郷哲 岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
348. 臨場感の一般的理解-教育的背景の違いに基づく比較-. 電子情報通信学会技術報告, (2009)  
吉田和博, 寺本渉, 浅井暢子, 日高聡太, 坂本修一, 行場次朗, 鈴木陽一
349. 指向性スピーカと波面合成法を用いた近接三次元音場再生のシステム試作. 音講論, (2009)  
木村敏幸, 山肩洋子, 勝本道哲, 岡本拓磨, 矢入聡, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
350. 連続聴効果に妨害音のタイミングの予測性が及ぼす影響. 音講論, (2009)  
小林まおり, 柏野牧夫, 鈴木陽一
351. 刺激の立ち上がり・立ち下りが視聴覚同時性知覚に及ぼす効果. 音講論, (2009)  
小林まおり, 坂本修一, 鈴木陽一
352. 視聴覚刺激の提示位置による視聴覚知覚空間のずれに関する研究. 音講論, (2009)  
姜大基, 宮内 良太, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
353. 観測信号の白色化による線形予測ブラインド残響除去の高精度化. 音講論, (2009)  
岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
354. ASURA の形状とマイクロホン配置の数値的検討. 音講論, (2009)  
小玉純一, 坂本修一, 大谷真, 本郷 哲, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
355. 実測値に基づく頭部伝達関数の第 1 ノッチ周波数の方向依存性. 音講論, (2009)  
岩谷幸雄, 大谷真, 曲谷地哲, 鈴木陽一
356. 境界要素解析及び実測による実頭/個人擬似頭の頭部伝達関数の比較. 音講論, (2009)  
大谷真, 平原達也, 伊勢史郎, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
357. バイノーラル音声分離アルゴリズムの主観的性能評価実験. 音講論, (2009)  
菊地将輝, 本郷哲, 坂本修一, 鈴木陽一
358. 音場適用を考慮した簡易型単語了解度測定法の提案. 音講論, (2009)  
坂本修一, 佐藤洋, 鈴木陽一
359. 雑音下における音声明瞭度の刺激間差とその補正 -FW03 を用いた検討-. 音講論, (2009)  
近藤 公久, 坂本修一, 天野成昭, 鈴木陽一
360. 事前提示刺激の視聴覚非同期量のばらつきが音声の視聴覚同時性知覚に与える影響. 音講論, (2009)  
浅川香, 田中章浩, 坂本修一, 鈴木陽一
361. Subjective Evaluations of TS-BASE/WF for Speech Enhancement and Sound Localization. 音講論, (2009)  
李軍鋒, 坂本修一, 本郷哲, 赤木正人, 鈴木陽一
362. 複素ウェーブレット変換を用いた柔係数決定型 2 段階バイノーラル音声強調法の検討. 音講論, (2009)  
本郷哲, 坂本修一, 李軍鋒, 鈴木陽一
363. 周辺視野における視聴覚刺激の空間的な整合性. 音講論, (2009)  
姜大基, 宮内 良太, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
364. 高次アンビソニクス型音場収録のための 121ch 球状マイクロホンアレイの構築. 電子情報通信学会技術報告, (2010)  
岡本拓磨, 岩谷幸雄, 坂本修一, 鈴木陽一
365. 252ch 等密度球状アレイを用いた 3 次元音場情報取得システム. 電子情報通信学会技術報告,

(2010)

坂本修一, 小玉純一, 本郷哲, 岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一

366. 指向性スピーカと波面合成法を用いた近接三次元音場再生システムの性能比較評価. 電子情報通信学会技術報告, (2010)

木村敏幸, 山肩洋子, 勝本道哲, 岡本拓磨, 矢入聡, 岩谷幸雄, 鈴木陽一

367. 視覚と前庭覚のクロスモーダルな随伴性残効について. 電子情報通信学会技術報告, (2010)

櫻井研三, 鈴木結花, 坂本修一, 行場次朗, 鈴木陽一

368. 頭部伝達関数における耳介表面音圧の影響. 電子情報通信学会技術報告, (2010)

大谷真, 岩谷幸雄, 鈴木陽一, 伊東一典

369. 改良型縮尺 12 面体音源による音響模型実験 -その 1: 新音源の特性と室内音響評価指標測定結果-. 音講論, (2010)

鈴木和憲, 山田祐生, 日高孝之, 鈴木陽一, 田口和典

370. 改良型縮尺 12 面体音源による音響模型実験 -その 2: 可聴化に関する検討-. 音講論, (2010)

山田祐生, 鈴木和憲, 日高孝之, 鈴木陽一

371. 聴覚のタウ効果が生じる音脈の時間パターンに関する検討. 電子情報通信学会技術報告, (2011)

宮内良太, 岩谷幸雄, 鈴木陽一

372. 視聴覚コンテンツの臨場感と迫真性. 電子情報通信学会技術報告, (2011)

鈴木陽一, 寺本渉, 吉田和博, 浅井暢子, 日高聡太, 坂本修一, 岩谷幸雄, 行場次朗

373. 頭部運動を伴う音像定位課題における音像移動の検知. 電子情報通信学会技術報告, (2011)

大場景翔, 岩谷幸雄, 本多明生, 鈴木陽一

374. 頭部回転に頑健なトランスオーラル系のための 3 次元ラウドスピーカ配置. 電子情報通信学会技術報告, (2011)

HAN Cheolsu, 岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一

375. 視聴覚コンテンツの臨場感と迫真性に関する実験的研究~シンバル演奏場面における視野制限と音圧レベルの効果~. 電子情報通信学会技術報告, (2011)

神田敬幸, 本多明生, 柴田寛, 柴田寛, 浅井暢子, 寺本渉, 坂本修一, 岩谷幸雄, 行場次朗, 鈴木陽一

376. 多チャンネルスピーカアレイによる加算型スポット秘話技術. 電子情報通信学会技術報告, (2011)

岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一

377. 直線・等加速度自己運動による音空間の歪み. 音講論, (2011)

古根史雅, 寺本渉, 坂本修一, 行場次朗, 鈴木陽一

378. 多様な室内残響下における音源放射指向特性と残響成分の分析. 音講論, (2011)

岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一, 丹羽健太, 阪内澄宇, 羽田陽一

379. 音空間情報收音システム SENZI の 252ch リアルタイム実現にむけて. 音講論, (2011)

松永純平, 坂本修一, 本郷哲, 岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一

380. HRTF のノッチ周波数における耳介モードの系統的变化. 音講論, (2011)

大谷真, 岩谷幸雄, 鈴木陽一, 伊東一典

381. 模擬騒音環境下における迅速な単語了解度測定方法の検討: 選択技法と書き取り法との比較. 音講論, (2011)

佐藤洋, 坂本修一, 鈴木陽一, 天野成昭, 近藤公久

382. 音脈の時間パターンが音の定位知覚に及ぼす影響. 音講論, (2011)  
宮内良太, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
383. 頭部位置ずれに頑健な動的クロストークキャンセラに関する考察. 音講論, (2011)  
韓喆洙, 岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
384. 音像定位課題における頭部運動速度が音像移動検知限に及ぼす効果. 音講論, (2011)  
大場景翔, 岩谷幸雄, 本多明夫, 鈴木陽一
385. 仰角によりパワーが単調に変化する帯域の操作による正中面音像定位. 音講論, (2011)  
曲谷地哲, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
386. 正中面内で平均化した頭部伝達関数からの相対レベルの変化と仰角定位との関係. 音講論,  
(2011)  
曲谷地哲, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
387. 多チャンネルスピーカアレイによる音響プライバシーエリア形成のマスクに関する検討. 音  
講論, (2011)  
岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
388. 3次元音情報收音システム SENZI の音空間再現精度にマイクロホンの SN 比が与える影響.  
音講論, (2011)  
松永純平, 坂本修一, 本郷哲, 岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
389. Ambisonic decoder including near-field corrections for irregular loudspeaker arrays. 音講論, (2011)  
TREVINO Jorge, 岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
390. 音響格子ガスオートマトン法による正弦波音の3次元伝搬解析. 音講論, (2011)  
竹内智晴, 岩谷幸雄, 大谷真, 土屋隆生, 松岡浩, 鈴木陽一
391. 252ch リアルタイム音空間情報收音再生システム SENZI の音空間再現精度改善手法の検討.  
電子情報通信学会技術報告, (2012)  
坂本修一, 松永純平, 本郷哲, 岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
392. 頭部回転に頑健なクロストークキャンセラのためのラウドスピーカ配置. 電子情報通信学  
会技術報告, (2012)  
韓喆洙, 岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
393. 振幅変調方式のラジオシステムにおけるデジタル音響信号への情報ハイディングの検討.  
電子情報通信学会技術報告, (2012)  
NGO Nhut Minh, UNOKI Masashi, MIYAUCHI Ryota, SUZUKI Yôiti
394. 境界音場制御手法における内部 Dirichlet 問題の固有関数に着目した制御点削減法. 音講論,  
(2012)  
伊勢友彦, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
395. 屋外における災害情報伝達拡声系の高度化プロジェクト. 音講論, (2012)  
齋藤文孝, 崔正烈, 佐藤逸人, 森本政之, 菅木禎史, 宇佐川毅, 岩谷幸雄, 坂本修一,  
鈴木陽一, 青木雅彦, 高島和博
396. 両耳誤差と条件数に基づく頭部回転に頑健なクロストークキャンセラの検討. 音講論,  
(2012)  
韓喆洙, 岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
397. Extrapolation of Ambisonic recordings from stereo sources. 音講論, (2012)  
TREVINO Jorge, 岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
398. 円筒状マイクロホン・スピーカアレイのための波面再構成フィルタ. 音講論, (2012)

- 小山翔一, 古家賢一, 日和崎祐介, 羽田陽一, 鈴木陽一
399. 縮尺模型音場の可聴化に関する検討 -複数音源への拡張-. 音講論, (2012)  
山田祐生, 鈴木和憲, 日高孝之, 鈴木陽一
400. ロードマップ作成から見えてきた情報処理研究分野の将来. 電子情報通信学会技術報告, (2013)  
馬場口登, 鈴木陽一, 越前功, 日置尋久, 青木直史
401. 屋外拡声系による音声了解度の評価とサイン音の開発-災害情報の屋外音声伝達性能の向上に関する技術開発-. 電子情報通信学会技術報告, (2013)  
崔正烈, 森本政之, 佐藤逸人, 坂本修一, 岩谷幸雄, 齋藤文孝, 鈴木陽一
402. 長距離伝搬サイン音の聴感評価と因子分析による印象評価. 電子情報通信学会技術報告, (2013)  
崔正烈, 増見洋治, 岩谷幸雄, 坂本修一, 齋藤文孝, 鈴木陽一
403. ステレオ画像聴取者センシングの開発と3次元聴覚ディスプレイへの導入. 電子情報通信学会技術報告, (2013)  
伊藤敦郎, 伊藤敦郎, 鈴木陽一, 伊藤康一, 大内誠, 坂本修一, 青木孝文, 岩谷幸雄
404. 親密度を統制した4連単語によるロングパスエコー下の了解度. 電子情報通信学会技術報告, (2013)  
虎井駿, 崔正烈, 坂本修一, 佐藤逸人, 森本政之, 鈴木陽一
405. 無意味3連音節を用いた音素別明瞭度における話者映像の寄与の分析. 電子情報通信学会技術報告, (2013)  
長谷川玄, 坂本修一, 阿部享, 大谷智子, 鈴木陽一, 川瀬哲明
406. 頭部運動表示フィードバックの無意識頭部運動抑制効果. 電子情報通信学会技術報告, (2013)  
中井彬人, 矢入聡, 鈴木陽一, 本郷哲, 坂本修一
407. 津波警報音の空気伝搬特性の聴感評価. 音講論, (2013)  
増見洋治, 崔正烈, 安倍卓也, 岩谷幸雄, 齋藤文孝, 坂本修一, 鈴木陽一
408. 頭部運動中の主観的正面における音像定位弁別限. 音講論, (2013)  
大場景翔, 鈴木陽一, 坂本修一, 本多明生, 岩谷幸雄
409. Scalable encoding of sound field recordings made with cylindrical microphone arrays. 音講論, (2013)  
TREVINO Jorge, 小山翔一, 坂本修一, 鈴木陽一
410. 頭部運動感応型3次元聴覚ディスプレイへの立体画像聴取者センシングの導入. 音講論, (2013)  
伊藤敦郎, 酒井修二, 大内誠, 伊藤康一, 鈴木陽一, 坂本修一, 青木孝文, 岩谷幸雄
411. ロングパスエコー環境下における親密度を統制した四連単語了解度試験. 音講論, (2013)  
崔正烈, 虎井駿, 坂本修一, 佐藤逸人, 森本政之, 鈴木陽一
412. ロングパスエコーが防災無線の明瞭度に及ぼす影響 -屋外における文章了解度試験による検討-. 音講論, (2013)  
山田祐生, 鈴木和憲, 日高孝之, 鈴木陽一
413. 屋外での音響伝達特性の測定とシミュレーションによる予測. 音講論, (2013)  
高島和博, 青木雅彦, 鶴秀生, 光枝太一, 小池宏寿, 佐藤逸人, 齋藤文孝, 森本政之, 鈴木陽一



414. スピーカアレイを用いた屋外環境における指向性制御の試み. 音講論, (2013)  
宇佐川毅, 阿蘇品萌, 苮木禎史, 崔正烈, 鈴木陽一
415. 長距離伝搬に頑健な津波警報候補音の作成・印象評価と最終候補の選定. 音講論, (2013)  
崔正烈, 増見洋治, 岩谷幸雄, 安倍卓也, 勝本道哲, 坂本修一, 齋藤文孝, 鈴木陽一
416. 3D cylindrical Ambisonics: Encoding sound field information using the cylindrical harmonic functions. 音講論, (2013)  
TREVINO Jorge, 小山翔一, 坂本修一, 鈴木陽一
417. 円周配置スピーカによる動的トランスオーラル型聴覚ディスプレイの一構成法. 音講論, (2013)  
韓喆洙, 岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
418. SENZI アレイ係数ドメインにおける頭部伝達関数表現の試み. 音講論, (2013)  
佐藤祥来, 坂本修一, 鈴木陽一
419. 音声了解度による屋外拡声システムの評価—総務省平成 23 年度 3 次補正予算による技術開発—. 音講論, (2013)  
佐藤逸人, 崔正烈, 坂本修一, 森本政之, 鈴木陽一, 青木雅彦, 小池宏寿, 高島 和博, 鶴秀生, 光枝太一
420. 屋外における災害情報の伝達性能の向上を目指して—総務省平成 23 年度 3 次補正予算による技術開発—. 音講論, (2013)  
鈴木陽一, 崔正烈, 坂本修一, 森本政之, 宇佐川毅, 苮木禎史, 佐藤逸人, 岩谷幸雄, 青木雅彦, 小池宏寿, 高島和博, 鶴秀生
421. 調波ビーム成形適用における球状および円筒型マイクロホンアレイのロバスト性. 電子情報通信学会技術報告, (2014)  
TREVINO Jorge, KOYAMA Shoichi, SAKAMOTO Shuichi, SUZUKI Yôiti
422. 移動音源の球面調和関数符号化. 電子情報通信学会技術報告, (2014)  
TREVINO Jorge, OKAMOTO Takuma, IWAYA Yukio, SUZUKI Yôiti
423. バイノーラルレンダリングのための小型マイクロホンアレイにおける距離情報編集. 電子情報通信学会技術報告, (2014)  
SALVADOR Cesar, SAKAMOTO Shuichi, TREVINO Jorge, SUZUKI Yôiti
424. マルチモーダル音空間知覚過程から災害対応技術まで-音空間情報学に関する最近の研究成果から-. 電子情報通信学会技術報告, (2014)  
鈴木陽一, 坂本修一
425. 頭部伝達関数データセット記述の標準化を目指した SOFA:Spatially Oriented Format for Acoustics. 電子情報通信学会技術報告, (2014)  
岩谷幸雄, 渡邊貫治, MAJDAK Piotr, 鈴木陽一, 坂本修一, 高根昭一, 佐藤宗純
426. 音場再生システムにおける両耳間位置確認手がかりの測定. 電子情報通信学会技術報告, (2014)  
TREVINO Jorge, EPAIN Nicolas, JIN Craig, SAKAMOTO Shuichi, SUZUKI Yôiti
427. 単語間ポーズがロングパスエコー環境下の単語了解度に及ぼす影響. 電子情報通信学会技術報告, (2014)  
宮下知理, 崔正烈, 坂本修一, 森本政之, 鈴木陽一
428. 無関連な話者映像が音声系列再生課題に与える影響. 電子情報通信学会技術報告, (2014)  
虎井駿, 大谷智子, 坂本修一, 鈴木陽一

429. 受動回転中の主観的正面における音像定位弁別限. 電子情報通信学会技術報告, (2014)  
増見洋治, 本多明生, 鈴木陽一, 坂本修一
430. 話者映像が音声系列再生課題に与える影響. 電子情報通信学会技術報告, (2014)  
虎井駿, 大谷智子, 坂本修一, 鈴木陽一
431. 災害等非常時屋外拡声システムの設計・評価に関する学会技術指針の方向性. 音講論, (2014)  
鈴木陽一
432. ロングパスエコーが存在する音場における文章了解度と物理指標の関係. 音講論, (2014)  
宮川祐輔, 佐藤逸人, 森本政之, 鈴木陽一, 坂本修一
433. 口唇以外の話者映像情報が無意味 3 連音節を用いた音声明瞭度に与える影響. 音講論,  
(2014)  
長谷川玄, 坂本修一, 阿倍享, 大谷智子, 鈴木陽一, 川瀬哲明
434. SENZI アレイ係数ドメインでの補間による頭部回転への適応. 音講論, (2014)  
佐藤祥来, 坂本修一, TREVINO Jorge, 鈴木陽一
435. 単語了解度に基づく屋外拡声システムの最適音声提示タイミングの検討. 音講論, (2014)  
崔正烈, 宮下知理, 虎井駿, 坂本修一, 森本政之, 鈴木陽一, 苮木禎史
436. SENZI の実装精度がその再現音空間精度に与える影響. 音講論, (2014)  
和田祐人, 松永純平, 坂本修一, 鈴木陽一
437. Reproduced sound field measurements for a High-Order Ambisonic system of an irregular geometry.  
音講論, (2014)  
TREVINO Jorge, 岡本拓磨, 岩谷幸雄, 坂本修一, 鈴木陽一
438. 球面上ウェーブレットを用いた頭部伝達関数のコンパクトな表現. 電子情報通信学会技術  
報告, (2015)  
HU Shichao, TREVINO Jorge, SALVADOR Cesar, SAKAMOTO Shuichi, LI Junfeng,  
SUZUKI Yôiti
439. 球面調和解析に基づく複数領域音場再現法の 3 次元再現領域評価. 電子情報通信学会技術報  
告, (2015)  
清水拓, TREVINO Jorge, 坂本修一, 鈴木陽一, 伊勢友彦
440. 能動聴取原理に基づく高感性 3 次元音空間システムの開発. 電子情報通信学会技術報告,  
(2015)  
鈴木陽一, 坂本修一
441. 災害等非常時屋外拡声システムのあり方に関する規準案. 音講論, (2015)  
鈴木陽一, 佐藤洋
442. 音声により提示される系列再生課題に話者映像が与える影響. 音講論, (2015)  
虎井駿, 大谷智子, 坂本修一, 鈴木陽一
443. ロングパスエコー環境下の単語了解度における単語間ポーズの効果. 音講論, (2015)  
宮下知理, 崔正烈, 坂本修一, 森本政之, 鈴木陽一
444. 周波数振幅スペクトル上のノッチによる音色変化の検出限と弁別限. 音講論, (2015)  
北島周, 鈴木陽一, 坂本修一
445. 受動回転時の最小弁別角度に回転速度が及ぼす影響. 音講論, (2015)  
増見洋治, 鈴木陽一, 本多明生, 坂本修一
446. Separation of spatially-segregated sound sources using multiple spherical microphone arrays. 音講  
論, (2015)

- TREVINO Jorge, 坂本修一, 鈴木陽一
447. 球面調和解析に基づく複数領域音場合成アルゴリズムの提案. 音講論, (2015)  
清水拓, TREVINO Jorge, 坂本修一, 鈴木陽一
448. 252ch 球状マイクロホンアレイを用いた SENZI リアルタイムシステム. 音講論, (2015)  
和田祐人, 坂本修一, 鈴木陽一
449. 球面調和解析に基づく複数領域音場再現手法における高精度領域評価法の提案. 音講論, (2015)  
清水拓, TREVINO Jorge, 坂本修一, 鈴木陽一
450. A translation operator for the spherical harmonic expansion coefficients of sound fields. 音講論, (2015)  
TREVINO Jorge, 坂本修一, 鈴木陽一
451. 振動付加が 3D 映像コンテンツの高次感性評価に及ぼす影響. 電子情報通信学会技術報告, (2016)  
崔正烈, 高橋恵美, 柳生寛幸, 坂本修一, 大谷智子
452. ロングパスエコー下における既存の緊急速報を模した 4 連単語の了解度. 電子情報通信学会技術報告, (2016)  
崔正烈, 坂本修一, 田村祐揮, 鈴木陽一
453. 音源距離も考慮した音空間共有型 2 領域音場再現. 電子情報通信学会技術報告, (2016)  
清水拓, TREVINO Jorge, 坂本修一, 鈴木陽一, 伊勢友彦
454. 複数の球状マイクロフォンアレイによる音源分離性能の基礎的検討. 電子情報通信学会技術報告, (2016)  
愛知秀斗, BRACIULIS Virgilijus, TREVINO Jorge, SALVADOR Cesar, 坂本修一, 鈴木陽一, 吉川教治, 山崎隆志, 樹所賢一
455. 主成分分析に基づく多チャンネル受音信号圧縮法の一検討. 電子情報通信学会技術報告, (2016)  
佐藤広則, WICAKSONO Arif, 坂本修一, SALVADOR Cesar, TREVINO Jorge, 鈴木陽一
456. 生成振動情報を含む多感覚コンテンツの高次感性評価. 電子情報通信学会技術報告, (2016)  
柳生寛幸, 崔正烈, 坂本修一, 鈴木陽一, 行場次朗
457. 聴取者受動回転時における音像定位精度の回転速度依存性の検討. 音講論, (2016)  
角掛沙也香, 本多明生, 鈴木陽一, 坂本修一
458. Zonal representation of the HRTF in magnitude and phase using local analysis functions. 音講論, (2016)  
ト TREVINO Jorge, 胡詩超, SALVADOR Cesar, 坂本修一, 鈴木陽一
459. High-order Ambisonics reproduction of moving sound sources based on spherical harmonic translation operators. 音講論, (2016)  
TREVINO Jorge, 坂本修一, 鈴木陽一
460. 既存の緊急速報で用いられる文章に含まれる単語の分析. 音講論, (2016)  
田村祐揮, 坂本修一, 崔正烈, 鈴木陽一
461. 単語間ポーズがロングパスエコー環境下の単語了解度にもたらす効果—公開実験から得られた大規模データ解析に基づいて—. 音講論, (2016)  
崔正烈, 田村祐揮, 坂本修一, 鈴木陽一
462. A new signal processing procedure for stable distance manipulation of circular HRTFs on the

- horizontal plane. 音講論, (2016)  
SALVADOR Cesar, 坂本修一, TREVINO Jorge, 鈴木陽一
463. 64ch 球状マイクロホンアレイの製作と応用. 音講論, (2016)  
山崎隆志, 樹所賢一, 吉川教治, TREVINO Jorge, 坂本修一, 鈴木陽一
464. TC43 本体の WG1, WG8, WG9 での規格審議について. 音講論, (2016)  
倉片憲治, 鈴木陽一
465. 音響に関する I S O規格作成の枠組みと審議の最前線. 音講論, (2016)  
鈴木 陽一
466. 巨大情報量とそのストレージ技術-ヨッタバイト情報への挑戦-. 電子情報通信学会技術報告,  
(2017)  
村岡裕明, 行場次朗, 鈴木陽一, 塩入諭, 中尾光之, 二瓶真理子, 荘司弘樹
467. 音場記録,空間編集及び双耳的再現で構成した空間音響システムのモデル. 電子情報通信学  
会技術報告, (2017)  
SALVADOR Cesar, SAKAMOTO Shuichi, TREVINO Jorge, SUZUKI Yôiti
468. 球状マイクロホンアレイを用いたバイノーラル3次元音空間創成手法. 電子情報通信学会技  
術報告, (2017)  
坂本修一, SALVADOR Cesar., TREVINO Jorge, 鈴木陽一
469. 多感覚コンテンツの高次感性知覚に音情報から生成した振動情報が及ぼす増強効果. 電子  
情報通信学会技術報告, (2017)  
崔正烈, 柳生寛幸, 坂本修一, 鈴木陽一, 行場次朗
470. 標準マイクロフォンのダイヤフラム振動における理論モデルと光学的測定結果の比較. 電  
子情報通信学会技術報告, (2017)  
徐載甲, 曹浣豪, 金學胤, 鈴木陽一
471. バイノーラル音空間収音再生手法 SENZI の 252ch リアルタイム実現. 電子情報通信学会技術  
報告, (2017)  
坂本修一, 本郷哲, 岡本拓磨, 岩谷幸雄, 鈴木陽一
472. 周波数スペクトルの局所的変化が音像定位と音色知覚に及ぼす影響. 電子情報通信学会技  
術報告, (2017)  
日吉啓, 鈴木陽一, 坂本修一
473. 拡張現実感アプリケーションのための効率的な空間サウンドレンダリング手法. 電子情報  
通信学会技術報告, (2017)  
TREVINO Jorge, SAKAMOTO Shuichi, SUZUKI Yôiti
474. バーチャルマイクを用いた球面マイクロホンアレイ録音からの両耳合成の強化. 電子情報  
通信学会技術報告, (2017)  
SALVADOR Cesar, SAKAMOTO Shuichi, TREVINO Jorge, SUZUKI Yôiti
475. 直線加速度運動時における仮現運動音像の音像移動検知限. 電子情報通信学会技術報告,  
(2017)  
野田美春, 坂本修一, 崔正烈, 寺本渉, 鈴木陽一, 行場次朗
476. 空間的注意が競合音声存在下の単語了解度に及ぼす影響. 音講論, (2017)  
寺岡諒, 坂本修一, 崔正烈, 鈴木陽一
477. 聴取者回転時の音像定位における multiple-look モデルの妥当性について. 音講論, (2017)  
角掛沙也香, 本多明生, 鈴木陽一, 坂本修一

478. 音空間共有型球面波音場 2 領域再現法における音場再現精度の分析. 音講論, (2017)  
清水拓, TREVINO Jorge, 坂本修一, 鈴木陽一, 伊勢友彦
479. 球状アレイ信号の圧縮が SENZI 音空間再現の精度に及ぼす影響. 音講論, (2017)  
佐藤広則, Wicaksono Arif, 坂本修一, SALVADOR Cesar, TREVINO Jorge, 鈴木陽一, 伊藤彰則
480. 超低周波音観測に向けた MEMS 気圧センサによる微気圧計測の試み. 音講論, (2017)  
西村竜一, 鈴木陽一
481. 災害等非常時屋外拡声システム性能確保のための ASJ 技術規準 (第 1 版) . 音講論, (2017)  
佐藤逸人, 栗栖清浩, 苮木禎史, 鈴木陽一
482. Validity of distance-varying filters for individual HRTFs on the horizontal plane. 音講論, (2017)  
SALVADOR Cesar, SAKAMOTO Shuichi, TREVINO Jorge, and SUZUKI Yôiti
483. 仮想球モデル型聴覚ディスプレイ ADVISE の理論的矛盾点とその解消. 音講論, (2017)  
田村祐揮, TREVINO Jorge, SALVADOR Cesar, 坂本修一, 鈴木陽一
484. ロングパスエコー環境下の単語理解度に及ぼす話速とポーズ長の影響. 音講論, (2017)  
崔正烈, 鈴木美乃里, 坂本修一, 鈴木陽一
485. 雑音環境下での音声聴取に空間的注意が及ぼす影響. 電子情報通信学会技術報告, (2018)  
TERAOKA Ryo, SAKAMOTO Shuichi, CUI Zhenglie, SUZUKI Yôiti, SHIOIRI Satoshi
486. 災害情報の屋外音声伝達に関する ASJ 技術規準の策定経緯-災害等非常時屋外拡声システムのあり方に関する技術調査研究委員会の活動-. 電子情報通信学会技術報告, (2018)  
佐藤洋, 佐藤逸人, 苮木禎史, 鈴木陽一
487. 競合音声存在下における時空間的手がかりが単語理解度に及ぼす影響. 電子情報通信学会技術報告, (2018)  
藤村達弘, 寺岡諒, 坂本修一, 川瀬哲明, 鈴木陽一
488. 広帯域ノイズ中のノッチ中心周波数の変移が音色と音像定位に与える影響. 電子情報通信学会技術報告, (2018)  
日吉啓, 鈴木陽一, 坂本修一
489. 高精細 3 次元音空間情報システムの実現を目指して-アクティブリスニングの理解と,それを活かすシステムづくり-. 電子情報通信学会技術報告, (2018)  
鈴木陽一
490. 球状マイクロホンアレイを用いた音空間共有型音場合成法の音場測定. 電子情報通信学会技術報告, (2018)  
清水拓, TREVINO Jorge, 坂本修一, 鈴木陽一, 伊勢友彦
491. 7kHz 付近のノッチの中心周波数偏移に伴う音色と音像定位の変化. 電子情報通信学会技術報告, (2018)  
日吉啓, 鈴木陽一, 坂本修一, MOORE Brian C. J.
492. The effect of target speech distance on reaction time under multi-talker environment. 電子情報通信学会技術報告, (2018)  
MONASTEROLO Florent, SAKAMOTO Shuichi, SALVADOR Cesar, CUI Zhenglie, and SUZUKI Yôiti
493. 頭部伝達関数に含まれるノッチによる音色の変化と聴覚興奮パターンの関係. 電子情報通信学会技術報告, (2018)  
日吉啓, 鈴木陽一, 坂本修一, MOORE Brian C. J.

494. マトリックス型了解度試験(Oldenburg Sentence Test, OLSA)日本語版の開発. 音講論, (2018)  
板垣匠, 坂本修一, WARZYBOK Anna, HOCHMUTH Sabine, 佐藤美香, 鈴木陽一,  
KOLLEMEIER Birger
495. MEMS 気圧センサを用いたインフラサウンド観測装置の性能評価. 音講論, (2018)  
西村竜一, 齋藤雄二, 坂本修一, 鈴木陽一
496. インフラサウンド計測の精度に関する比較検討. 音講論, (2018)  
西村竜一, 齋藤雄二, 鈴木陽一
497. 直線加速度運動時における音像移動検知限の検討. 音講論, (2018)  
野田美春, 坂本修一, 崔正烈, 寺本渉, 鈴木陽一, 行場次朗
498. 話速とポーズ長の組合せがロングパスエコー環境下の単語了解度に及ぼす影響. 音講論,  
(2018)  
崔正烈, 坂本修一, 鈴木陽一
499. 仮想的に音像定位させた聴覚信号によって誘導される事象関連電位に関する検討. 医用・生  
体工学研究会, (2018)  
朝井都, 加納慎一郎, 坂本修一, 鈴木陽一
500. 情報の質と富化について ～ 将来の高精細空間音響システムを見据えて ～. 電子情報通信  
学会技術報告, (2019)  
鈴木陽一
501. 音声と狭帯域雑音に対する空間的注意の効果の様相. 音講論, (2019)  
寺岡諒, 坂本修一, 崔正烈, 鈴木陽一, 塩入諭
502. 球状マイクロホンアレイを用いた音場測定法による音空間共有型音場合成法の音場合成精  
度の評価. 音講論, (2019)  
清水拓, トレビーニョ ホルヘ, 坂本修一, 鈴木陽一, 伊勢友彦
503. 音色知覚と音像定位の変化知覚に対する聴覚興奮パターンを用いた評価の試み. 音講論,  
(2019)  
日吉啓, 鈴木陽一, 坂本修一, MOORE Brian C. J.
504. The effect of target speech distance on spatial auditory attention under multi-talker environment. 音  
講論, (2019)  
MONASTEROLO Florent, SAKAMOTO Shuichi, SALVADOR Cesar, CUI Zhenglie, and  
SUZUKI Yôiti